

# 米に関するマンスリーレポート (令和2年4月号)



「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

[http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo\\_kaisetu.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html)

農林水産省

# 農林水産省からのお知らせ ～新型コロナウイルスについて

農林水産省ホームページにおいて、食料供給情報や、事業継続ガイドラインなどについて発信しています。情報は随時更新されます。  
下記URLをご参照ください。

「新型コロナウイルス感染症について」

[http://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/index.html](http://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html)

## 国民の主食であるお米と小麦は十分な供給量を確保しています!

お米については、現在、政府が保有する備蓄分が約100万トン、農協・卸売業者等が保有する民間在庫が約270万トン（2月末現在）あり、これは需要量の6.1ヶ月分、約185日分になります。

また、小麦については、安定供給を図る観点から、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどの輸出国から、国が一元的に輸入しており、外国産小麦の国内備蓄が約93万トンあり、これは需要量の2.3ヶ月分、約70日分になります。

このようにお米や小麦は十分な備蓄をしているため、皆様方への供給が不足する心配はありません。

**新型コロナウイルス感染症対策**

**食料品についてのお願い**

食料品は、十分な供給量を確保しているため、安心して、落ち着いた購買行動をお願いいたします。

食料品は必要な分だけ買うようにしましょう。

過度な買いだめや買い急ぎはしないでください。

転売目的の購入はしないでください。

咳エチケットを守り、前後に手洗い・消毒をしましょう。

買物をするときのお願い

買物をするときには、**感染予防**に加え、**他の方に感染させない気遣い**も必要です。

お店によっては**買物の仕方などを制限**する場合がありますので、御理解・御協力ください。

従業員の方々も頑張っておりますので、**協力して買物**をしましょう。

混雑を避けて買物をしましょう。

食べきれずおいしくなく捨てたり、食品ロスにもなってしまいます。

転売目的の購入は望ましくありません。

転倒やケガをしないためにも、密集しないことが大事です。

必要分だけに買うようにしましょう。

人との距離を空けて、密集を避けると、感染の危険性が下がります。

# 目次 (令和2年4月号)

## 特集

- 1 食料・農業・農村基本計画(抜粋) 特集1  
<http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k.aratana/index.html>
- 2 米取引の事前契約研究会 研究会中間取りまとめ 特集2  
[http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku\\_tokatu/s.taisaku/200326.html](http://www.maff.go.jp/j/press/seisaku_tokatu/s.taisaku/200326.html)
- 3 令和2年産米等の作付意向について 特集3  
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html>

## I 米の需給

- 1 米の需給(米の基本指針(令和2年3月)) 需給1  
<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/200331/index.html#01>

## II 米の在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500<sup>ト</sup>以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000<sup>ト</sup>以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

- 1 民間在庫の推移  
農林水産省(政策統括官)HP <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>
  - (1) 全国段階の民間在庫の推移(平成25年7月末～令和2年6月末) 在庫1 Excel
  - (2) 産地別民間在庫の状況(前年同月比) 在庫4 Excel
  - (3) 平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移 在庫5 Excel

## III 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

- 1 令和2年産備蓄米の政府買入 契約1  
農林水産省(政策統括官)HP <http://www.maff.go.jp/j/seisan/svorvu/kaiire/index.html>
- 2 産地別契約・販売状況  
農林水産省(政策統括官)HP <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>
  - (1) 近年の事前契約数量の推移 契約2
  - (2) 令和元年産における契約月別の事前契約数量の推移 契約3
  - (3) 事前契約数量と価格取決比率の推移 契約4 Excel
  - (4) 平成30年産・令和元年産における事前契約の取組状況 契約5 Excel
  - (5) 令和2年産における事前契約の取組状況 契約6 Excel
- 3 令和元年産米の産地別契約・販売状況 契約7 Excel  
(累計、うるち米、令和2年2月末現在)(速報)(令和2年3月30日公表)

## IV 米の価格情報

### 相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等間で、年間を通じて長期的な取引を行う「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等と年間玄米直接販売数量5,000トン以上の卸売業者を対象に、指標となる各産地の作付上位2～3銘柄を調査対象産地品種銘柄（令和元産米：118産地品種銘柄）として、相対取引価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

#### 1 相対取引価格・数量

農林水産省（政策統括官）HP <http://www.maff.go.jp/i/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>

(1) 年産別の相対取引価格

価格1

(2) 相対取引価格・数量（元年産米、産地品種銘柄別、令和2年2月分）（速報）

価格2

Excel

(3) 相対取引価格（月別年産平均価格）（令和元年産米、産地品種銘柄別）（速報）

価格4

Excel

#### 2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）

日本コメ市場株式会社 HP <http://www.nihonkomeshijiyo.co.jp/>

価格6

#### 3 米の先物取引価格の推移

農林水産省（食料産業局）HP <http://www.maff.go.jp/i/shokusan/syoutori/index.html>

価格7

#### 4 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和負2年3月分）

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

価格8

## V 消費動向

#### 1 米の消費動向（米穀機構による調査）

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

消費1

#### 2 購入数量の推移（家計調査）

消費4

#### 3 消費者物価指数の推移

消費5

#### 4 小売物価統計の推移

消費6

総務省統計局HP <http://www.stat.go.jp/data/index.html>

#### 5 米販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

消費7

#### 6 中食・外食事業者の米の仕入状況

消費8

#### 7 小売価格の推移（POSデータ）

消費9

## VI 輸出入の動向

#### 1 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入1

#### 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（平成31年度・令和元年度）

輸入2

#### 3 SBS輸入米の見積合わせ結果（令和元年度）

輸入3

#### 4 CPTP・国別枠の見積合わせ結果（令和元年度）

輸入4

農林水産省（政策統括官）HP <http://www.maff.go.jp/i/seisan/boueki/nyusatu/index.html>

#### 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

輸出1

(1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

(2) 2019年の主な増加要因

(3) 米菓の輸出数量及び金額の推移

(4) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

輸出6

「米に関するマンスリーレポート」は、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直し、今月号より一部刷新しました。関係機関の方々には有益なご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございました。

また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載することにしました。さらに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用願います。



# 今の特集①

## 食料・農業・農村基本計画 (令和2年3月31日 閣議決定)

食料・農業・農村基本計画は、食料・農業・農村基本法に基づき、食料・農業・農村に関し、政府が中長期的に取り組むべき方針を定めたものであり、情勢変化等を踏まえ、概ね5年ごとに変更することとされています。

令和2年3月31日（火曜日）に新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されました。

### 令和12年度における食料消費の見通し及び生産努力目標（抜粋）

	食料消費の見通し		生産努力目標 (万トン)		克服すべき課題
	国内消費仕向量 (万トン)				
	平成30年度	令和12年度	平成30年度	令和12年度	
米	845 (54)	797 (51)	821	806	○事前契約・複数年契約などによる実需と結びついた生産・販売 ○農地の集積・集約化による分散錯圃の解消・連坦化の推進 ○多収品種やスマート農業技術等による多収・省力栽培技術の普及、資材費の低減等による生産コストの低減
米 米粉用米・ 飼料用米を 除く	799 (54)	714 (50)	775	723	○食の簡便化志向、健康志向等の消費者ニーズや中食・外食等のニーズへの対応に加え、インバウンドを含む新たな需要の取り込み ○コメ・コメ加工品の新たな海外需要の拡大、海外市場の求める品質や数量等に対応できる産地の育成
米粉用米	2.8 (0.2)	13 (0.9)	2.8	13	○大規模製造ラインに適した技術やアルファ化米粉等新たな加工法を用いた米粉製品の開発による加工コストの低減 ○国内産米粉や米粉加工品の特徴を活かした輸出の拡大
飼料用米	43 (－)	70 (－)	43	70	○飼料用米を活用した畜産物のブランド化と実需者・消費者への認知度向上・理解醸成及び新たな販路開拓 ○バラ出荷やストックポイントの整備等による流通段階でのバラ化経費の削減や輸送経路の効率化等、流通コストの低減 ○単収の大幅な増加による生産の効率化

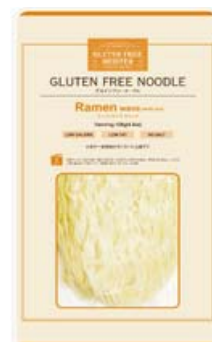
注：政策の実施に当たっては、食料消費の見通しや生産努力目標を見据えつつ、その時々国内外の需要や消費動向の変化等に臨機応変に対応し、国内生産の維持・増大と農業者の所得向上を実現していくものとする。

## 「~~米穀の新用途基本指針~~」 「米穀の新用途への利用の促進に関する基本方針」（4月10日修正）について

3月31日に開催（書面による持ち回り）された食料・農業・農村政策審議会食糧部会において、食料・農業・農村基本計画の改定に合わせて概ね5年に一度見直している「基本方針」を策定（改定）しました。

ポイントは以下の通りです。

- 1 消費者ニーズを踏まえた商品開発
  - 米ピューレやアルファ化米粉等の新たな米粉の加工法を活用した商品の開発
  - 飼料用米を利用した畜産物のブランド力の強化
- 2 米粉用米の海外需要の創出
  - 国内産米粉や米粉加工品の優位性を活かした海外需要の創出及びノングルテン米粉JASの制定
- 3 流通・加エコストの低減
  - 米粉用米について、パンや麺等の大規模製造ラインに適した二次加工技術の開発
  - 飼料用米について、バラ出荷やストックポイントの整備等
- 4 安定取引の推進
  - 需要を確実なものとするため、複数年契約などの安定取引の一層の推進



# 米取引の事前契約研究会「中間取りまとめ」

農林水産省では、需要に応じた生産・販売に向けて効果のある事前契約の内容等について研究・検討し、事前契約に基づく米取引の拡大を図るため、令和2年1月から3月まで「米取引の事前契約研究会」を開催し、今般、研究会として中間とりまとめ『米取引の事前契約の拡大に向けて～「選ばれる米」を目指して～』を作成しました。

特に産地・生産者の皆様に、事前契約の重要性をよりご理解いただけるよう、事前契約のポイント等を解説したパンフレットと契約文面のイメージも含めて農林水産省ホームページに掲載しています。ぜひ御活用ください。

《詳細は下記URLをご参照ください》

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

---

## 『米取引の事前契約の拡大に向けて～「選ばれる米」を目指して～』より、「おわりに」（中嶋康博座長のメッセージ）

本研究会では、米の需要に応じた生産・販売を推進するための事前契約の重要性について議論してきました。

その前提として、毎年10万トンと言われる主食用米の需要の減少を少しでも小さくするために、米業界全体、つまり水田から食卓までつながる米のフードチェーン全体で米の新たなニーズを開拓し、事態を打開していく努力が重要です。

新たなニーズの開拓に向けて、業界の各当事者がそれぞれ戦略的、計画的な取組を安心して実行するためにも、安定した生産・調達ができるよう、事前契約を軸とした取引関係を構築することが求められています。

社会の将来像を考えると、ニーズに伸びしろがあると思われるのは中食・外食のマーケットです。そのマーケットで価値を持つ米こそが「選ばれる米」と言えるでしょう。一方、いわゆるブランド米ですが、残念ながらすべてを拡大することは難しいのが現実です。ただ、縮小していくものであっても、生産技術等を駆使した商品開発や販売手法の工夫などを行えば、より「選ばれる米」に生まれ変わるものもあるはずです。

お米を食べる側が真に求めることを実現できる商材としての米を、確実に届けるためにも、品質、数量、価格、納入時期など、事前契約事項のどれを固定し、どれを状況に応じて変化させるかについて、最終的な販売チャネルごとに設計していく必要があると考えます。

このような取組が米のフードチェーン全体に広がり、米取引の活性化につながることを期待します。

# 事前契約のススメ

— 今後とも安定した米取引を実現するために —

## 今こそ、事前契約が大切です!

- 主食用米の**国内消費量の減少**は、人口減少により今後も続きます。
- **単純に前年と同じ量を生産**するだけでは、**市場で「売れ残り」が発生**します。
- こうした状況下で**産地が取り組むべきこと**は、**あらかじめ販路を確保して売れ残りを発生させない**ことです。

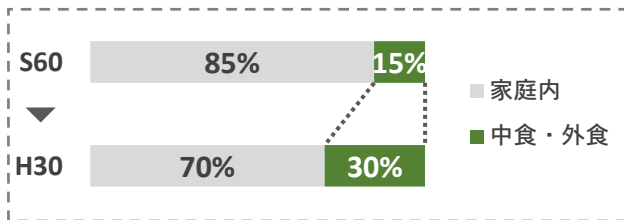
計画的な生産を行う  
重要性が高まっているんだね



## 消費者が求めるニーズをつかみましょう!

- 主食用米の消費量が減少している一方、**消費者ニーズの多様化**が進んでいます。

家庭内消費から中食・外食での消費へ



消費者が精米購入時に重視するポイント（例）

- ▶ 美味しさで有名になっている**産地や品種**
- ▶ 減農薬などこだわりのある**栽培方法**
- ▶ **お得感のある価格**
- ▶ 食べ比べがしやすい**少量包装**

- 多様化するニーズの中で**「売れ残り」を発生させない**ためには産地では、**各流通段階の事業者の意向を適切にキャッチし、生産に反映**することが大切です。

安定取引を可能とする有効な手法が事前契約です!

### 産地

生産する米を確実に販売し  
生産者の経営安定を図りたい

### 卸売業者・実需者

多様なニーズに対応できる米を安定的に  
調達、消費者に提供・販売したい



## 生産者の場合



A生産者

- 今でも JAと出荷契約しているし、**豊作で多く作りすぎても全量引き取ってもらえるよ**。逆に、不作で出来秋に**高い価格になれば、買い取る業者はいくらでもいるから、そこに売ればいいしさ!**
- 誰にどれくらい需要があるかなんて知らないし、事前契約なんて面倒!**先のことまで約束するなんてむしろ高リスク!**



B生産者

- いやいや、毎年の米価ばかり気にして売り先を変えるのは不安定だし、**米価変動に左右されない安定した経営環境を作ることが、一番大事なこと**だよな。
- そのためには、**実需者と結び付いたJAや集出荷業者と播種前に出荷契約を結んで、契約内容をしっかり守ることが重要**だと思う。そうすれば、主食用米以外への作付転換の判断にも役立つよ。

## ポイント解説

- 出荷契約であっても「契約」である以上、確実に履行しなければならず、A生産者のような行為は本来、許されないものです。
- 安定した経営環境を作るために必要なことは、目先の損得だけにとらわれず**生産者から実需者まで顔が見える安定的な取引関係を構築**することが重要です。

具体的には、

- ① 事前契約を行う必要性についての理解を深め、
- ② 誰が買い手となっていて、どのように消費者に渡するのかを認識し、
- ③ 消費者のニーズを踏まえ、品種選定、栽培方法などどのような生産を行えばよいのかを考え、
- ④ ニーズに応えるよう、事前契約を確実に履行する

ことが必要です。



## JA・集出荷業者の場合



A集出荷業者

- 作柄次第で実際の生産量も価格も変動するし、生産者がどれだけ出荷してくるか分からないのに、事前に契約で取り決めるのは難しいよね。
- 売り先とは口約束だけど、毎年のオファーもそれなりだし、長年付き合いのある売り先も多いから、事前契約とか頑張る必要があるかな。



B集出荷業者

- いやいや、今までだって口約束から状況が変わったこともあったし、しっかり販路を確保しておきたいな。
- 作柄の変動は避けられないけど、何とか工夫すればお互いに合意した取引ができるんじゃないかな。

## ポイント解説

その1

- JA・集出荷業者と、流通（米穀卸売）業者や実需者との事前契約においては、ニーズに即した数量を契約し、確実に取引することが重要ですが、作柄変動などいかんともしがたいリスクが存在します。
- このようなリスクに対応するため、以下のような契約事項を盛り込んでいる事例があります。

- 収穫後、契約数量を基準として、**作柄変動を踏まえ協議した数量**を取引数量とする。
- **面積契約**し、収穫された米の全量を取引数量とする。

その2

- 生産者との出荷契約では、作柄変動によらない恣意的な理由によって引取数量が変動するリスクに対応するため、以下のような契約事項を盛り込んでいる事例があります。

- 実需者のニーズに基づいて、あらかじめ生産者に出荷依頼数量を提示し、これを超える出荷数量分については、生産者への支払金額を低くするなど差を設ける。

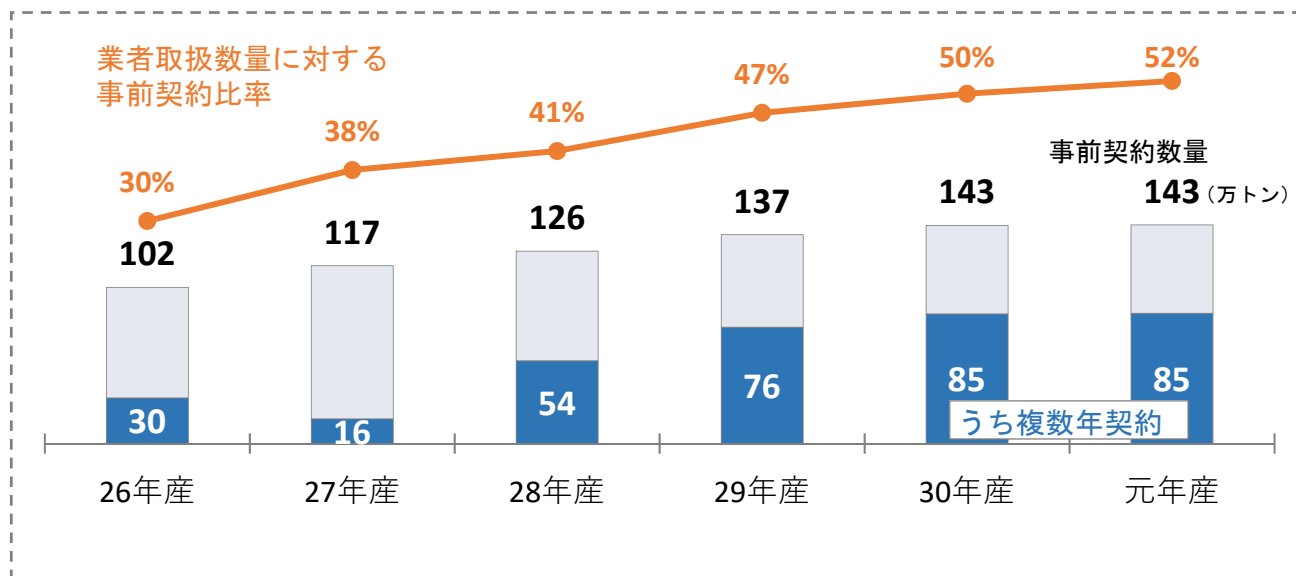
- JA・集出荷業者の皆さんは、**販売先のニーズを的確に生産者へ伝達**することが重要な役割の一つです。
- このような役割をしっかりと果たすことで、売れ残りが発生しないように取り組んでいきましょう。



## データで見る 事前契約の取組状況

- 近年では事前契約の取組が全国的にも広がっており、各産地において安定取引に向けた取組が着々と進められています。

### 近年の事前契約数量の推移



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」（年間取引数量5,000トン以上の集出荷業者）

## 事前契約により安定的な経営を確立している事例

A生産法人では、出来秋の相場に影響されない農業経営を目指し、

- ① 自らの経営コスト等を踏まえて販売先と交渉し、出来秋の相場が上下しても、契約価格を維持してもらえる信頼関係を構築する
- ② 生産者としても、契約数量の確保、コスト削減努力を常に行う

ことにより、10年以上もの間、価格を固定した事前契約を流通業者・実需者と結び、取引を継続しています。

また、買い手側の理解により、数量については面積単位の契約を行っており、作柄に関わらず、契約面積で生産された数量の全てが買い取られているそうです。

農林水産省の「米取引の事前契約研究会」（令和2年1～3月）では、事前契約の拡大に向けた取組について「中間とりまとめ」を策定しました。詳細は農林水産省ホームページの以下のURLをご参照ください。  
URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

また、各流通段階における事前契約のひな形見本を、QRコードよりご覧いただけます。



# 今月の特集③

## 令和2年産米等の作付意向について (第1回中間的取組状況(令和2年2月末現在))

- ・ 都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会からの聞き取りに基づき、2月末現在の都道府県段階の作付意向を取りまとめました。
- ・ 元年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、増加傾向0県、前年並み傾向41県、減少傾向6県と見込まれています。
- ・ また、備蓄米14県、加工用米18県、飼料用米13県、新市場開拓用米(輸出用米等)22県が増加傾向と見込まれています。
- ・ 農林水産省としては、各産地・生産者が、今回の公表結果を参考にし、需要に応じた生産・販売に向けた取組をより一層進めていくことを期待しています。

### 【令和2年産米等の作付意向(元年産実績との比較、令和2年2月末現在)】

	主食用米	備蓄米	加工用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	麦	大豆
前年より 増加傾向	0県	14県	18県	13県	10県	14県	22県	13県	15県
前年並み 傾向	41県	14県	20県	22県	24県	22県	9県	22県	21県
前年より 減少傾向	6県	5県	6県	10県	9県	10県	3県	10県	9県

- 注1：令和2年産の意向(増加傾向、前年並み傾向、減少傾向)は、元年産実績との比較。  
注2：比較している主食用米の元年産実績は、令和元年12月10日統計部公表の主食用作付面積。  
注3：加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の元年産実績は、取組計画認定面積。  
注4：麦・大豆の元年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。  
注5：備蓄米の元年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。



# 令和2年産米等の作付意向 (都道府県別・令和2年2月末現在)

令和2年3月26日公表

(ha)

都道府県	主食用米		備蓄米		戦略作物													
	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	加工用米		飼料用米		WCS用稲 (稲免酢組飼料用稲)		米粉用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		麦		大豆	
					元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)	元年産実績	2年産意向 (対前年実績)
	137.9万		32,818		46,737		72,509		42,450		5,306		4,097		97,197		86,299	
全国計	137.9万		32,818		46,737		72,509		42,450		5,306		4,097		97,197		86,299	
北海道	97,000	→	381	→	5,022	↗	1,974	↘	573	↘	50	↘	591	↗	33,132	↗	18,810	↘
青森	39,200	→	4,505	↗	1,162	↘	4,765	↘	652	→	6	↘	131	↗	626	↘	4,253	→
岩手	48,300	→	651	↗	1,292	→	3,724	↘	1,673	→	57	→	177	↗	3,347	→	3,519	→
宮城	64,800	→	2,167	↗	836	↗	4,871	↗	2,053	↗	72	↗	442	↗	1,700	→	9,403	↗
秋田	74,900	→	3,738	↘	8,439	→	1,601	↗	1,144	↘	391	↘	249	↗	190	↘	7,895	→
山形	56,900	→	3,561	→	3,708	↗	3,444	→	922	↗	124	→	167	↘	87	→	4,596	→
福島	60,400	→	4,800	↗	446	↗	4,623	→	1,013	↗	2	↗	63	↗	248	↗	792	↗
茨城	66,400	→	208	↗	1,286	↗	7,707	→	527	→	17	→	400	↗	4,370	→	391	↗
栃木	54,900	→	1,386	↗	2,098	→	8,414	→	1,620	→	699	↗	52	↗	7,148	→	339	→
群馬	13,600	→	114	↗	1,473	→	1,003	↘	528	↘	337	→	14	→	2,118	↘	110	↗
埼玉	30,900	→	92	↗	247	→	1,281	→	106	→	749	↗	29	↗	1,686	→	330	→
千葉	53,700	→	714	↗	1,534	→	3,914	↗	912	→	33	→	14	↗	539	↘	181	↗
東京	129	→	-	-	-	-	-	-	-	-	0	→	-	-	-	-	-	-
神奈川	3,040	→	-	-	-	-	10	→	-	-	1	↘	-	-	6	↘	4	↗
新潟	106,800	→	4,502	↗	5,626	↗	2,213	↘	383	→	1,405	↗	777	↗	177	→	3,972	↗
富山	33,300	→	2,235	↗	1,259	→	1,301	→	432	→	86	→	274	↗	2,930	↘	3,681	↘
石川	22,700	→	1,471	↘	539	→	579	→	93	→	119	→	53	→	882	→	877	↘
福井	23,600	↘	780	→	544	↗	1,163	↗	93	→	80	→	157	↗	4,612	↗	130	↗
山梨	4,810	→	-	-	67	↗	16	↗	12	↗	8	↗	-	-	57	→	94	→
長野	30,900	→	233	→	747	→	235	→	216	→	23	→	68	→	2,358	↘	522	→
岐阜	21,400	→	92	→	921	↗	2,336	↗	188	↗	27	↗	77	↗	3,298	→	339	↗
静岡	15,600	→	4	→	127	→	1,136	→	239	→	13	↗	1	↗	240	→	44	→
愛知	26,600	→	167	→	667	→	1,272	→	179	↘	73	↘	21	→	5,135	→	116	↗
三重	26,900	→	53	↗	212	→	1,613	→	249	→	96	→	66	↗	6,057	↗	281	→
滋賀	30,200	↘	264	→	981	↘	958	↗	231	↗	29	↘	168	↘	7,364	→	404	↘
京都	13,800	→	-	-	514	↗	99	↗	114	↗	7	↗	19	↗	236	↗	228	→
大阪	4,850	↘	-	-	0	→	6	→	-	-	5	→	-	-	2	→	5	→
兵庫	35,300	↘	-	-	703	↗	305	→	789	→	24	↗	3	→	1,854	↗	1,480	↗
奈良	8,450	→	-	-	20	→	30	→	38	→	25	→	-	-	64	→	19	→
和歌山	6,360	→	-	-	-	-	2	→	2	↘	0	→	-	-	1	→	14	→
鳥取	12,600	→	78	→	19	→	685	→	368	→	0	→	-	-	25	→	587	→
島根	16,900	→	25	→	298	→	794	↘	545	→	10	↘	3	→	287	→	538	→
岡山	29,300	→	183	↘	368	↘	1,076	↘	327	→	85	→	3	→	1,114	→	1,103	→
広島	22,200	→	4	→	357	↗	332	↘	552	↘	112	→	6	↘	251	↗	274	↘
山口	18,400	↘	-	-	913	↗	893	↗	318	→	15	↗	1	↗	696	↗	736	↗
徳島	11,000	→	246	↘	17	↘	476	↗	220	→	14	↘	24	↗	44	↘	12	↘
香川	12,000	→	-	-	45	↘	121	→	125	↗	10	↘	2	↗	949	↗	48	↘
愛媛	13,500	→	-	-	41	↗	288	↘	134	↗	4	→	-	-	504	↗	305	→
高知	11,300	→	2	→	64	→	880	→	236	→	14	↗	-	-	5	↘	58	→
福岡	34,500	→	51	↘	220	↘	1,969	↗	1,497	↗	209	↗	6	→	1,320	↘	7,941	↗
佐賀	23,700	→	43	↗	373	↗	558	↗	1,448	↘	14	→	5	→	153	↗	7,805	↘
長崎	11,300	→	2	→	9	→	128	→	1,218	→	6	→	-	-	75	→	312	→
熊本	32,300	→	46	→	717	→	1,175	↗	7,757	→	220	→	16	↗	714	→	2,037	↗
大分	20,400	↘	18	↗	137	↗	1,362	→	2,458	→	10	↗	-	-	543	→	1,281	↘
宮崎	14,600	→	-	-	1,478	↗	431	→	6,625	↘	20	↘	18	↗	11	↗	198	→
鹿児島	18,300	→	-	-	1,199	↗	742	↘	3,641	↘	8	→	-	-	42	↗	234	↗
沖縄	665	→	-	-	12	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「2年産意向(対前年実績)」は、元年産実績と比較し、「↗:増加傾向」、「→:前年並み傾向」、「↘:減少傾向」で分類。

(注2) 主食用米の「元年産実績」は、元年12月10日統計部公表の主食用作付面積。

(注3) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「元年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「元年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

(注4) 備蓄米の「元年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

# I 米の需給

## 1 米の需給 (米の基本指針(令和2年3月)改定)

令和元/2年及び令和2/3年の需給見通し

食糧部会の資料、議事概要については、農林水産省ホームページの「審議会」の分野別分類「食料・農業・農村政策審議会」、品目別分類「食糧部会」から御覧いただけます。  
 【 <http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/index.html> 】

### 【変更のポイント】

- 令和元年産主食用米等生産量を予想収穫量(727万トン)から確定収穫量(726万トン)に変更(▲1万トン)。
- ①及び台風被害を反映し、令和2年6月末民間在庫量を189万トンから187万トンに変更(▲2万トン)。
- ②により、令和2年産生産量の見通し及び令和3年6月末民間在庫量を変更。

### 11月基本指針

#### 【1 令和元/2年の主食用米等の需給見通し】

(単位:万トン)		
令和元年6月末民間在庫量	A	189
令和元年産主食用米等生産量	B	727
令和元/2年主食用米等供給量計	C=A+B	916
令和元/2年主食用米等需要量	D	727
令和2年6月末民間在庫量	E=C-D	189

#### 【2 令和2/3年の主食用米等の需給見通し】

(単位:万トン)		
令和2年6月末民間在庫量	E	189
令和2年産主食用米等生産量	F	708~717
令和2/3年主食用米等供給量計	G=E+F	897~906
令和2/3年主食用米等需要量	H	717
令和3年6月末民間在庫量	I=G-H	180~189

注1: 令和元年産米については、高温等の影響により産地品種銘柄によっては精米歩留りが例年よりも低下している状況にあることから、実際に主食用米等として流通する数量は減少する可能性がある。

### 3月基本指針

#### 【1 令和元/2年の主食用米等の需給見通し】

(単位:万トン)		
令和元年6月末民間在庫量	A	189
令和元年産主食用米等生産量	B	726
令和元/2年主食用米等供給量計	C=A+B	915
令和元/2年主食用米等需要量	D	727
令和2年6月末民間在庫量	E=C-D	187

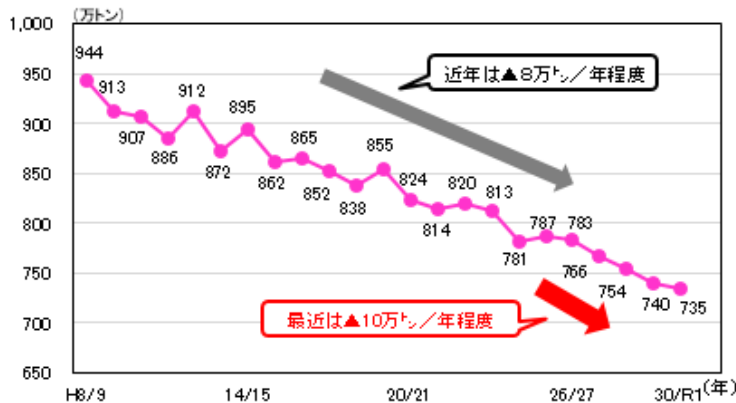
#### 【2 令和2/3年の主食用米等の需給見通し】

(単位:万トン)		
令和2年6月末民間在庫量	E	187
令和2年産主食用米等生産量	F	709~717
令和2/3年主食用米等供給量計	G=E+F	897~904
令和2/3年主食用米等需要量	H	717
令和3年6月末民間在庫量	I=G-H	180~187

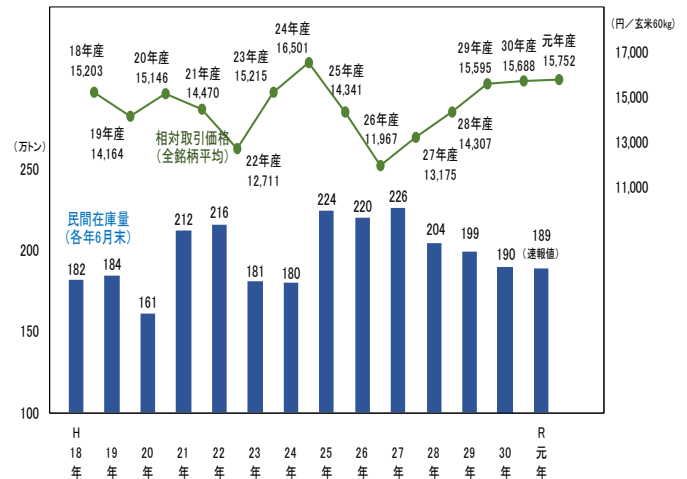
注1: 令和元年産米については、高温等の影響により産地品種銘柄によっては精米歩留りが例年よりも低下している状況にあること等から、実際に主食用米等として流通する数量は減少する可能性がある。

注2: 令和2年6月末民間在庫量については、収穫後の主食用米等が保管されている倉庫等において、台風による水濡れ等の被害があった主食用米等の数量を除いている。

(参考) 主食用米の需要量の推移



(参考) 相対取引価格と民間在庫量



注: 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月(元年産は2年2月)までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

# I 米の民間在庫情報

## 1 民間在庫の推移

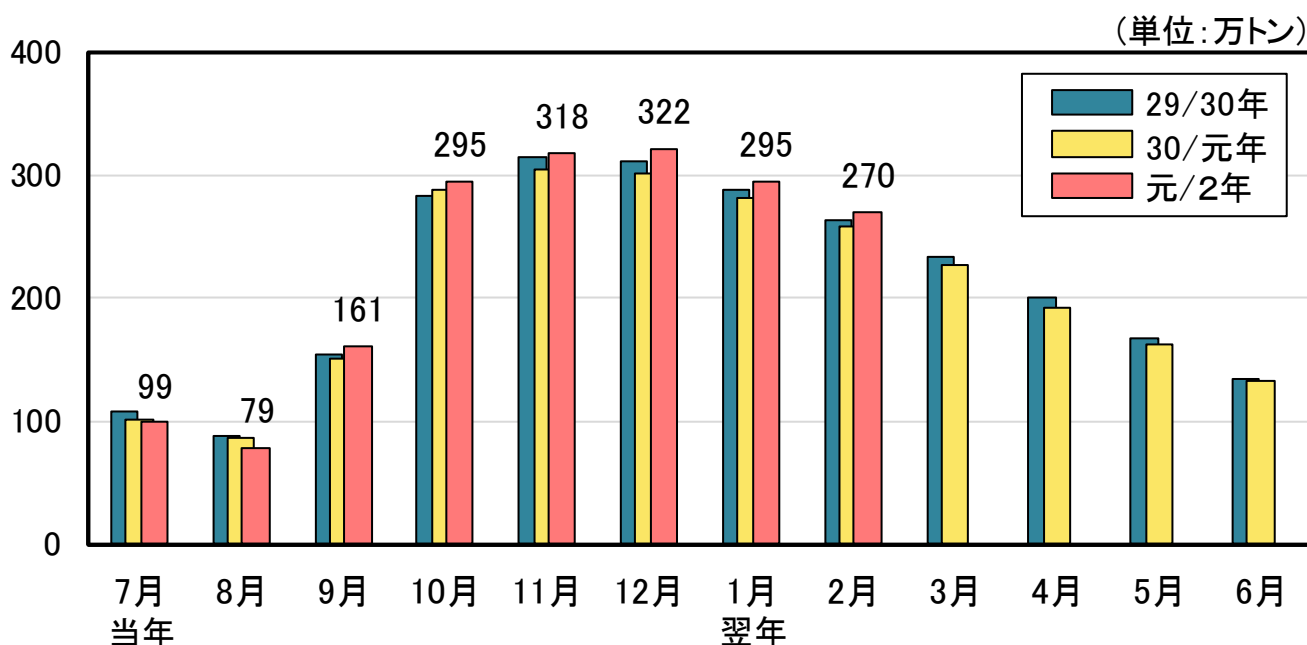
### (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和2年2月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月比+11万トンの270万トンとなっている。また、流通段階別で見ると出荷段階で対前年比+7万トン、販売段階で+4万トンとなっている。
- 出荷段階の対前年比+7万トンについては、元年産の主食用の生産量が726万トンと30年産と比較として約7万トン減少しているものの、作況の良かった東日本主産県において集荷が前年よりも進んだことが影響していると考えられる。
- 販売段階の+4万トンについては、過去5年で最も多い水準であり、特に卸売業者から小売向けの数量が落ち込んでいる状況。（2月時点）

※ 産地別の在庫量は、「在庫3」以降を参照。



(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+36	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米(24年産)	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	(注7) 114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	295	318	322	295	270				
対前年差	▲3	▲9	+10	+7	+12	+20	+14	+11				
元年産米	0	10	115	256	285	298	276	254				
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9				

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。  
4 期間については、元/2年であれば、令和元年7月～2年6月である。  
5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。  
6 26年産米以降は、政府備蓄米を含まない（元年産は、2年1月末在庫公表時点においてそれ以前の月末在庫にも遡及して整理。）。25年産以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。  
7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。



## 【出荷段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25年産米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1年古米(24年産)	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	239	260	265	244	223				
対前年差	▲2	▲8	+8	+3	+8	+16	+9	+7				
元年産米	0	7	100	223	249	257	238	218				
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3				

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

## 【販売段階】

(単位: 万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	47	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	28	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	±0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	±0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	±0	+1	+1	+3	±0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	±0	±0	±0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47				
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4				
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36				
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6				

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

在庫3

## (2) 産地別民間在庫の状況 (前年同月比)

産地別民間在庫数量 (出荷+販売段階 新米在庫)

単位:千玄米トン

	年産	作況 指数	31年						2年				対前年 同期差 1月	対前年 同期差 2月
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	1月	2月				
全国	30年産米	98	2,626.1	2,440.6	2,162.0	1,837.7	1,545.3	1,256.6	元年産米	99	2,763.5	2,540.0	137.4	99.4
福島	30年産米	101	162.9	173.0	155.1	129.3	112.2	95.8	元年産米	102	196.3	203.1	33.4	30.1
新潟	30年産米	95	214.1	189.8	162.3	133.8	106.8	83.6	元年産米	100	252.6	219.5	38.5	29.6
秋田	30年産米	96	223.8	201.6	169.2	144.3	117.4	92.4	元年産米	104	240.4	219.0	16.6	17.4
青森	30年産米	101	136.9	126.2	116.1	103.9	89.0	74.8	元年産米	106	155.7	143.3	18.8	17.1
山形	30年産米	96	135.2	129.3	104.8	89.5	78.3	65.6	元年産米	105	171.6	143.4	36.4	14.1
北海道	30年産米	90	279.5	256.4	227.3	193.6	166.4	137.5	元年産米	104	293.7	265.6	14.2	9.2
兵庫	30年産米	98	39.5	34.7	30.5	27.0	23.2	19.5	元年産米	99	43.2	42.5	3.7	7.8
岡山	30年産米	98	39.4	37.4	34.8	31.0	27.8	24.0	元年産米	98	46.4	44.4	7.1	7.0
岩手	30年産米	101	124.5	114.3	100.2	86.8	72.9	58.1	元年産米	103	130.4	120.8	5.9	6.5
岐阜	30年産米	97	16.1	15.6	14.4	12.8	11.3	9.8	元年産米	99	23.2	21.9	7.1	6.3
宮城	30年産米	101	141.6	143.9	129.2	114.1	97.7	84.0	元年産米	102	147.9	150.2	6.3	6.3
富山	30年産米	102	71.8	63.7	54.5	45.2	39.3	31.2	元年産米	102	75.6	67.9	3.8	4.3
静岡	30年産米	97	11.6	10.1	8.6	6.6	4.4	3.4	元年産米	99	14.1	12.8	2.5	2.7
長野	30年産米	100	60.6	54.3	47.9	36.1	29.3	23.6	元年産米	100	63.4	56.5	2.9	2.2
鳥取	30年産米	97	25.9	23.4	20.9	17.6	14.3	11.1	元年産米	100	28.1	25.5	2.2	2.1
三重	30年産米	100	35.3	30.8	26.9	20.7	15.8	14.2	元年産米	95	35.7	32.0	0.4	1.2
福井	30年産米	101	58.2	52.5	48.3	39.8	32.9	26.4	元年産米	100	59.1	53.5	0.9	1.0
奈良	30年産米	100	6.6	6.0	5.4	4.6	3.8	3.1	元年産米	100	7.6	7.0	1.0	1.0
宮崎	30年産米	100	10.7	9.6	8.2	6.5	4.9	3.5	元年産米	94	11.4	10.1	0.7	0.5
徳島	30年産米	99	8.8	8.0	7.3	5.6	4.5	3.5	元年産米	98	9.1	8.4	0.3	0.4
茨城	30年産米	99	101.7	93.0	81.0	66.4	52.5	40.6	元年産米	96	104.4	93.3	2.7	0.3
山梨	30年産米	99	4.7	4.3	3.7	3.2	2.7	2.2	元年産米	99	4.9	4.5	0.3	0.2
和歌山	30年産米	99	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.5	元年産米	99	1.2	1.1	0.2	0.1
大阪	30年産米	99	1.8	1.5	1.2	1.0	0.8	0.5	元年産米	101	1.7	1.5	▲ 0.1	0.0
東京	30年産米	101	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	元年産米	97	0.0	0.0	0.0	0.0
沖縄	30年産米	100	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	元年産米	97	0.2	0.2	0.0	▲ 0.0
神奈川	30年産米	98	1.4	1.2	1.0	0.9	0.7	0.5	元年産米	95	1.3	1.1	▲ 0.1	▲ 0.1
京都	30年産米	98	9.7	9.4	8.6	6.8	5.5	4.5	元年産米	99	9.2	9.1	▲ 0.5	▲ 0.2
埼玉	30年産米	99	27.0	25.2	23.6	19.0	15.4	12.1	元年産米	98	27.5	24.9	0.5	▲ 0.3
高知	30年産米	96	6.8	5.9	5.0	4.1	3.2	2.5	元年産米	91	5.9	5.4	▲ 0.8	▲ 0.5
香川	30年産米	96	15.1	13.9	13.1	12.1	10.7	9.3	元年産米	95	14.2	13.2	▲ 0.8	▲ 0.7
愛知	30年産米	98	30.3	27.6	24.9	20.8	17.4	13.6	元年産米	98	29.5	26.9	▲ 0.8	▲ 0.7
山口	30年産米	104	27.5	25.1	22.7	22.9	19.4	16.7	元年産米	94	25.8	23.9	▲ 1.7	▲ 1.1
愛媛	30年産米	100	10.2	8.9	7.7	6.3	5.1	4.0	元年産米	94	9.0	7.8	▲ 1.2	▲ 1.1
広島	30年産米	101	30.4	27.3	23.6	20.6	17.6	14.5	元年産米	95	29.0	25.9	▲ 1.4	▲ 1.4
鹿児島	30年産米	100	16.6	15.3	13.8	11.6	10.0	8.2	元年産米	94	15.8	13.6	▲ 0.8	▲ 1.7
長崎	30年産米	104	9.6	8.7	7.6	6.4	5.4	4.4	元年産米	94	7.8	6.9	▲ 1.8	▲ 1.8
島根	30年産米	103	28.1	26.2	23.0	18.9	15.7	12.6	元年産米	99	24.5	22.6	▲ 3.6	▲ 3.6
大分	30年産米	100	17.1	16.0	14.0	11.7	10.4	8.7	元年産米	85	13.7	11.6	▲ 3.4	▲ 4.5
石川	30年産米	100	49.7	45.5	39.5	33.0	27.8	22.6	元年産米	102	44.8	41.0	▲ 5.0	▲ 4.5
滋賀	30年産米	99	58.7	55.4	44.0	37.6	30.9	24.8	元年産米	98	54.3	50.0	▲ 4.4	▲ 5.4
群馬	30年産米	102	28.2	27.2	24.7	18.8	16.1	13.7	元年産米	98	19.5	19.1	▲ 8.7	▲ 8.1
佐賀	30年産米	102	31.1	29.8	27.8	24.9	21.2	16.5	元年産米	58	21.9	21.6	▲ 9.2	▲ 8.2
熊本	30年産米	103	46.9	44.9	41.6	36.3	31.6	26.8	元年産米	94	40.3	36.5	▲ 6.6	▲ 8.4
栃木	30年産米	102	144.8	135.6	124.5	107.9	93.1	80.3	元年産米	97	132.6	125.2	▲ 12.2	▲ 10.4
福岡	30年産米	104	57.5	52.4	46.0	39.2	32.5	25.7	元年産米	91	47.0	42.0	▲ 10.5	▲ 10.5
千葉	30年産米	99	80.0	73.2	66.7	57.8	48.0	29.4	元年産米	95	70.2	62.2	▲ 9.8	▲ 11.0

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

### (3) 平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

(北海道から秋田)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	108.9	75.3	110.8	266.2	311.3	323.3	312.5	281.0				
	元 年 産 米			64.9	229.5	282.8	301.8	293.7	265.6				
	1年古米(30年産)	102.5	70.0	41.9	33.9	26.2	19.8	17.5	14.5				
	出荷段階	78.7	48.8	79.0	191.7	237.8	250.7	246.5	222.8				
	元 年 産 米			52.5	178.3	228.2	242.9	239.8	217.4				
	1年古米(30年産)	77.8	48.1	25.9	13.0	9.3	7.7	6.6	5.4				
	販売段階	30.3	26.5	31.8	74.5	73.5	72.6	65.9	58.2				
	元 年 産 米			12.4	51.2	54.6	58.9	53.9	48.2				
	1年古米(30年産)	24.6	21.9	16.0	20.9	17.0	12.2	10.9	9.1				
青森	出荷＋販売段階	59.5	43.1	68.6	139.2	161.1	197.8	164.1	148.2				
	元 年 産 米			39.2	118.5	145.5	187.1	155.7	143.3				
	1年古米(30年産)	58.4	42.3	28.9	20.3	15.2	10.4	8.2	4.8				
	出荷段階	42.6	29.4	57.9	118.8	140.3	178.9	148.1	133.9				
	元 年 産 米			38.0	107.4	132.2	173.3	143.5	131.9				
	1年古米(30年産)	42.6	29.4	19.9	11.4	8.0	5.7	4.6	1.9				
	販売段階	16.9	13.7	10.7	20.4	20.8	18.9	16.0	14.3				
	元 年 産 米			1.2	11.1	13.3	13.9	12.2	11.3				
	1年古米(30年産)	15.8	12.9	9.0	8.9	7.2	4.8	3.6	2.8				
岩手	出荷＋販売段階	43.8	29.3	27.5	119.4	138.6	151.8	139.8	126.4				
	元 年 産 米			8.3	102.0	126.6	142.9	132.7	120.8				
	1年古米(30年産)	42.5	28.3	18.5	16.9	11.9	8.9	7.0	5.6				
	出荷段階	35.7	22.4	20.2	103.2	121.1	134.2	123.1	111.4				
	元 年 産 米			7.6	95.3	116.2	130.6	120.2	109.1				
	1年古米(30年産)	35.1	21.9	12.2	7.6	4.9	3.5	2.8	2.3				
	販売段階	8.1	6.9	7.3	16.2	17.5	17.7	16.7	15.0				
	元 年 産 米			0.7	6.7	10.3	12.2	12.5	11.6				
	1年古米(30年産)	7.4	6.4	6.3	9.3	7.1	5.4	4.2	3.3				
宮城	出荷＋販売段階	69.2	49.9	69.2	158.9	153.6	154.5	154.8	154.8				
	元 年 産 米		0.0	36.2	131.4	137.8	145.6	148.9	150.2				
	1年古米(30年産)	67.1	48.6	32.1	26.7	15.2	8.4	5.5	4.3				
	出荷段階	54.8	36.7	56.4	132.1	129.9	132.1	134.9	137.3				
	元 年 産 米			34.2	120.5	124.6	130.0	133.7	136.4				
	1年古米(30年産)	54.2	36.7	22.2	11.6	5.3	2.1	1.2	0.9				
	販売段階	14.5	13.2	12.8	26.8	23.7	22.3	19.9	17.5				
	元 年 産 米		0.0	2.0	10.9	13.2	15.6	15.2	13.8				
	1年古米(30年産)	12.9	12.0	9.8	15.1	9.9	6.3	4.3	3.4				
秋田	出荷＋販売段階	66.1	41.2	117.2	279.8	284.3	274.9	246.6	221.4				
	元 年 産 米			95.0	261.8	270.9	268.0	242.3	219.0				
	1年古米(30年産)	64.4	40.1	21.4	17.5	13.1	6.7	4.1	2.2				
	出荷段階	52.6	30.0	107.1	256.2	258.6	246.9	224.3	202.5				
	元 年 産 米			92.0	247.0	252.4	244.3	222.9	201.8				
	1年古米(30年産)	52.2	29.7	14.9	9.1	6.2	2.6	1.4	0.6				
	販売段階	13.4	11.2	10.1	23.6	25.7	28.1	22.3	18.9				
	元 年 産 米			3.0	14.8	18.6	23.7	19.4	17.2				
	1年古米(30年産)	12.2	10.4	6.5	8.4	6.9	4.1	2.7	1.5				

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。  
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。  
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷+販売段階	53.7	40.4	59.0	176.6	190.3	193.5	179.1	149.1				
	元 年 産 米		0.0	34.9	157.9	177.4	185.3	172.3	143.4				
	1年古米(30年産)	51.1	38.4	22.6	17.5	11.9	7.5	6.3	5.4				
	出荷段階	42.5	29.0	47.8	156.3	171.0	174.0	162.3	134.6				
	元 年 産 米			34.1	148.4	165.8	170.9	159.7	132.6				
	1年古米(30年産)	41.8	28.5	13.3	7.6	4.9	3.0	2.6	1.9				
	販売段階	11.2	11.4	11.2	20.3	19.3	19.5	16.8	14.5				
	元 年 産 米		0.0	0.8	9.5	11.6	14.4	12.6	10.8				
	1年古米(30年産)	9.3	9.9	9.3	9.9	7.0	4.5	3.8	3.4				
福島	出荷+販売段階	79.0	56.0	56.0	209.2	233.5	234.0	212.4	209.5				
	元 年 産 米		0.0	16.8	164.6	198.1	216.1	204.3	203.1				
	1年古米(30年産)	76.5	54.4	38.2	43.8	34.7	17.3	7.5	5.8				
	出荷段階	60.1	41.1	44.2	170.6	192.3	198.3	182.4	171.8				
	元 年 産 米		0.0	15.8	150.5	176.7	191.4	179.5	169.4				
	1年古米(30年産)	59.3	40.8	28.2	19.9	15.4	6.8	2.8	2.2				
	販売段階	18.9	14.8	11.8	38.7	41.3	35.7	30.0	37.7				
	元 年 産 米		0.0	0.9	14.1	21.4	24.7	24.8	33.7				
	1年古米(30年産)	17.3	13.6	10.0	23.9	19.3	10.5	4.7	3.5				
茨城	出荷+販売段階	29.8	33.6	107.8	127.3	121.0	115.3	108.5	96.5				
	元 年 産 米		14.6	94.5	117.2	113.9	110.0	104.4	93.3				
	1年古米(30年産)	28.2	17.7	12.3	9.2	6.4	4.7	3.5	2.8				
	出荷段階	16.5	19.0	73.3	88.0	84.4	81.3	75.4	66.6				
	元 年 産 米		9.4	68.4	85.0	82.6	80.1	74.6	65.9				
	1年古米(30年産)	16.3	9.4	4.8	2.9	1.7	1.1	0.7	0.6				
	販売段階	13.3	14.6	34.5	39.3	36.7	34.0	33.1	29.9				
	元 年 産 米		5.3	26.1	32.2	31.3	29.8	29.9	27.4				
	1年古米(30年産)	12.0	8.2	7.5	6.4	4.7	3.6	2.8	2.2				
栃木	出荷+販売段階	65.5	47.0	102.5	146.3	157.9	153.2	140.2	129.5				
	元 年 産 米		0.0	69.8	118.2	140.9	144.3	134.1	125.2				
	1年古米(30年産)	64.3	46.3	32.2	27.8	16.7	8.8	6.0	4.3				
	出荷段階	49.6	34.3	86.6	113.5	127.7	126.4	117.4	108.5				
	元 年 産 米		0.0	63.3	104.0	123.3	125.0	116.6	107.9				
	1年古米(30年産)	49.5	34.3	23.3	9.5	4.3	1.4	0.8	0.6				
	販売段階	15.9	12.7	15.8	32.9	30.2	26.8	22.8	21.0				
	元 年 産 米			6.5	14.2	17.6	19.3	17.5	17.3				
	1年古米(30年産)	14.8	12.0	8.9	18.3	12.4	7.4	5.2	3.7				
群馬	出荷+販売段階	10.9	7.9	5.5	7.4	16.5	24.9	20.5	19.8				
	元 年 産 米		0.0	0.4	4.4	14.4	23.4	19.5	19.1				
	1年古米(30年産)	10.7	7.8	5.1	3.0	2.1	1.5	1.0	0.7				
	出荷段階	8.6	5.6	3.7	4.5	13.4	22.0	17.8	16.9				
	元 年 産 米			0.3	4.1	13.3	22.0	17.7	16.9				
	1年古米(30年産)	8.6	5.6	3.4	0.3	0.2	0.0	0.0					
	販売段階	2.3	2.3	1.8	3.0	3.1	2.9	2.7	3.0				
	元 年 産 米		0.0	0.1	0.3	1.1	1.4	1.7	2.3				
	1年古米(30年産)	2.0	2.1	1.7	2.7	2.0	1.4	1.0	0.7				
埼玉	出荷+販売段階	10.3	7.8	15.2	24.0	30.0	30.9	28.3	25.2				
	元 年 産 米		0.6	9.3	20.2	27.6	29.5	27.5	24.9				
	1年古米(30年産)	9.8	6.8	5.7	3.7	2.3	1.3	0.7	0.3				
	出荷段階	7.3	4.8	9.4	16.5	22.3	23.8	22.4	20.0				
	元 年 産 米		0.3	7.2	15.2	21.6	23.3	22.1	20.0				
	1年古米(30年産)	7.2	4.5	2.3	1.3	0.8	0.5	0.3	0.0				
	販売段階	3.0	3.0	5.7	7.5	7.6	7.2	5.9	5.2				
	元 年 産 米		0.3	2.1	4.9	6.0	6.2	5.3	5.0				
	1年古米(30年産)	2.6	2.3	3.4	2.4	1.5	0.9	0.5	0.2				



(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷+販売段階	19.3	46.0	97.2	96.7	89.2	84.4	77.0	68.1				
	元 年 産 米		33.6	86.8	87.9	81.7	77.8	70.6	62.2				
	1年古米(30年産)	19.0	12.2	10.3	8.7	7.4	6.6	6.3	5.9				
	出荷段階	9.5	35.4	79.5	78.6	72.2	64.8	58.8	51.8				
	元 年 産 米		29.3	73.7	72.9	66.8	59.6	53.6	46.6				
	1年古米(30年産)	9.5	6.1	5.7	5.7	5.4	5.2	5.1	5.1				
	販売段階	9.8	10.6	17.8	18.1	17.0	19.7	18.2	16.4				
	元 年 産 米		4.3	13.1	15.0	14.8	18.2	17.0	15.6				
	1年古米(30年産)	9.5	6.1	4.5	3.0	2.1	1.4	1.1	0.7				
東京	出荷+販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	元 年 産 米				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	出荷段階												
	元 年 産 米												
	1年古米(30年産)												
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	元 年 産 米				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
神奈川	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.4	1.9	1.7	1.6	1.3	1.1				
	元 年 産 米			0.2	1.8	1.7	1.5	1.3	1.1				
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	出荷段階	0.4	0.3	0.4	1.9	1.6	1.5	1.3	1.1				
	元 年 産 米			0.2	1.8	1.6	1.5	1.2	1.0				
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0				
	元 年 産 米			0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0				
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
山梨	出荷+販売段階	1.9	1.4	1.9	4.3	4.7	5.6	5.2	4.7				
	元 年 産 米			1.0	3.6	4.1	5.3	4.9	4.5				
	1年古米(30年産)	1.8	1.3	0.9	0.7	0.6	0.3	0.3	0.2				
	出荷段階	1.6	1.1	1.6	3.9	4.2	5.0	4.7	4.3				
	元 年 産 米			1.0	3.5	3.8	4.9	4.6	4.2				
	1年古米(30年産)	1.5	1.1	0.7	0.4	0.4	0.1	0.1	0.1				
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.6	0.5	0.4				
	元 年 産 米			0.0	0.1	0.3	0.4	0.4	0.3				
	1年古米(30年産)	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1				
長野	出荷+販売段階	22.4	16.6	26.4	61.1	76.1	74.7	66.8	58.9				
	元 年 産 米			15.7	51.9	69.4	70.3	63.4	56.5				
	1年古米(30年産)	21.9	16.2	10.4	9.0	6.5	4.3	3.2	2.3				
	出荷段階	18.4	13.0	23.0	52.9	67.8	66.6	59.8	52.5				
	元 年 産 米			15.0	48.8	64.8	64.6	58.2	51.5				
	1年古米(30年産)	18.3	12.9	7.9	4.1	2.9	2.0	1.6	1.0				
	販売段階	4.0	3.6	3.4	8.3	8.3	8.2	7.0	6.4				
	元 年 産 米			0.7	3.2	4.6	5.7	5.3	5.0				
	1年古米(30年産)	3.6	3.3	2.5	4.9	3.5	2.4	1.6	1.3				
静岡	出荷+販売段階	2.0	3.8	15.9	19.2	19.4	18.2	14.3	12.9				
	元 年 産 米		2.8	15.4	18.9	19.2	18.0	14.1	12.8				
	1年古米(30年産)	1.9	0.9	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1				
	出荷段階	0.5	1.5	9.6	12.4	12.9	12.2	8.9	8.1				
	元 年 産 米		1.4	9.5	12.3	12.9	12.2	8.9	8.1				
	1年古米(30年産)	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0					
	販売段階	1.5	2.4	6.3	6.8	6.5	6.0	5.3	4.8				
	元 年 産 米		1.5	5.8	6.6	6.3	5.8	5.2	4.7				
	1年古米(30年産)	1.5	0.8	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1				

在庫7

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷+販売段階	58.9	35.1	214.1	309.4	306.2	281.1	258.6	223.7				
	元 年 産 米		0.5	194.1	293.3	294.1	272.9	252.6	219.5				
	1年古米(30年産)	57.9	33.7	19.4	15.8	11.8	8.0	5.8	4.0				
	出荷段階	45.2	23.3	194.0	276.1	273.0	244.7	227.7	196.6				
	元 年 産 米		0.4	180.5	268.8	268.8	242.3	225.8	195.3				
	1年古米(30年産)	44.9	22.6	13.3	7.2	4.1	2.4	1.9	1.2				
	販売段階	13.7	11.7	20.1	33.4	33.2	36.4	30.9	27.1				
	元 年 産 米		0.1	13.6	24.4	25.3	30.6	26.8	24.2				
	1年古米(30年産)	13.0	11.0	6.0	8.6	7.7	5.6	4.0	2.8				
富山	出荷+販売段階	21.7	14.6	65.4	91.5	91.0	84.8	77.3	69.3				
	元 年 産 米		1.0	56.6	86.5	87.7	82.6	75.6	67.9				
	1年古米(30年産)	21.4	13.4	8.8	4.9	3.2	2.1	1.6	1.3				
	出荷段階	15.8	9.2	57.2	80.3	81.3	74.9	69.5	62.2				
	元 年 産 米		0.5	52.3	80.1	81.1	74.7	69.3	62.1				
	1年古米(30年産)	15.8	8.7	4.8	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1				
	販売段階	5.9	5.4	8.3	11.2	9.8	9.9	7.9	7.1				
	元 年 産 米		0.5	4.2	6.4	6.6	7.9	6.3	5.8				
	1年古米(30年産)	5.7	4.8	3.9	4.7	3.1	2.0	1.5	1.2				
石川	出荷+販売段階	17.1	13.5	53.8	63.7	58.2	52.3	46.7	42.9				
	元 年 産 米		2.2	45.8	57.5	54.6	50.1	44.8	41.0				
	1年古米(30年産)	16.6	10.9	7.7	5.9	3.4	2.0	1.8	1.7				
	出荷段階	12.5	9.1	34.2	41.2	37.1	33.0	29.5	26.8				
	元 年 産 米		0.7	27.9	37.4	34.8	31.8	28.5	25.9				
	1年古米(30年産)	12.3	8.2	6.1	3.7	2.2	1.2	1.0	0.9				
	販売段階	4.7	4.4	19.7	22.6	21.1	19.2	17.1	16.1				
	元 年 産 米		1.5	17.8	20.1	19.7	18.3	16.3	15.1				
	1年古米(30年産)	4.4	2.7	1.6	2.3	1.2	0.9	0.8	0.9				
福井	出荷+販売段階	19.0	14.8	51.1	75.9	61.9	66.4	61.4	55.3				
	元 年 産 米		2.5	42.9	71.0	58.0	63.4	59.1	53.5				
	1年古米(30年産)	18.8	12.2	8.2	4.8	3.9	3.0	2.3	1.8				
	出荷段階	14.3	9.8	39.2	59.3	46.8	48.0	44.4	41.0				
	元 年 産 米		1.1	33.6	58.4	46.3	47.5	44.1	40.6				
	1年古米(30年産)	14.3	8.8	5.7	0.9	0.5	0.4	0.4	0.4				
	販売段階	4.7	5.0	11.9	16.6	15.1	18.5	17.0	14.3				
	元 年 産 米		1.4	9.3	12.6	11.6	15.9	15.0	12.9				
	1年古米(30年産)	4.5	3.4	2.5	4.0	3.4	2.5	1.9	1.4				
岐阜	出荷+販売段階	8.7	8.2	9.9	14.7	23.1	28.2	25.9	24.1				
	元 年 産 米		1.1	3.8	10.0	19.1	25.1	23.3	21.9				
	1年古米(30年産)	8.1	6.6	5.8	4.5	3.7	3.0	2.5	2.0				
	出荷段階	5.1	3.9	5.0	7.8	15.6	21.3	20.0	18.6				
	元 年 産 米		0.8	2.7	7.4	15.4	21.1	19.8	18.4				
	1年古米(30年産)	5.0	3.1	2.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.1				
	販売段階	3.6	4.3	5.0	6.8	7.4	6.9	6.0	5.5				
	元 年 産 米		0.4	1.1	2.6	3.7	4.0	3.5	3.5				
	1年古米(30年産)	3.0	3.5	3.5	4.1	3.5	2.8	2.3	1.9				
愛知	出荷+販売段階	10.8	8.6	12.4	21.1	30.2	32.0	30.4	27.8				
	元 年 産 米		0.7	7.7	18.3	28.5	30.7	29.5	26.9				
	1年古米(30年産)	10.4	7.6	4.5	2.8	1.6	1.3	0.9	1.0				
	出荷段階	8.1	5.9	8.6	15.4	23.3	24.4	23.9	21.7				
	元 年 産 米		0.2	5.7	14.8	23.0	24.1	23.7	21.4				
	1年古米(30年産)	7.9	5.6	2.8	0.5	0.3	0.3	0.2	0.2				
	販売段階	2.8	2.7	3.7	5.7	6.9	7.6	6.5	6.2				
	元 年 産 米		0.5	1.9	3.5	5.5	6.6	5.8	5.4				
	1年古米(30年産)	2.4	2.0	1.7	2.3	1.3	1.0	0.7	0.8				

在庫8

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷+販売段階	10.0	13.8	40.3	44.6	45.1	42.3	38.0	33.7				
	元 年 産 米		8.6	35.9	41.2	42.3	39.9	35.9	32.0				
	1年古米(30年産)	8.8	4.2	3.5	3.3	2.8	2.4	2.1	1.7				
	出荷段階	6.0	10.5	34.9	38.7	39.9	36.9	33.2	29.6				
	元 年 産 米		6.9	31.8	36.7	38.1	35.3	31.8	28.3				
	1年古米(30年産)	5.2	2.8	2.5	2.0	1.9	1.6	1.4	1.2				
	販売段階	4.0	3.3	5.4	5.9	5.2	5.5	4.8	4.2				
	元 年 産 米		1.7	4.1	4.5	4.2	4.6	4.1	3.7				
	1年古米(30年産)	3.7	1.4	1.1	1.3	1.0	0.8	0.6	0.5				
滋賀	出荷+販売段階	19.1	14.9	51.2	59.7	60.4	64.1	59.6	54.1				
	元 年 産 米		1.4	40.7	50.8	52.9	57.9	54.4	50.0				
	1年古米(30年産)	17.8	12.5	9.9	8.5	7.3	6.0	5.1	4.0				
	出荷段階	15.1	11.3	46.1	53.5	54.3	57.3	53.7	48.9				
	元 年 産 米		1.2	38.5	46.8	48.5	52.6	49.7	45.7				
	1年古米(30年産)	14.1	9.4	7.2	6.4	5.5	4.5	4.0	3.2				
	販売段階	4.0	3.6	5.2	6.2	6.1	6.8	5.9	5.2				
	元 年 産 米		0.2	2.2	3.9	4.3	5.2	4.8	4.3				
	1年古米(30年産)	3.7	3.1	2.8	2.1	1.8	1.5	1.1	0.9				
京都	出荷+販売段階	3.6	2.4	8.0	10.8	11.7	11.1	9.4	9.3				
	元 年 産 米		0.0	6.5	10.1	11.3	10.7	9.2	9.1				
	1年古米(30年産)	3.5	2.3	1.4	0.6	0.4	0.3	0.2	0.2				
	出荷段階	2.7	1.7	6.7	9.2	10.1	9.4	8.1	8.2				
	元 年 産 米		0.0	6.0	9.1	10.1	9.4	8.1	8.1				
	1年古米(30年産)	2.7	1.7	0.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.9	0.7	1.2	1.6	1.6	1.7	1.3	1.2				
	元 年 産 米			0.6	1.1	1.2	1.3	1.1	1.0				
	1年古米(30年産)	0.8	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2				
大阪	出荷+販売段階	0.4	0.3	0.4	0.6	1.2	1.9	1.8	1.5				
	元 年 産 米			0.2	0.5	1.1	1.8	1.7	1.5				
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	出荷段階	0.3	0.2	0.3	0.5	1.1	1.6	1.5	1.3				
	元 年 産 米			0.2	0.5	1.1	1.6	1.5	1.3				
	1年古米(30年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2				
	元 年 産 米				0.0	0.0	0.2	0.2	0.2				
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
兵庫	出荷+販売段階	16.5	12.8	24.7	49.2	48.4	46.6	44.2	43.2				
	元 年 産 米		0.0	14.9	46.7	46.4	45.1	43.2	42.5				
	1年古米(30年産)	16.2	12.5	9.6	2.3	1.8	1.3	0.8	0.5				
	出荷段階	14.1	11.0	22.0	43.7	42.7	41.2	39.7	39.2				
	元 年 産 米		0.0	13.6	43.6	42.7	41.2	39.7	39.2				
	1年古米(30年産)	14.1	11.0	8.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	2.4	1.8	2.7	5.5	5.6	5.3	4.4	3.9				
	元 年 産 米			1.3	3.1	3.8	3.9	3.5	3.3				
	1年古米(30年産)	2.1	1.6	1.2	2.2	1.7	1.3	0.8	0.5				
奈良	出荷+販売段階	2.4	1.7	2.0	6.0	9.2	8.7	7.9	7.4				
	元 年 産 米			1.0	5.5	8.7	8.2	7.6	7.0				
	1年古米(30年産)	2.3	1.5	0.9	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3				
	出荷段階	1.5	0.9	1.0	4.5	7.3	7.1	6.6	6.2				
	元 年 産 米			0.9	4.4	7.3	7.0	6.6	6.2				
	1年古米(30年産)	1.4	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	1.0	0.7	0.9	1.5	1.9	1.6	1.3	1.2				
	元 年 産 米			0.1	1.0	1.4	1.2	1.0	0.8				
	1年古米(30年産)	0.8	0.6	0.8	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3				

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷+販売段階	0.5	0.3	0.6	1.0	1.0	1.1	1.3	1.1				
	元 年 産 米			0.4	0.9	0.9	1.0	1.2	1.1				
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0				
	出荷段階			0.4	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5				
	元 年 産 米			0.4	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5				
	1年古米(30年産)												
	販売段階	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.7	0.6				
	元 年 産 米			0.1	0.2	0.2	0.3	0.6	0.6				
	1年古米(30年産)	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0				
鳥取	出荷+販売段階	8.3	5.7	9.3	21.6	23.5	28.1	29.6	26.4				
	元 年 産 米		0.0	5.8	19.2	21.4	26.4	28.1	25.5				
	1年古米(30年産)	8.1	5.6	3.5	2.4	2.1	1.7	1.5	0.9				
	出荷段階	5.9	3.8	7.6	19.0	20.6	25.1	22.0	19.8				
	元 年 産 米		0.0	5.3	18.0	19.6	24.2	21.3	19.5				
	1年古米(30年産)	5.9	3.8	2.3	1.1	1.0	0.9	0.7	0.3				
	販売段階	2.3	1.8	1.6	2.5	2.9	3.0	7.6	6.6				
	元 年 産 米			0.4	1.2	1.8	2.2	6.8	6.0				
	1年古米(30年産)	2.2	1.8	1.2	1.3	1.1	0.8	0.8	0.6				
島根	出荷+販売段階	8.9	6.7	16.8	25.3	25.2	27.2	25.3	23.3				
	元 年 産 米		0.3	13.6	23.3	23.8	26.2	24.5	22.6				
	1年古米(30年産)	8.8	6.2	3.1	1.8	1.3	0.9	0.7	0.5				
	出荷段階	6.8	4.7	14.3	21.5	21.4	24.1	22.4	20.8				
	元 年 産 米		0.3	12.5	21.0	21.1	23.9	22.4	20.8				
	1年古米(30年産)	6.8	4.5	1.9	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1				
	販売段階	2.1	1.9	2.5	3.8	3.8	3.2	2.9	2.4				
	元 年 産 米		0.0	1.1	2.3	2.7	2.3	2.2	1.8				
	1年古米(30年産)	1.9	1.7	1.2	1.4	1.0	0.7	0.6	0.5				
岡山	出荷+販売段階	19.6	14.1	20.8	33.7	45.3	45.3	47.9	45.5				
	元 年 産 米			9.9	28.2	41.8	43.2	46.4	44.4				
	1年古米(30年産)	19.3	14.0	10.8	5.4	3.4	2.1	1.4	1.1				
	出荷段階	15.2	10.6	13.7	26.0	36.4	36.0	39.6	37.8				
	元 年 産 米			8.5	24.6	35.7	35.6	39.3	37.6				
	1年古米(30年産)	15.2	10.6	5.2	1.4	0.6	0.4	0.3	0.3				
	販売段階	4.4	3.6	7.1	7.8	8.9	9.3	8.2	7.7				
	元 年 産 米			1.4	3.6	6.1	7.6	7.1	6.8				
	1年古米(30年産)	4.1	3.4	5.6	4.1	2.7	1.7	1.1	0.8				
広島	出荷+販売段階	11.4	8.2	21.4	37.8	37.2	33.9	30.8	27.5				
	元 年 産 米		0.2	15.9	34.4	34.4	31.7	29.0	25.9				
	1年古米(30年産)	11.1	7.7	5.2	3.3	2.5	2.0	1.6	1.4				
	出荷段階	8.2	5.6	17.4	30.5	30.3	27.5	24.7	21.4				
	元 年 産 米		0.1	14.2	30.3	30.2	27.4	24.7	21.4				
	1年古米(30年産)	8.2	5.5	3.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0				
	販売段階	3.2	2.6	3.9	7.4	6.8	6.4	6.1	6.1				
	元 年 産 米		0.0	1.7	4.1	4.2	4.4	4.4	4.5				
	1年古米(30年産)	2.9	2.3	2.0	3.1	2.4	1.9	1.6	1.4				
山口	出荷+販売段階	13.1	10.4	18.5	31.1	31.3	30.4	27.8	25.4				
	元 年 産 米		0.5	11.5	26.3	27.6	27.7	25.8	23.9				
	1年古米(30年産)	12.9	9.7	6.9	4.6	3.6	2.6	2.0	1.5				
	出荷段階	11.5	9.1	16.9	25.5	26.6	26.1	24.5	22.7				
	元 年 産 米		0.5	11.0	25.2	26.4	26.0	24.5	22.7				
	1年古米(30年産)	11.5	8.6	5.9	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	1.6	1.3	1.7	5.6	4.7	4.3	3.3	2.7				
	元 年 産 米		0.0	0.5	1.2	1.3	1.7	1.3	1.2				
	1年古米(30年産)	1.4	1.2	1.0	4.3	3.4	2.5	1.9	1.4				



(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷+販売段階	2.5	7.2	13.4	12.4	12.2	11.1	9.9	9.0				
	元 年 産 米		5.3	12.0	11.3	11.1	10.2	9.1	8.4				
	1年古米(30年産)	2.4	1.8	1.4	1.1	1.0	0.9	0.8	0.6				
	出荷段階	1.0	5.0	9.8	8.9	8.5	7.7	6.7	6.0				
	元 年 産 米		4.3	9.7	8.8	8.5	7.6	6.7	6.0				
	1年古米(30年産)	1.0	0.7	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0					
	販売段階	1.6	2.2	3.6	3.6	3.6	3.5	3.2	3.0				
	元 年 産 米		1.0	2.3	2.5	2.7	2.6	2.4	2.4				
	1年古米(30年産)	1.5	1.1	1.3	1.1	0.9	0.9	0.8	0.6				
香川	出荷+販売段階	7.5	6.1	7.0	12.8	17.4	16.3	14.9	13.7				
	元 年 産 米		0.4	2.9	10.7	15.9	15.4	14.2	13.2				
	1年古米(30年産)	7.4	5.7	4.1	2.1	1.4	0.8	0.6	0.4				
	出荷段階	6.5	5.2	5.4	10.7	15.5	14.6	13.4	12.5				
	元 年 産 米		0.3	2.5	10.1	15.2	14.6	13.4	12.5				
	1年古米(30年産)	6.5	4.9	3.0	0.7	0.3	0.0						
	販売段階	1.0	0.9	1.6	2.1	1.9	1.7	1.4	1.2				
	元 年 産 米		0.1	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7				
	1年古米(30年産)	0.9	0.8	1.1	1.4	1.1	0.8	0.6	0.4				
愛媛	出荷+販売段階	3.1	3.6	5.3	9.4	10.3	10.6	9.5	8.3				
	元 年 産 米		1.6	3.9	8.3	9.5	9.9	9.0	7.8				
	1年古米(30年産)	2.9	1.9	1.3	1.0	0.8	0.6	0.5	0.4				
	出荷段階	2.6	3.2	4.9	8.9	9.8	10.1	9.0	7.8				
	元 年 産 米		1.5	3.8	8.0	9.1	9.6	8.6	7.4				
	1年古米(30年産)	2.4	1.5	1.1	0.8	0.6	0.5	0.4	0.3				
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5				
	元 年 産 米		0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4				
	1年古米(30年産)	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1				
高知	出荷+販売段階	2.2	8.9	8.5	9.0	8.3	7.3	6.8	6.1				
	元 年 産 米	0.2	7.2	7.1	7.9	7.2	6.4	5.9	5.4				
	1年古米(30年産)	1.7	1.3	1.1	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6				
	出荷段階	0.4	4.0	4.2	4.1	3.7	3.3	1.6	1.2				
	元 年 産 米	0.1	3.7	4.1	4.1	3.6	3.3	1.6	1.2				
	1年古米(30年産)	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	1.8	4.9	4.3	4.9	4.6	4.0	5.2	4.9				
	元 年 産 米	0.1	3.5	3.0	3.8	3.6	3.1	4.3	4.2				
	1年古米(30年産)	1.4	1.1	1.0	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6				
福岡	出荷+販売段階	18.9	13.5	20.6	33.0	40.0	49.4	49.1	43.6				
	元 年 産 米		0.5	12.7	27.3	36.0	46.7	47.0	42.0				
	1年古米(30年産)	18.5	12.8	7.7	5.6	3.9	2.6	2.1	1.6				
	出荷段階	14.9	9.5	13.9	23.0	31.1	41.6	42.6	37.9				
	元 年 産 米		0.2	8.6	20.9	29.8	40.7	41.8	37.3				
	1年古米(30年産)	14.9	9.2	5.3	2.1	1.3	0.9	0.8	0.6				
	販売段階	3.9	4.0	6.7	10.0	8.9	7.9	6.5	5.7				
	元 年 産 米		0.2	4.2	6.3	6.2	6.1	5.2	4.6				
	1年古米(30年産)	3.6	3.6	2.3	3.6	2.6	1.7	1.3	1.1				
佐賀	出荷+販売段階	12.2	9.8	8.3	16.2	22.7	23.6	23.2	22.5				
	元 年 産 米		0.9	2.5	13.6	20.4	21.9	21.9	21.6				
	1年古米(30年産)	12.1	8.8	5.7	2.6	2.3	1.6	1.2	0.9				
	出荷段階	10.8	8.6	7.3	12.9	19.2	20.4	20.4	20.3				
	元 年 産 米		0.8	2.3	12.9	19.1	20.4	20.4	20.2				
	1年古米(30年産)	10.8	7.8	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	1.4	1.2	1.1	3.3	3.6	3.2	2.8	2.2				
	元 年 産 米		0.1	0.3	0.7	1.2	1.5	1.5	1.4				
	1年古米(30年産)	1.3	1.0	0.7	2.5	2.3	1.6	1.2	0.8				

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷+販売段階	3.3	2.6	2.5	5.6	8.1	8.5	8.2	7.1				
	元 年 産 米		0.4	1.3	4.7	7.4	8.0	7.8	6.9				
	1年古米(30年産)	3.2	2.2	1.2	0.9	0.7	0.4	0.4	0.2				
	出荷段階	3.0	2.4	2.2	4.7	7.1	7.6	7.5	6.6				
	元 年 産 米		0.4	1.2	4.4	6.8	7.4	7.3	6.5				
	1年古米(30年産)	3.0	2.0	1.0	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1				
	販売段階	0.3	0.3	0.3	0.9	1.1	0.8	0.7	0.5				
	元 年 産 米		0.0	0.1	0.3	0.6	0.6	0.4	0.4				
	1年古米(30年産)	0.2	0.2	0.1	0.5	0.4	0.2	0.2	0.1				
熊本	出荷+販売段階	21.5	18.2	15.7	33.9	40.2	46.3	43.4	39.1				
	元 年 産 米		2.5	5.5	27.9	35.6	42.5	40.3	36.5				
	1年古米(30年産)	20.9	15.3	9.9	5.8	4.5	3.7	3.0	2.5				
	出荷段階	15.0	12.2	8.9	21.8	27.9	34.5	32.9	29.2				
	元 年 産 米		1.6	3.1	19.6	26.6	34.0	32.6	29.1				
	1年古米(30年産)	15.0	10.6	5.8	2.2	1.4	0.4	0.3	0.1				
	販売段階	6.5	6.0	6.8	12.1	12.3	11.8	10.5	10.0				
	元 年 産 米		0.9	2.4	8.3	9.1	8.5	7.8	7.5				
	1年古米(30年産)	5.9	4.7	4.1	3.6	3.1	3.2	2.7	2.4				
大分	出荷+販売段階	7.2	5.9	6.0	11.4	15.9	16.4	15.2	12.6				
	元 年 産 米		0.4	2.3	8.0	13.2	14.3	13.7	11.6				
	1年古米(30年産)	7.0	5.4	3.7	3.4	2.7	2.1	1.6	1.1				
	出荷段階	5.0	4.0	4.0	6.6	10.1	10.3	9.7	7.7				
	元 年 産 米		0.2	1.7	5.2	9.0	9.5	9.1	7.3				
	1年古米(30年産)	5.0	3.8	2.4	1.4	1.1	0.8	0.6	0.3				
	販売段階	2.1	1.9	2.0	4.7	5.8	6.1	5.5	5.0				
	元 年 産 米		0.1	0.7	2.8	4.3	4.9	4.6	4.2				
	1年古米(30年産)	2.0	1.7	1.3	2.0	1.6	1.2	0.9	0.7				
宮崎	出荷+販売段階	6.0	7.4	3.9	10.7	12.0	12.8	11.7	10.3				
	元 年 産 米	3.5	5.6	3.0	10.0	11.4	12.4	11.4	10.1				
	1年古米(30年産)	2.4	1.8	0.9	0.6	0.5	0.4	0.3	0.2				
	出荷段階	3.9	4.2	0.5	7.8	9.2	10.3	9.5	8.4				
	元 年 産 米	2.2	3.0	0.2	7.7	9.2	10.3	9.5	8.4				
	1年古米(30年産)	1.6	1.2	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	2.1	3.2	3.4	2.9	2.8	2.5	2.2	1.9				
	元 年 産 米	1.3	2.6	2.8	2.4	2.3	2.1	1.9	1.7				
	1年古米(30年産)	0.8	0.6	0.6	0.5	0.5	0.3	0.3	0.2				
鹿児島	出荷+販売段階	7.9	10.2	9.0	17.1	20.1	19.1	18.0	15.4				
	元 年 産 米	0.7	4.0	4.1	13.2	16.8	16.3	15.8	13.6				
	1年古米(30年産)	6.6	5.7	4.4	3.6	3.1	2.6	2.1	1.8				
	出荷段階	5.7	5.9	4.0	11.4	13.9	13.7	12.8	10.6				
	元 年 産 米	0.1	1.1	0.8	8.8	11.7	12.0	11.5	9.5				
	1年古米(30年産)	5.0	4.4	2.8	2.3	2.0	1.6	1.2	1.1				
	販売段階	2.2	4.3	5.0	5.8	6.2	5.4	5.2	4.9				
	元 年 産 米	0.6	3.0	3.3	4.4	5.1	4.4	4.3	4.1				
	1年古米(30年産)	1.6	1.3	1.6	1.3	1.1	1.0	0.9	0.8				
沖縄	出荷+販売段階	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2				
	元 年 産 米	0.6	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2				
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	出荷段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1				
	元 年 産 米	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1				
	1年古米(30年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	販売段階	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1				
	元 年 産 米	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1				
	1年古米(30年産)												

## Ⅱ 米の契約・販売情報

### 1 令和2年産備蓄米の政府買入

国内産米穀の政府買入入札情報については、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米（稲）・麦・大豆」、品目別分類「国内産米穀の政府買入れのお知らせ」から御覧いただけます。  
 【 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html> 】

#### 政府備蓄米の都道府県別買入数量、優先枠及び買入入札の結果

令和2年産

(単位：トン)

買入対象米穀の産地	都道府県別優先枠	買入入札の結果				落札合計数量
		第1回 令和2年1月21日実施	第2回 令和2年2月13日実施	第3回 令和2年3月5日実施	第4回 令和2年3月26日実施	
北海道	2,162	0	911	1,251		2,162
青森	27,259	6,325	20,934			27,259
岩手	3,488	410	240	2,838		3,488
宮城	11,600	256	10,675	669		11,600
秋田	21,572	912	13,705	2,618		17,235
山形	21,291	2,109	18,298	357		20,764
福島	27,050	1,230	14,460	11,360		27,050
茨城	1,103	224	851	28		1,103
栃木	7,602	1,512	5,044	409		6,965
群馬	555	0	12	543		555
埼玉	463	106	357			463
千葉	3,985	188	3,797			3,985
東京						
神奈川						
新潟	25,149	107	9,737	15,305		25,149
富山	12,197	23	12,174			12,197
石川	7,849	49	2,482	4,102		6,633
福井	4,076	0	3,815	40		3,855
山梨						
長野	1,446	20	290	779		1,089
岐阜	435	10	0	220		230
静岡	20	0	0	20		20
愛知	846	0	846			846
三重	270	0	0	0		0
滋賀	1,342	28	952	362		1,342
京都						
大阪						
兵庫						
奈良						
和歌山						
鳥取	400	10	0	390		400
島根	130	10	120			130
岡山	977	188	266	92		546
広島	20	0	20			20
山口						
徳島	1,182	0	70	290		360
香川						
愛媛						
高知	10	0	10			10
福岡	264	0	94	20		114
佐賀	220	0	220			220
長崎	10	0	0	10		10
熊本	247	0	36	84		120
大分	94	0	0	94		94
宮崎						
鹿児島						
沖縄						
都道府県別枠計	185,314	13,717	120,416	41,881		176,014
指定なし	21,686	1,942	3,321	15,149	10,574	30,986
合計	207,000	15,659	123,737	57,030	10,574	207,000
うちCPTPP分						7,000

	買入予定数量 ①	合計落札数量 ②	落札比率 ②/①	落札残 ①-②
備蓄米入札 落札結果	207,000	207,000	100.0%	0

契約1

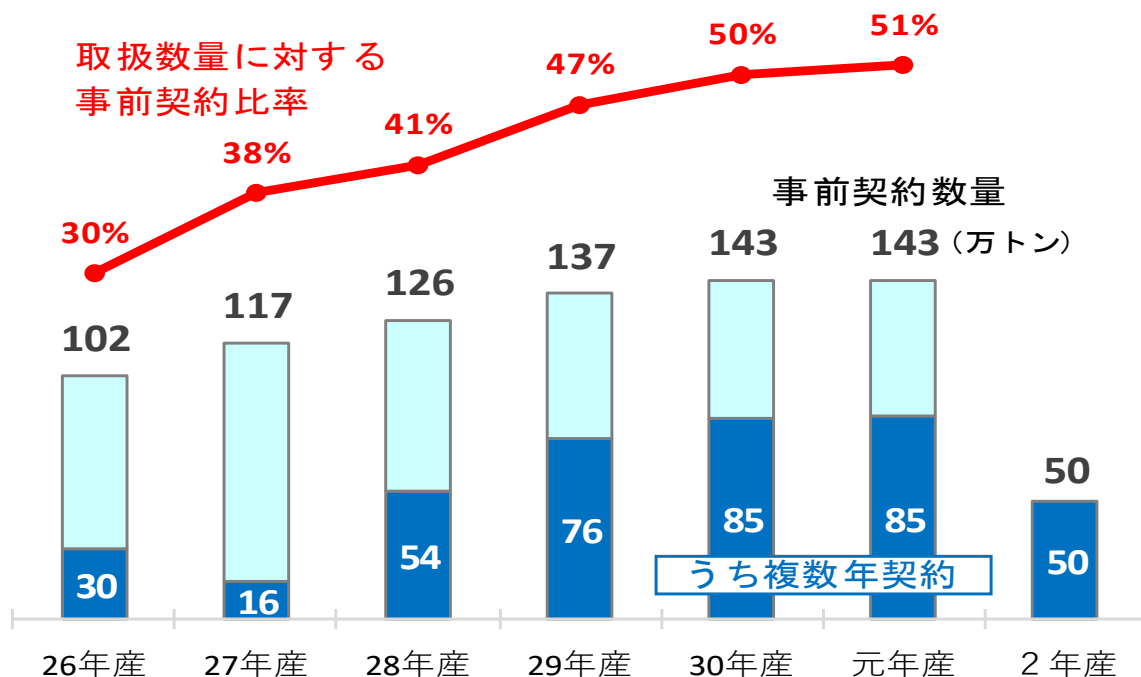
## 2 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。  
【 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

### (1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和2年産）

- 近年、主食用米では事前契約（複数年契約）の取組は、30年産で143万トン、取扱数量に対する事前契約比率は50%と年々増加しているが、元年産は令和2年2月末時点で143万トン、事前契約比率は対前年産+1%の51%と横ばいの状況。
- 事前契約の契約時期については、単年の契約の場合、豊凶等による数量・価格変動のリスクがあるため、播種前ではなく、収穫前・直前の8月以降の契約が増加傾向。

### 【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

注2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

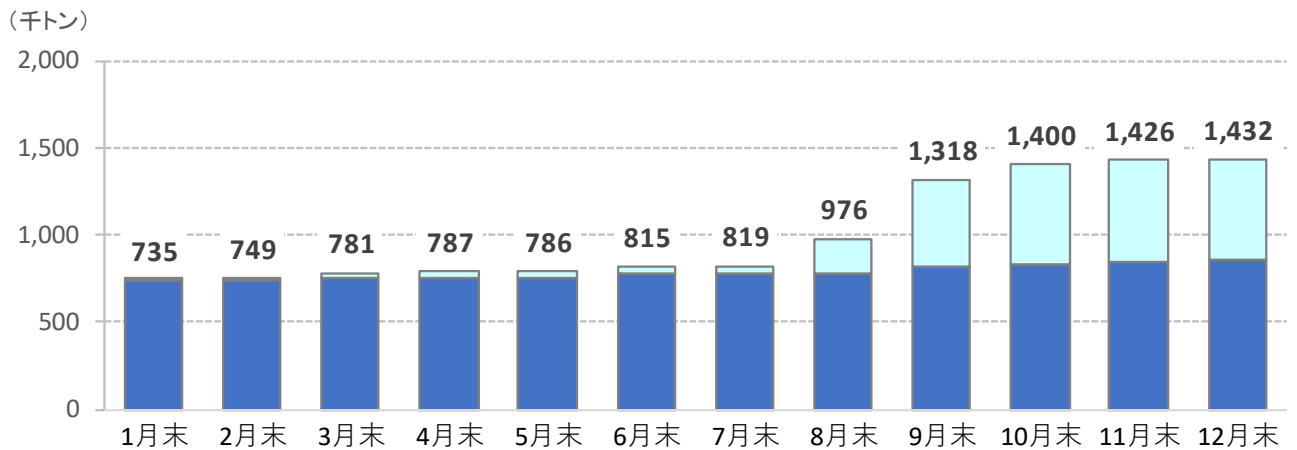
注3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

注4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

注5：30年産以前は確定値、元年産・2年産は2年2月末時点の速報値。

注6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## (2) 令和元年産における月別の事前契約数量の推移（速報）



### 数量内訳

	1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末
■ 単年契約	1	14	27	30	30	39	41	202	502	565	579	578
■ 複数年契約	734	735	754	757	756	776	778	775	816	835	847	854

単年契約／事前契約数量計 5% 5% 21% 38% 40% 41% 40%

## 【都道府県別の取組状況（元年6月末時点との比較）】

都道府県	元年6月末時点		元年12月末時点		都道府県	元年6月末時点		元年12月末時点	
	事前契約数量	うち単年契約	事前契約数量	うち単年契約		事前契約数量	うち単年契約	事前契約数量	うち単年契約
北海道	172.2	-	208.5	25.5	滋賀	7.7	-	34.9	18.8
青森	10.1	-	56.7	37.2	京都	-	-	6.8	6.8
岩手	82.1	-	88.8	-	大阪	-	-	-	-
宮城	125.9	13.2	126.9	13.2	兵庫	13.0	13.0	13.0	13.0
秋田	95.3	8.9	190.7	89.1	奈良	-	-	-	-
山形	21.0	-	79.6	50.2	和歌山	-	-	-	-
福島	43.2	-	45.5	1.1	鳥取	4.1	4.1	4.1	4.1
茨城	-	-	16.2	15.2	島根	2.4	-	34.0	30.8
栃木	69.6	-	74.0	4.5	岡山	-	-	-	-
群馬	-	-	0.2	0.2	広島	-	-	24.7	24.7
埼玉	0.6	-	7.8	6.9	山口	0.6	-	22.4	21.7
千葉	8.1	-	12.0	-	徳島	-	-	2.2	2.2
東京	-	-	-	-	香川	3.3	-	15.8	10.1
神奈川	-	-	-	-	愛媛	-	-	3.3	3.3
山梨	-	-	-	-	高知	-	-	2.1	2.1
長野	31.0	-	35.1	2.6	福岡	0.6	-	33.3	32.6
静岡	0.0	0.0	1.7	1.7	佐賀	-	-	-	-
新潟	110.7	-	170.1	62.2	長崎	-	-	-	-
富山	0.7	-	38.6	30.4	熊本	-	-	-	-
石川	1.5	-	21.7	20.2	大分	-	-	4.0	4.0
福井	9.3	-	9.1	-	宮崎	-	-	-	-
岐阜	-	-	15.0	12.4	鹿児島	-	-	-	-
愛知	1.5	-	13.0	11.3	沖縄	-	-	-	-
三重	-	-	20.0	20.0	全国	815	39	1,432	578

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

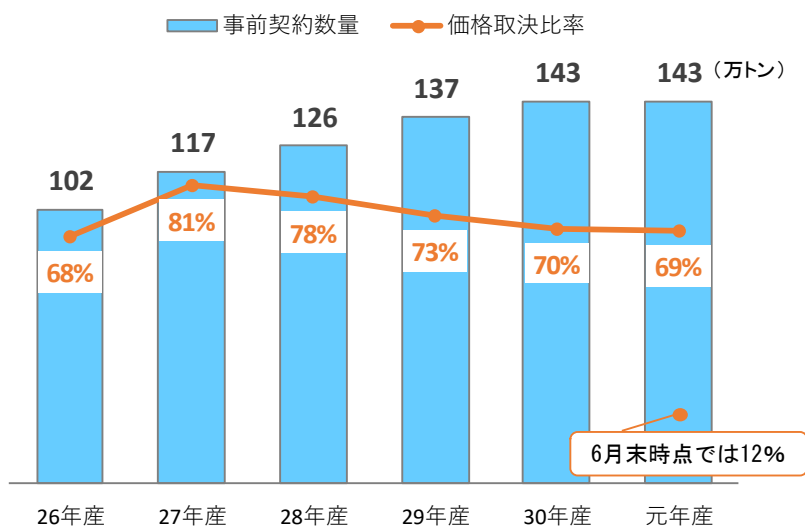
4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



### (3) 事前契約数量と価格取決比率の推移

- 事前契約における価格取決比率について、元年産は令和2年2月末時点で契約数量の69%（対前年産▲1%）、前年6月末時点では12%となっている。
- 収穫前の時期では、価格まで決定している契約は少なく、複数年契約においても数量のみの契約が大宗。



注1:「価格取決数量」は、基準価格の±10%の範囲内の一定の幅を設けた価格取り決めを含む。  
 注2:「価格取決比率」は、各年産の事前契約数量(30年産以前は確定値、元年産は速報値)を生産年の翌年1月末時点の価格取決数量で除した値である。

#### 【年産別 事前契約に占める価格取決比率】

(千トン、%)

都道府県	30年産		元年産		前年差	
	①	価格取決比率	②	価格取決比率	②-①	価格取決比率
北海道	174.6	74%	208.5	69%	+ 33.9	▲5%
青森	52.4	58%	56.7	70%	+ 4.3	+ 12%
岩手	92.2	100%	88.8	100%	▲ 3.5	+ 0%
宮城	117.6	50%	126.9	81%	+ 9.3	+ 31%
秋田	182.4	49%	190.4	50%	+ 8.0	±0%
山形	70.8	81%	79.6	56%	+ 8.8	▲26%
福島	49.5	32%	46.7	40%	▲ 2.9	+ 8%
茨城	16.0	94%	16.3	68%	+ 0.3	▲26%
栃木	73.1	53%	74.0	56%	+ 1.0	+ 3%
群馬	0.1	100%	0.2	100%	+ 0.1	±0%
埼玉	9.2	70%	7.8	74%	▲ 1.4	+ 4%
千葉	10.3	100%	12.0	95%	+ 1.7	▲5%
東京	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-
長野	32.5	100%	35.1	95%	+ 2.6	▲5%
静岡	1.9	95%	1.7	72%	▲ 0.2	▲23%
新潟	156.2	88%	170.2	85%	+ 14.1	▲4%
富山	48.9	81%	38.6	79%	▲ 10.4	▲2%
石川	23.3	66%	21.7	50%	▲ 1.5	▲16%
福井	8.3	42%	9.1	35%	+ 0.8	▲8%
岐阜	9.2	53%	15.0	49%	+ 5.8	▲4%
愛知	15.1	100%	13.0	100%	▲ 2.0	±0%
三重	19.8	79%	20.0	71%	+ 0.2	▲8%
滋賀	40.0	63%	34.9	70%	▲ 5.1	+ 7%
京都	7.1	92%	6.8	74%	▲ 0.4	▲18%
大阪	-	-	-	-	-	-
兵庫	12.5	100%	13.0	100%	+ 0.5	±0%
奈良	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-
鳥取	5.7	100%	4.1	100%	▲ 1.5	+ 0%
島根	34.2	77%	34.7	69%	+ 0.5	▲9%
岡山	0.5	-	-	-	▲ 0.5	-
広島	18.8	60%	24.7	26%	+ 6.0	▲35%
山口	27.1	47%	22.4	47%	▲ 4.7	±0%
徳島	-	-	2.2	70%	+ 2.2	-
香川	16.4	100%	15.8	74%	▲ 0.6	▲26%
愛媛	4.2	55%	3.3	100%	▲ 0.8	+ 45%
高知	2.0	100%	2.1	100%	+ 0.1	±0%
福岡	33.0	50%	26.1	59%	▲ 7.0	+ 9%
佐賀	26.2	100%	-	-	▲ 26.2	-
長崎	7.0	52%	-	-	▲ 7.0	-
熊本	17.1	31%	-	-	▲ 17.1	-
大分	5.3	86%	4.0	64%	▲ 1.3	±0%
宮崎	8.2	100%	-	-	▲ 8.2	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-
全国	1,429	70%	1,426	69%	▲ 2.3	▲1%

注1:30年産の価格取決比率は、①30年産の事前契約数量(確定値)を31年2月末時点の価格取決数量で除した値である。  
 注2:元年産の価格取決比率は、②元年産の事前契約数量(2年2月末時点)を2年2月末時点の価格取決数量で除した値である。  
 注3:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## (4) 平成30年産・令和元年産における事前契約の取組状況

単位:千玄米トン

都道府県	平成30年産					令和元年産(速報値)		
	集荷数量 ①	事前契約数量 ②	事前契約比率 ②/①	うち複数年契約 ③	複数年契約比率 ③/①	集荷数量 ④	事前契約数量 ⑤	事前契約比率 ⑤/④
北海道	311.1	174.6	56%	173.3	56%	326.6	208.5	64%
青森	149.7	52.4	35%	37.2	25%	151.4	56.7	37%
岩手	129.6	92.2	71%	82.4	64%	135.6	88.8	65%
宮城	171.2	117.6	69%	103.3	60%	167.1	126.9	76%
秋田	251.6	182.4	73%	85.4	34%	267.8	190.4	71%
山形	188.6	70.8	38%	21.2	11%	176.8	79.6	45%
福島	159.0	49.5	31%	41.8	26%	167.4	46.7	28%
茨城	71.8	16.0	22%	2.5	3%	67.6	16.3	24%
栃木	136.4	73.1	54%	71.1	52%	125.2	74.0	59%
群馬	25.0	0.1	0%	-	-	22.0	0.2	1%
埼玉	18.4	9.2	50%	0.6	3%	17.8	7.8	44%
千葉	79.6	10.3	13%	10.3	13%	64.6	12.0	19%
東京	0.0	-	-	-	-	0.0	-	-
神奈川	2.3	-	-	-	-	1.8	-	-
山梨	6.0	-	-	-	-	5.9	-	-
長野	67.2	32.5	48%	31.8	47%	69.2	35.1	51%
静岡	6.0	1.9	32%	-	-	6.2	1.7	27%
新潟	260.5	156.2	60%	124.2	48%	279.1	170.2	61%
富山	91.9	48.9	53%	8.2	9%	89.4	38.6	43%
石川	27.2	23.3	86%	1.5	6%	25.1	21.7	87%
福井	70.0	8.3	12%	8.3	12%	67.2	9.1	14%
岐阜	20.3	9.2	45%	2.6	13%	20.1	15.0	75%
愛知	31.9	15.1	47%	1.5	5%	30.8	13.0	42%
三重	28.7	19.8	69%	-	-	24.5	20.0	82%
滋賀	56.8	40.0	70%	36.5	64%	45.5	34.9	77%
京都	9.4	7.1	76%	-	-	8.3	6.8	81%
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	40.1	12.5	31%	-	-	40.2	13.0	32%
奈良	7.9	-	-	-	-	8.4	-	-
和歌山	0.9	-	-	-	-	0.9	-	-
鳥取	22.5	5.7	25%	-	-	22.2	4.1	19%
島根	38.1	34.2	90%	3.2	8%	34.0	34.7	102%
岡山	22.7	0.5	2%	-	-	21.4	-	-
広島	32.5	18.8	58%	1.5	5%	28.6	24.7	86%
山口	40.2	27.1	67%	0.8	2%	32.3	22.4	69%
徳島	4.9	-	-	-	-	5.6	2.2	40%
香川	21.8	16.4	75%	-	-	19.0	15.8	83%
愛媛	10.1	4.2	41%	-	-	8.1	3.3	41%
高知	8.4	2.0	23%	-	-	9.6	2.1	21%
福岡	53.1	33.0	62%	0.6	1%	42.2	26.1	62%
佐賀	42.0	26.2	62%	-	-	28.0	-	-
長崎	11.6	7.0	61%	-	-	9.0	-	-
熊本	38.1	17.1	45%	-	-	30.7	-	-
大分	12.0	5.3	44%	-	-	9.1	4.0	44%
宮崎	14.8	8.2	55%	-	-	12.0	-	-
鹿児島	13.0	-	-	-	-	9.8	-	-
沖縄	1.6	-	-	-	-	1.4	-	-
全国	2,863	1,429	50%	850	30%	2,780	1,426	51%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2：報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3：令和元年産は令和2年2月末時点の数量である。

4：集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5：事前契約数量とは、注4の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6：全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、都道府県の合計と一致しない。

7：「-」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

## (5) 令和2年産における事前契約の取組状況

- 令和2年産の2月末現在の事前契約数量は前年▲25.9万トンの50万トンとなっている。元年産の荷動きが鈍い中、契約のスピードは進んでいない状況。

単位：千玄米トン

	元年産（2年2月末現在）			（参考） 事前契約 数量 （H31年2月末 ③）	2年産（2年2月末現在）		
	集荷 数量 ①	うち事前 契約数量 ②	事前契約 比率 ②/①		事前契約 数量 ④	事前契約 数量 前年対比 ④-③	④のうち 複数年 契約数量 ⑤
北海道	326.6	208.5	64%	153.7	154.6	0.9	154.6
青森	151.4	56.7	37%	10.2	-	▲ 10.2	-
岩手	135.6	88.8	65%	82.1	65.3	▲ 16.8	65.3
宮城	167.1	126.9	76%	105.3	81.5	▲ 23.8	81.5
秋田	267.8	190.4	71%	86.4	-	▲ 86.4	-
山形	176.8	79.6	45%	21.0	13.9	▲ 7.1	13.9
福島	167.4	46.7	28%	43.7	17.0	▲ 26.7	17.0
茨城	67.6	16.3	24%	-	-	-	-
栃木	125.2	74.0	59%	69.6	1.6	▲ 68.0	1.6
群馬	22.0	0.2	1%	-	-	-	-
埼玉	17.8	7.8	44%	-	0.9	0.9	0.9
千葉	64.6	12.0	19%	8.1	-	▲ 8.1	-
東京	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	1.8	-	-	-	-	-	-
山梨	5.9	-	-	-	-	-	-
長野	69.2	35.1	51%	31.0	25.6	▲ 5.4	25.6
静岡	6.2	1.7	27%	-	-	-	-
新潟	279.1	170.2	61%	110.7	121.2	10.4	121.2
富山	89.4	38.6	43%	0.7	-	▲ 0.7	-
石川	25.1	21.7	87%	1.5	-	▲ 1.5	-
福井	67.2	9.1	14%	9.0	-	▲ 9.0	-
岐阜	20.1	15.0	75%	-	-	-	-
愛知	30.8	13.0	42%	1.5	1.7	0.2	1.7
三重	24.5	20.0	82%	-	-	-	-
滋賀	45.5	34.9	77%	7.7	9.9	2.2	9.9
京都	8.3	6.8	81%	-	-	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	40.2	13.0	32%	13.0	-	▲ 13.0	-
奈良	8.4	-	-	-	-	-	-
和歌山	0.9	-	-	-	-	-	-
鳥取	22.2	4.1	19%	-	-	-	-
島根	34.0	34.7	102%	2.4	-	▲ 2.4	-
岡山	21.4	-	-	-	-	-	-
広島	28.6	24.7	86%	-	-	-	-
山口	32.3	22.4	69%	0.6	0.6	0.0	0.6
徳島	5.6	2.2	40%	-	-	-	-
香川	19.0	15.8	83%	-	6.0	6.0	6.0
愛媛	8.1	3.3	41%	-	-	-	-
高知	9.6	2.1	21%	-	-	-	-
福岡	42.2	26.1	62%	0.6	0.2	▲ 0.4	0.2
佐賀	28.0	-	-	-	-	-	-
長崎	9.0	-	-	-	-	-	-
熊本	30.7	-	-	-	-	-	-
大分	9.1	4.0	44%	-	-	-	-
宮崎	12.0	-	-	-	-	-	-
鹿児島	9.8	-	-	-	-	-	-
沖縄	1.4	-	-	-	-	-	-
全 国	2,780	1,426	51%	759	500	▲ 259	500

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2：報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3：事前契約数量とは、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

4：「-」は、事前契約数量として該当がないもの。

### 3 令和元年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和2年2月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

単位: (千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	104	326.6	272.7	83%	131.9	40%	110%	105%	116%
ななつぼし		154.2	131.2	85%	59.9	39%	115%	108%	112%
ゆめぴりか		79.2	66.3	84%	34.9	44%	107%	100%	154%
きらら397		37.2	31.4	84%	9.2	25%	113%	125%	134%
青森	106	151.4	113.7	75%	42.5	28%	106%	108%	108%
まっしぐら		107.7	78.2	73%	27.5	26%	109%	112%	110%
つがるロマン		34.1	26.8	78%	9.9	29%	100%	103%	123%
岩手	103	135.6	125.7	93%	36.9	27%	106%	102%	99%
ひとめぼれ		103.9	96.1	92%	27.4	26%	105%	100%	94%
あきたこまち		15.6	15.1	97%	4.5	29%	105%	118%	139%
銀河のしずく		6.7	6.2	93%	2.4	35%	...	...	...
宮城	102	167.1	150.7	90%	43.7	26%	107%	106%	86%
ひとめぼれ		131.2	120.1	92%	30.4	23%	103%	101%	76%
つや姫		11.7	10.7	91%	4.6	39%	110%	118%	121%
ササニシキ		8.4	7.4	88%	2.6	31%	107%	108%	97%
秋田	104	267.8	237.7	89%	89.1	33%	109%	106%	106%
あきたこまち		217.3	198.9	92%	76.9	35%	110%	106%	105%
めんこいな		13.3	11.1	84%	3.5	26%	90%	104%	131%
ひとめぼれ		21.2	16.2	76%	4.5	21%	113%	101%	110%
山形	105	176.8	132.1	75%	63.3	36%	116%	91%	99%
はえぬき		97.3	72.5	75%	31.9	33%	111%	86%	99%
つや姫		39.2	29.3	75%	16.4	42%	126%	94%	102%
ひとめぼれ		14.7	10.8	73%	6.1	41%	109%	98%	96%
福島	102	167.4	127.5	76%	41.7	25%	114%	117%	128%
コシヒカリ中通り		46.0	31.8	69%	11.5	25%	102%	107%	114%
コシヒカリ会津		44.5	43.1	97%	8.1	18%	128%	119%	95%
コシヒカリ浜通り		7.1	7.0	99%	1.5	21%	104%	118%	128%
ひとめぼれ		30.1	19.6	65%	7.1	24%	107%	102%	107%
天のつぶ		24.6	17.8	72%	6.6	27%	129%	162%	333%
茨城	96	67.6	45.8	68%	28.7	42%	100%	106%	97%
コシヒカリ		49.7	32.3	65%	17.2	35%	100%	108%	92%
あきたこまち		9.7	8.3	85%	8.3	85%	98%	99%	99%
あさひの夢		1.1	0.2	19%	0.2	16%	...	...	...
栃木	97	125.2	88.5	71%	32.0	26%	92%	94%	97%
コシヒカリ		93.7	70.7	75%	23.9	25%	88%	87%	91%
あさひの夢		8.8	4.9	56%	1.5	17%	93%	117%	89%
とちぎの星		12.8	7.8	61%	3.3	26%	...	...	...
群馬	98	22.0	20.8	95%	11.7	53%	88%	129%	164%
あさひの夢		16.2	15.1	93%	8.2	51%	92%	128%	175%
ゆめまつり		3.8	3.7	98%	2.7	71%	79%	167%	167%
埼玉	98	17.8	12.1	68%	6.0	34%	99%	87%	113%
彩のかがやき		7.8	5.6	72%	2.5	32%	91%	74%	86%
コシヒカリ		3.7	2.4	64%	1.3	34%	80%	60%	88%
彩のきずな		4.5	2.9	65%	1.6	35%	130%	188%	294%
千葉	95	64.6	60.4	93%	44.2	68%	85%	103%	103%
コシヒカリ		29.2	27.9	96%	18.0	62%	81%	104%	101%
ふさこがね		15.7	15.0	95%	11.3	72%	91%	119%	128%
ふさおとめ		15.5	13.5	87%	11.8	77%	88%	93%	95%
東京	97	0.0	0.0	100%	0.0	100%	50%	50%	50%
神奈川	95	1.8	1.0	56%	1.0	56%	78%	83%	83%
山梨	99	5.9	1.7	29%	1.7	29%	101%	84%	84%
コシヒカリ		5.1	1.5	30%	1.5	30%	102%	88%	88%
長野	100	69.2	56.8	82%	22.8	33%	104%	91%	129%
コシヒカリ		54.6	45.3	83%	17.6	32%	104%	91%	139%
あきたこまち		7.6	6.2	82%	2.2	29%	102%	90%	110%
静岡	99	6.2	3.3	53%	2.8	46%	103%	107%	95%
コシヒカリ		4.1	2.2	53%	1.8	45%	102%	112%	94%
きぬむすめ		0.8	0.4	52%	0.4	52%	111%	129%	129%
あいちのかおり		0.8	0.3	45%	0.3	45%	96%	77%	77%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

## 集荷・契約・販売数量(新潟から広島まで)

単位：(千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	100	279.1	238.1	85%	109.0	39%	110%	101%	96%
		133.0	120.7	91%	52.0	39%	108%	102%	87%
		32.9	21.3	65%	14.1	43%	119%	105%	104%
		14.4	13.4	93%	6.6	46%	120%	114%	106%
		12.6	11.3	90%	4.3	34%	121%	101%	91%
		45.9	41.1	89%	16.8	37%	100%	102%	116%
富山	102	89.4	57.8	65%	34.6	39%	101%	79%	89%
		64.4	43.7	68%	26.9	42%	95%	77%	87%
		9.3	6.2	67%	3.7	39%	114%	101%	88%
石川	102	25.1	23.8	95%	9.5	38%	92%	100%	128%
		13.8	13.5	98%	4.9	36%	81%	88%	145%
		4.2	4.1	97%	1.6	38%	79%	99%	85%
福井	100	67.2	47.5	71%	32.6	48%	97%	85%	105%
		27.0	15.5	57%	11.3	42%	91%	72%	93%
		20.4	16.7	82%	14.1	69%	102%	98%	118%
		7.4	3.8	52%	2.4	33%	...	...	...
岐阜	99	20.1	19.9	99%	7.5	37%	108%	117%	96%
		9.6	8.9	93%	2.2	23%	135%	113%	91%
		5.9	5.0	84%	2.2	38%	91%	100%	96%
		0.5	0.5	99%	0.1	26%	...	...	...
愛知	98	30.8	27.4	89%	12.1	39%	97%	89%	92%
		16.6	16.1	97%	5.5	33%	99%	93%	92%
		9.5	8.0	84%	4.5	47%	99%	88%	100%
		1.3	1.4	111%	0.5	40%	99%	105%	93%
三重	95	24.5	23.0	94%	9.9	41%	89%	103%	89%
		13.3	13.2	99%	4.8	36%	86%	101%	78%
		5.5	4.6	83%	2.6	47%	96%	100%	127%
		1.8	1.2	67%	0.3	15%	86%	91%	40%
滋賀	98	45.5	42.4	93%	20.3	45%	87%	72%	88%
		16.2	16.9	104%	7.6	47%	85%	78%	84%
		8.1	7.2	89%	3.7	45%	83%	63%	85%
		9.2	7.5	82%	4.3	47%	...	...	...
京都	99	8.3	8.2	98%	3.3	40%	85%	88%	79%
		4.7	4.7	99%	2.0	43%	84%	81%	86%
		1.9	1.9	99%	0.5	28%	78%	78%	44%
		1.0	0.8	78%	0.4	44%	105%	100%	168%
大阪	101	-	-	-	-	-	...	...	...
兵庫	99	40.2	35.7	89%	17.7	44%	101%	110%	99%
		10.6	11.0	104%	5.2	49%	97%	123%	106%
		3.5	2.7	77%	1.1	31%	98%	105%	82%
		2.8	2.4	86%	1.3	48%	86%	87%	112%
奈良	100	8.4	2.2	26%	2.2	26%	107%	78%	78%
		6.7	1.7	25%	1.7	25%	110%	77%	77%
和歌山	99	0.9	0.9	100%	0.3	40%	94%	94%	95%
鳥取	100	22.2	18.5	83%	9.3	42%	100%	96%	95%
		7.8	6.5	83%	3.2	40%	93%	92%	115%
		7.2	6.6	92%	2.7	38%	95%	96%	77%
		5.2	4.6	89%	2.7	53%	88%	90%	83%
島根	99	34.0	34.9	103%	13.2	39%	90%	101%	96%
		13.8	14.5	105%	5.9	43%	84%	93%	91%
		13.6	13.2	97%	4.3	31%	96%	102%	106%
		4.2	4.3	101%	1.8	42%	95%	105%	104%
岡山	98	21.4	19.2	90%	7.5	35%	141%	122%	119%
		3.4	3.5	103%	1.5	44%	132%	122%	203%
		1.9	1.3	72%	0.7	40%	131%	81%	86%
		2.7	2.5	93%	0.5	18%	144%	138%	84%
広島	95	28.6	35.7	125%	12.2	42%	89%	107%	88%
		11.8	16.2	136%	5.4	45%	86%	116%	87%
		6.2	7.7	124%	2.2	35%	106%	145%	100%
		2.4	3.6	145%	0.8	32%	80%	114%	80%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照



集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

単位：(千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量		参考：前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
					③	③/①	集荷数量	契約数量	販売数量
山口	94	32.3	26.3	81%	10.5	32%	107%	103%	112%
コシヒカリ		9.6	8.3	86%	3.5	37%	114%	107%	113%
ひとめぼれ		7.7	6.5	84%	3.0	39%	108%	111%	121%
ヒノヒカリ		6.7	5.2	77%	1.7	25%	116%	102%	107%
徳島	98	5.6	3.6	64%	2.4	43%	115%	128%	98%
コシヒカリ		2.6	2.1	82%	1.3	50%	112%	128%	88%
キヌヒカリ		0.8	0.4	47%	0.3	38%	60%	61%	56%
香川	95	19.0	15.8	83%	6.5	34%	92%	86%	91%
コシヒカリ		6.4	5.8	91%	2.9	45%	88%	82%	102%
ヒノヒカリ		5.7	4.9	85%	1.5	27%	90%	79%	77%
おいでまい		3.8	3.3	86%	1.3	34%	92%	88%	89%
愛媛	94	8.1	6.4	80%	4.9	61%	84%	82%	95%
コシヒカリ		3.3	3.1	97%	2.1	65%	83%	98%	95%
ヒノヒカリ		1.3	0.8	61%	0.6	49%	82%	89%	86%
あきたこまち		0.9	0.8	97%	0.6	70%	64%	101%	92%
高知	91	9.6	8.8	92%	8.8	92%	115%	116%	118%
コシヒカリ		6.3	6.3	100%	6.3	100%	110%	111%	112%
ヒノヒカリ		1.3	0.9	66%	0.9	66%	144%	192%	203%
福岡	91	42.2	35.5	84%	17.4	41%	81%	81%	86%
夢つくし		13.8	11.8	86%	6.9	50%	82%	85%	101%
ヒノヒカリ		11.0	10.3	93%	3.4	31%	81%	82%	57%
元気つくし		14.3	11.5	80%	6.4	45%	78%	75%	97%
佐賀	58	28.0	17.3	62%	8.8	32%	69%	52%	63%
夢しずく		10.5	6.3	60%	3.8	36%	75%	58%	77%
さがびより		7.5	4.0	54%	0.9	13%	60%	36%	28%
ヒノヒカリ		6.2	3.8	60%	1.7	27%	67%	51%	62%
長崎	94	9.0	8.6	95%	3.5	39%	79%	110%	84%
にこまる		3.7	3.6	99%	1.1	30%	75%	114%	90%
ヒノヒカリ		2.4	2.2	94%	1.0	41%	70%	92%	84%
コシヒカリ		1.2	1.2	107%	0.7	57%	84%	113%	73%
熊本	94	30.7	11.8	38%	11.8	38%	84%	53%	98%
ヒノヒカリ		12.2	3.6	30%	3.6	30%	79%	51%	86%
森のくまさん		5.8	1.6	28%	1.6	28%	81%	29%	110%
コシヒカリ		5.8	4.1	70%	4.1	70%	103%	70%	116%
大分	85	9.1	9.3	102%	3.9	43%	77%	84%	103%
ヒノヒカリ		5.8	6.0	104%	2.2	37%	72%	83%	119%
ひとめぼれ		0.7	0.7	96%	0.4	59%	89%	86%	150%
つや姫		1.6	1.7	103%	0.8	48%	...	...	...
宮崎	94	12.0	12.0	100%	9.1	76%	81%	81%	80%
コシヒカリ		6.6	6.6	100%	6.6	100%	77%	77%	77%
ヒノヒカリ		4.7	4.7	100%	2.0	44%	86%	86%	88%
鹿児島	94	9.8	9.8	100%	9.1	93%	93%	93%	105%
ヒノヒカリ		2.9	2.9	100%	2.4	85%	75%	75%	111%
あきほなみ		1.4	1.4	100%	1.2	85%	121%	121%	122%
コシヒカリ		3.5	3.5	100%	3.5	100%	100%	100%	100%
沖縄	97	1.4	1.4	100%	1.3	93%	91%	91%	95%
全国①	99	2,780	2,292	82%	1,040	37%	103%	99%	101%
参考	前年同月(30年産)②	2,705	2,312	85%	1,026	38%			
	前年同月差(①-②)	75	▲20	▲3%	14	▲1%			

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考：前年同月比」で、令和元年産又は平成30年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

# Ⅲ 米の価格情報

## 1 相対取引価格・数量

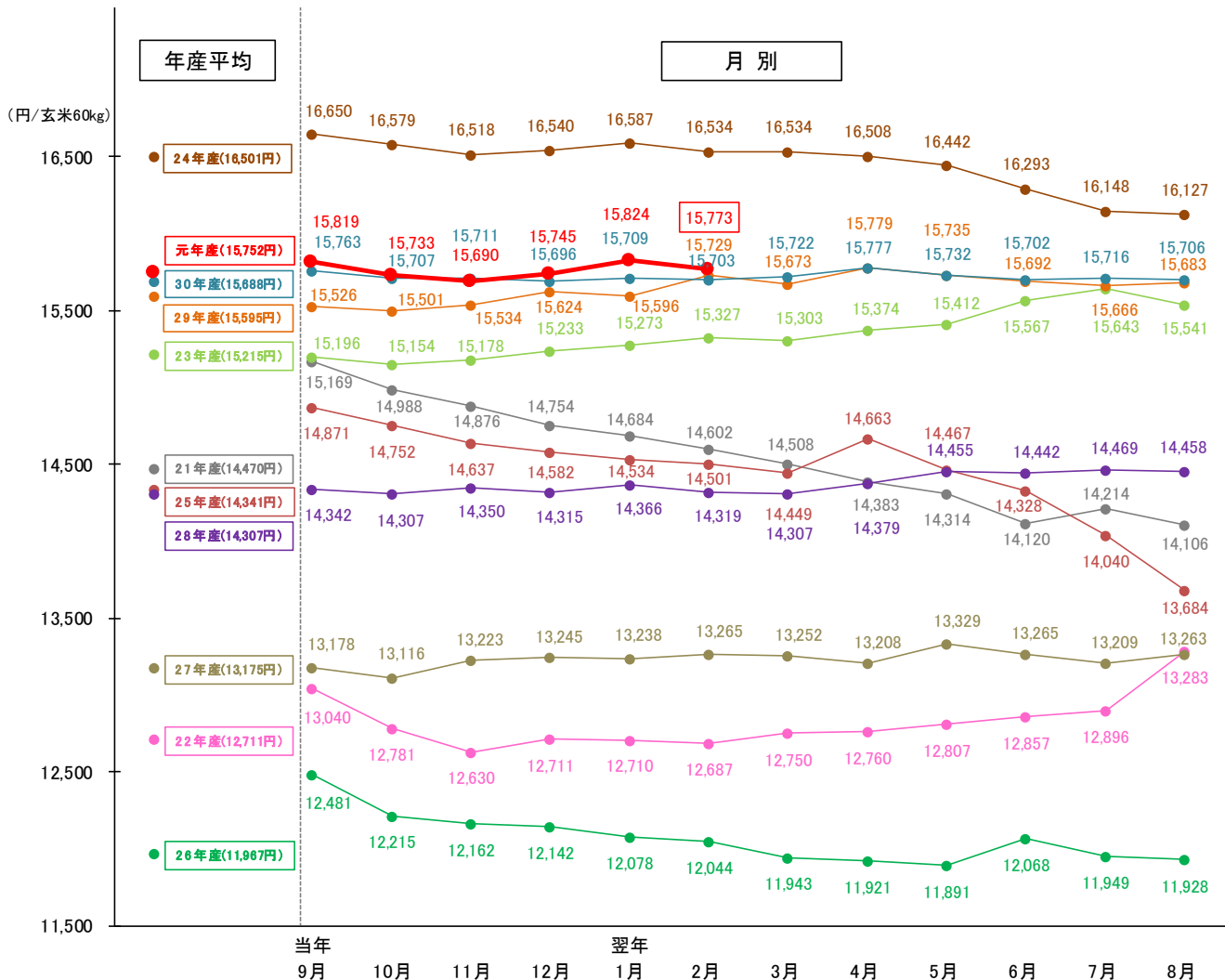
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

### (1) 年産別の相対取引価格

・令和元産米の令和2年2月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,773円/60kgとなり、前月より▲51円、出回りからの年産平均価格は前年産+64円の15,752円/60kg。前年産よりは高い価格を維持しているが、スポット価格は全体的に下がり気味の傾向。

※ 産地銘柄ごとの価格は、次頁以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）  
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3 グラフの左側は年産別の平均価格（注4）、グラフの右側は月別の価格である。

4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（元年産は令和2年2月）までの通年平均価格（30年産以前は確定値、元年産は速報値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである）。





(3) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和元年産米、産地品種銘柄別）（速報）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地品種銘柄		月別価格（元年産）							年産平均		
		元年 9月	元年 10月	元年 11月	元年 12月	2年 1月 ①	2年 2月 ②	対前月差 ①-②	元年産 出回り～ 2年2月 ③	30年産 出回り～ 元年10月 ④	対前年差 ③-④
北海道	ななつぼし	15,948	15,790	15,838	15,849	15,954	15,890	▲ 64	15,856	15,996	▲ 140
北海道	ゆめひりか	17,115	17,094	16,826	16,901	16,969	16,675	▲ 294	16,925	16,266	+ 659
北海道	きらら397	14,891	15,419	15,340	15,495	15,666	15,394	▲ 272	15,478	15,527	▲ 49
青森	まっしぐら	14,605	14,482	14,747	14,701	14,665	15,036	+ 371	14,766	14,758	+ 8
青森	つがるロマン	15,053	14,870	15,097	15,151	15,038	15,083	+ 45	15,061	15,075	▲ 14
岩手	ひとめぼれ	15,459	15,347	15,466	15,217	15,399	15,523	+ 124	15,354	15,337	+ 17
岩手	あきたこまち	15,185	15,246	15,205	15,312	15,199	15,270	+ 71	15,240	15,255	▲ 15
岩手	銀河のしずく	16,164	16,381	16,382	16,381	16,162	16,109	▲ 53	16,256	-	-
宮城	ひとめぼれ	15,653	15,601	15,610	15,513	15,502	15,515	+ 13	15,527	15,535	▲ 8
宮城	つや姫	15,676	15,948	15,908	15,968	16,037	15,946	▲ 91	15,918	15,822	+ 96
宮城	ササニシキ	15,576	15,852	15,825	15,871	15,968	15,741	▲ 227	15,818	15,767	+ 51
秋田	あきたこまち	15,814	15,851	15,832	15,855	15,879	15,896	+ 17	15,833	15,843	▲ 10
秋田	めんこいな	-	14,520	14,299	14,471	14,884	15,032	+ 148	14,551	14,784	▲ 233
秋田	ひとめぼれ	-	15,132	15,133	15,211	15,268	15,284	+ 16	15,231	15,433	▲ 202
山形	はえぬき	15,304	15,466	15,496	15,370	15,627	15,683	+ 56	15,530	15,407	+ 123
山形	つや姫	18,674	18,520	18,555	18,631	18,642	18,802	+ 160	18,632	18,347	+ 285
山形	ひとめぼれ	15,419	16,674	15,569	15,537	15,830	15,754	▲ 76	16,380	15,970	+ 410
福島	コシヒカリ（中通り）	-	15,170	15,082	15,417	15,723	15,290	▲ 433	15,440	15,463	▲ 23
福島	コシヒカリ（会津）	-	16,149	15,886	15,580	16,125	15,737	▲ 388	15,950	15,528	+ 422
福島	コシヒカリ（浜通り）	-	15,327	15,109	14,853	15,122	15,070	▲ 52	15,006	15,096	▲ 90
福島	ひとめぼれ	-	14,806	14,755	14,699	15,260	14,749	▲ 511	14,982	14,981	+ 1
福島	天のつば	-	14,407	14,253	14,785	14,910	13,886	▲ 1,024	14,555	14,609	▲ 54
茨城	コシヒカリ	15,703	15,787	15,645	15,752	15,732	15,524	▲ 208	15,706	15,544	+ 162
茨城	あきたこまち	15,484	15,489	15,202	15,426	15,407	15,485	+ 78	15,483	15,108	+ 375
茨城	あさひの夢	-	-	-	-	-	-	-	14,130	-	-
栃木	コシヒカリ	15,563	15,596	15,649	15,649	15,685	15,536	▲ 149	15,623	15,596	+ 27
栃木	あさひの夢	-	14,406	14,836	14,687	14,741	14,930	+ 189	14,797	14,789	+ 8
栃木	とちぎの星	-	14,746	14,833	15,110	14,895	-	-	14,942	-	-
群馬	あさひの夢	-	13,395	15,197	-	14,787	15,412	+ 625	14,917	15,087	▲ 170
群馬	ゆめまつり	-	-	-	14,855	14,824	-	-	14,875	14,916	▲ 41
埼玉	彩のかがやき	-	14,916	15,033	14,877	14,966	14,999	+ 33	14,927	15,169	▲ 242
埼玉	コシヒカリ	-	15,129	15,184	15,285	15,220	15,362	+ 142	15,217	15,480	▲ 263
埼玉	彩のきずな	-	14,976	14,864	14,914	14,893	14,919	+ 26	14,903	15,170	▲ 267
千葉	コシヒカリ	15,802	15,754	15,724	15,726	15,924	15,912	▲ 12	15,775	15,517	+ 258
千葉	ふさごがね	14,829	14,745	14,728	14,640	14,741	14,716	▲ 25	14,751	14,638	+ 113
千葉	ふさおとめ	14,948	14,905	14,673	14,712	14,854	14,734	▲ 120	14,887	14,764	+ 123
山梨	コシヒカリ	-	18,398	18,267	18,369	18,404	18,240	▲ 164	18,338	18,038	+ 300
長野	コシヒカリ	16,008	16,146	16,130	16,019	15,999	16,050	+ 51	16,035	16,087	▲ 52
長野	あきたこまち	15,308	15,305	15,365	15,405	15,338	15,324	▲ 14	15,330	15,264	+ 66
静岡	コシヒカリ	16,054	16,099	16,112	16,054	16,248	16,253	+ 5	16,137	15,971	+ 166
静岡	きぬむすめ	-	15,043	-	-	-	-	-	15,108	14,951	+ 157
静岡	あいちのかおり	-	-	-	-	-	-	-	15,229	14,936	+ 293
新潟	コシヒカリ（一般）	17,471	17,353	17,126	17,334	17,604	17,239	▲ 365	17,365	17,042	+ 323
新潟	コシヒカリ（魚沼）	20,919	21,085	20,971	20,782	20,980	20,973	▲ 7	20,947	21,147	▲ 200
新潟	コシヒカリ（佐渡）	17,834	17,922	17,932	17,919	18,199	18,059	▲ 140	17,980	17,520	+ 460
新潟	コシヒカリ（岩船）	17,811	17,917	17,962	17,948	18,101	17,968	▲ 133	17,960	17,460	+ 500
新潟	こしいぶき	15,175	15,020	14,850	15,213	15,370	15,272	▲ 98	15,139	15,100	+ 39
富山	コシヒカリ	16,147	16,179	15,316	16,195	16,012	16,276	+ 264	16,034	15,936	+ 98
富山	てんたかく	14,914	14,852	14,717	14,794	14,976	14,854	▲ 122	14,863	14,750	+ 113
石川	コシヒカリ	16,053	15,875	16,054	15,896	16,147	15,889	▲ 258	15,956	15,889	+ 67
石川	ゆめみづほ	14,574	14,805	14,812	14,746	14,859	-	-	14,779	14,634	+ 145
福井	コシヒカリ	16,218	16,205	16,237	16,178	16,277	16,321	+ 44	16,223	16,145	+ 78
福井	ハナエチゼン	15,135	15,112	15,085	14,967	15,003	15,173	+ 170	15,071	14,924	+ 147
福井	あさきかり	-	15,211	15,102	15,014	15,113	15,305	+ 192	15,094	-	-
岐阜	ハツシモ	-	15,369	15,643	15,186	15,536	15,405	▲ 131	15,444	15,357	+ 87
岐阜	コシヒカリ	15,552	16,520	16,236	16,419	16,252	16,373	+ 121	16,215	15,933	+ 282
岐阜	あさひの夢	-	-	-	-	14,450	14,371	▲ 79	14,466	-	-
愛知	あいちのかおり	-	14,725	14,669	14,814	-	-	-	14,781	14,806	▲ 25
愛知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,542	15,410	+ 132
愛知	大地の風	-	-	14,673	-	-	-	-	14,975	14,970	+ 5
三重	コシヒカリ（一般）	15,606	15,601	15,555	15,502	15,603	15,459	▲ 144	15,541	15,390	+ 151
三重	コシヒカリ（伊賀）	15,946	15,887	15,948	15,888	16,001	15,887	▲ 114	15,922	15,882	+ 40
三重	キヌヒカリ	14,854	-	14,930	14,807	-	14,807	-	14,839	14,813	+ 26
滋賀	コシヒカリ	15,868	15,919	15,692	15,862	16,022	15,803	▲ 219	15,865	15,646	+ 219
滋賀	キヌヒカリ	14,799	15,050	14,997	14,928	14,940	14,745	▲ 195	14,929	14,765	+ 164
滋賀	みずかがみ	15,752	15,842	16,385	15,793	15,904	15,555	▲ 349	15,768	-	-



(3) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和元年産米、産地品種銘柄別）（速報）

産地品種銘柄		月別価格（元年産）							年産平均		
		元年 9月	元年 10月	元年 11月	元年 12月	2年 1月 ①	2年 2月 ②	対前月差 ①-②	元年産 出回り～ 2年2月 ③	30年産 出回り～ 元年10月 ④	対前年差 ③-④
京都	コシヒカリ	16,204	16,168	16,455	15,966	16,217	16,279	+ 62	16,205	15,788	+ 417
京都	キヌヒカリ	15,340	-	15,141	-	-	14,936	-	15,273	14,910	+ 363
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	15,560	-
兵庫	コシヒカリ	16,158	16,185	16,228	16,150	16,205	16,191	▲ 14	16,186	16,013	+ 173
兵庫	ヒノヒカリ	-	-	14,696	14,923	14,726	14,912	+ 186	14,818	14,786	+ 32
兵庫	キヌヒカリ	-	14,629	14,829	14,972	14,810	14,878	+ 68	14,855	14,823	+ 32
奈良	ヒノヒカリ	-	15,842	15,801	15,853	15,860	15,816	▲ 44	15,833	15,522	+ 311
鳥取	きぬむすめ	14,638	14,516	14,714	14,973	14,585	14,650	+ 65	14,803	14,682	+ 121
鳥取	コシヒカリ	15,054	15,130	15,281	15,728	15,351	15,196	▲ 155	15,504	15,461	+ 43
鳥取	ひとめぼれ	14,726	14,445	14,684	14,897	14,446	14,528	+ 82	14,709	14,494	+ 215
島根	コシヒカリ	15,316	-	15,841	16,591	16,617	15,453	▲ 1,164	15,342	15,743	▲ 401
島根	きぬむすめ	14,467	14,763	14,418	15,242	14,632	14,983	+ 351	14,515	14,828	▲ 313
島根	つや姫	15,321	-	-	-	-	-	-	15,242	15,598	▲ 356
岡山	アケボノ	-	-	14,927	14,904	15,037	14,827	▲ 210	14,939	14,952	▲ 13
岡山	あきたこまち	15,511	15,499	-	-	15,433	15,584	+ 151	15,504	15,060	+ 444
岡山	ヒノヒカリ	-	15,527	15,389	15,551	15,534	14,981	▲ 553	15,372	15,276	+ 96
広島	コシヒカリ	16,017	15,983	15,446	15,365	15,318	15,333	+ 15	15,647	15,407	+ 240
広島	あきさかり	14,922	14,839	14,621	14,470	14,636	14,602	▲ 34	14,687	14,458	+ 229
広島	あきろまん	-	14,902	14,742	14,808	-	-	-	14,769	14,254	+ 515
山口	コシヒカリ	15,468	15,551	15,566	15,485	15,437	15,429	▲ 8	15,496	15,265	+ 231
山口	ひとめぼれ	14,519	14,589	14,589	14,548	14,819	14,777	▲ 42	14,642	14,406	+ 236
山口	ヒノヒカリ	14,574	14,547	14,641	14,538	14,630	14,680	+ 50	14,590	14,405	+ 185
徳島	コシヒカリ	15,754	15,768	-	15,768	15,768	-	-	15,749	15,861	▲ 112
徳島	キヌヒカリ	15,336	-	15,336	-	15,336	-	-	15,336	15,102	+ 234
香川	コシヒカリ	15,263	15,279	15,322	15,280	15,278	15,293	+ 15	15,295	15,251	+ 44
香川	ヒノヒカリ	-	14,823	14,701	14,833	14,823	-	-	14,792	14,785	+ 7
香川	おいでまい	-	15,379	15,423	15,379	15,397	15,418	+ 21	15,403	15,368	+ 35
愛媛	コシヒカリ	15,736	15,545	15,527	15,457	15,524	15,552	+ 28	15,593	15,542	+ 51
愛媛	ヒノヒカリ	-	-	15,065	-	-	-	-	15,052	15,182	▲ 130
愛媛	あきたこまち	15,000	14,910	-	-	-	-	-	14,943	14,925	+ 18
高知	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	14,920	15,171	▲ 251
高知	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,790	-	14,540	14,358	+ 182
福岡	夢つくし	16,393	16,291	16,196	16,186	16,193	16,265	+ 72	16,291	16,265	+ 26
福岡	ヒノヒカリ	-	15,523	15,381	15,502	15,532	15,147	▲ 385	15,320	15,434	▲ 114
福岡	元気つくし	16,474	16,223	16,091	15,880	16,171	16,180	+ 9	16,058	16,082	▲ 24
佐賀	夢しずく	-	15,133	-	14,838	14,783	14,897	+ 114	14,927	14,435	+ 492
佐賀	さがびより	-	-	-	-	-	-	-	-	15,039	-
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	14,243	-
長崎	にごまる	-	-	15,291	15,332	15,342	15,302	▲ 40	15,321	15,797	▲ 476
長崎	ヒノヒカリ	-	15,047	14,992	15,034	15,025	15,040	+ 15	15,030	15,476	▲ 446
長崎	コシヒカリ	15,784	-	-	-	-	-	-	15,948	16,378	▲ 430
熊本	ヒノヒカリ	-	14,770	15,296	15,337	15,079	15,392	+ 313	15,210	15,165	+ 45
熊本	森のくまさん	-	-	-	-	-	-	-	15,289	14,932	+ 357
熊本	コシヒカリ	-	16,153	15,791	-	-	-	-	15,809	15,700	+ 109
大分	ヒノヒカリ	-	15,517	15,720	15,762	15,630	15,704	+ 74	15,677	15,636	+ 41
大分	ひとめぼれ	-	15,850	15,877	-	-	-	-	15,912	15,751	+ 161
大分	つや姫	15,725	16,152	-	-	15,941	-	-	15,920	-	-
宮崎	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	-	15,946	15,458	+ 488
宮崎	ヒノヒカリ	-	15,725	-	-	-	15,914	-	15,861	16,013	▲ 152
鹿児島	ヒノヒカリ	-	15,723	16,275	-	16,527	16,674	+ 147	16,278	16,128	+ 150
鹿児島	あきほなみ	-	-	16,153	-	-	17,404	-	17,090	16,940	+ 150
鹿児島	コシヒカリ	16,902	-	-	-	-	-	-	16,670	16,307	+ 363
全銘柄平均		15,819	15,733	15,690	15,745	15,824	15,773	▲ 51	15,752	15,688	+ 64

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
- 3 価格に含む消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
- 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
- 5 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。また、算定に当たっては、契約価格に運賃を含めない産地在姿の取引分も対象としている。
- 6 報告対象産地品種銘柄ごとの年産平均価格は、当該報告対象産地品種銘柄の出回りから当該月までの相対取引数量ウェイトで加重平均により算定している（元年産は速報値）。
- 7 全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定している。
- 8 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。
- 9 全銘柄平均価格、合計数量欄には公表していない産地品種銘柄分を含んでいるため、産地の合計と一致しない。



## 2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）

日本コメ市場株式会社の取引概要につきましては、以下のURLから御覧いただけます。  
【 <http://www.nihonkomesijyo.co.jp/> 】

○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

### 【令和元年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		令和元年 8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
青森まっぐら	取引会				14,000									
青森つがるロマン	随時				14,243									
秋田あきたこまち	随時		15,010	14,832	14,632	14,900	14,987	14,834						
	取引会		15,019		14,879									
福島天のつぶ	取引会						14,183							
茨城コシヒカリ	随時			14,500										
	取引会				14,550									
栃木コシヒカリ	随時					14,666	14,657							
栃木とちぎの星	取引会						13,950							
栃木あさひの夢	取引会				13,769									
千葉コシヒカリ	取引会	14,750					14,600							
千葉ふさおとめ	取引会	14,088	14,015											
千葉ふさこがね	取引会	14,024	13,950											
新潟コシヒカリ（一般）	随時		16,794				16,726							
	取引会		16,755		16,650		16,747							

### 【平成30年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		平成30年 8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月	令和元年 5月	6月	7月	8月
北海道ななつぼし	取引会						15,750		15,500					
北海道ゆめびりか	取引会		16,113											
北海道きらら397	随時						14,975							
青森つがるロマン	随時			14,000										
宮城ひとめぼれ	随時								14,850			15,121		
	取引会										15,030			
秋田あきたこまち	随時		14,693	14,638	15,072	15,140		15,102	14,792	15,147		17,060	18,122	
	取引会		14,690		15,055		15,200		14,816		15,475		18,245	
福島コシヒカリ（中通）	随時					14,660					14,782			
	取引会										14,885			
福島ひとめぼれ	取引会						14,550						14,800	
茨城コシヒカリ	随時		14,571	14,581	14,613		14,770				14,613		15,016	
	取引会	14,220	14,470						14,495		14,600		14,981	14,895
茨城あきたこまち	取引会		13,862											
栃木コシヒカリ	随時			14,260	14,619	14,800							15,083	
栃木あさひの夢	取引会				13,671									
群馬あさひの夢	取引会								13,920					
千葉コシヒカリ	取引会	14,226			14,985		14,914							
千葉ふさおとめ	取引会	13,700												
千葉ふさこがね	取引会				14,014								14,200	
新潟コシヒカリ（一般）	随時		16,493		17,649	17,893	18,234		18,930		20,047		19,237	
	取引会		16,500		17,607		18,620		18,950		20,350		19,500	17,268

出典：日本コメ市場株式会社HP

注1：日本コメ市場（随時）の価格は、随時取引（取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引）の下期（16日～月末分）。ただし、下期が公表されていない場合は上期の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

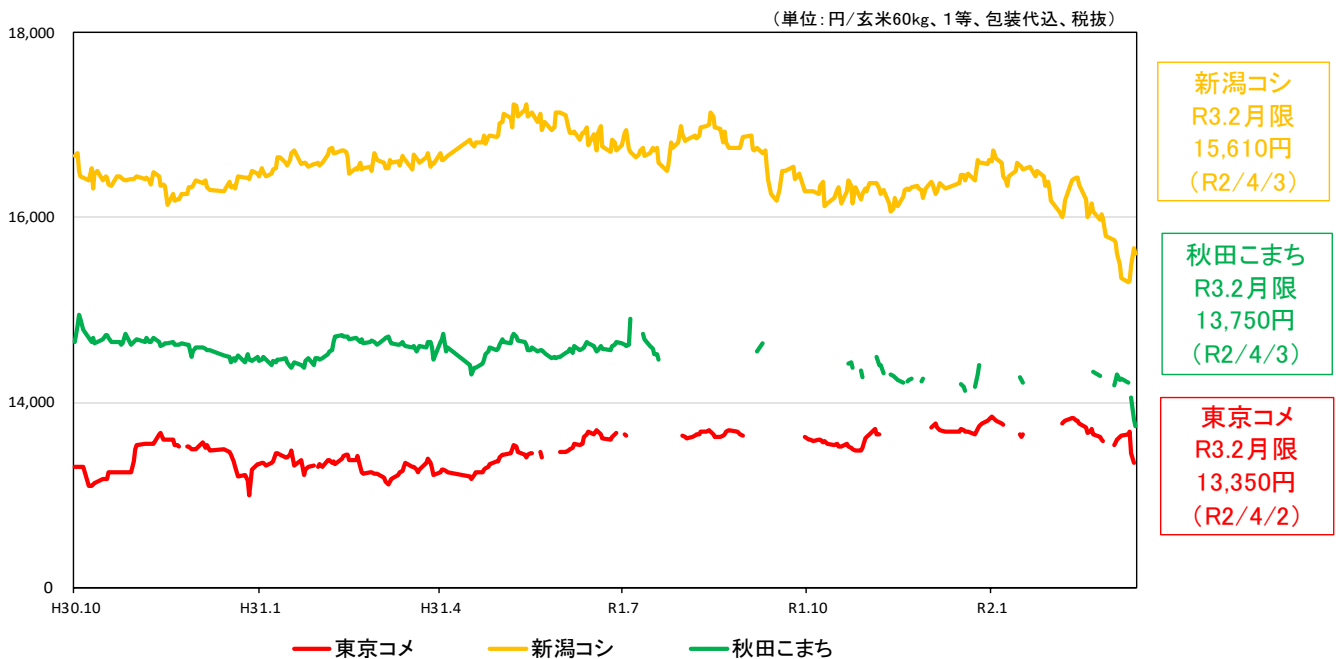
注2：日本コメ市場（取引会）の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格（取引数量により加重平均）であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

### 3 米の先物取引価格の推移

米の先物取引の情報については、農林水産省ホームページの「食料産業局」の分野別分類「商品先物取引」から御覧いただけます。【 <http://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html> 】

- 期先限月の終値（1日の最終約定値段）は、  
東京コメが令和3年2月限13,350円（令和2年4月2日）、  
新潟コシが令和3年2月限15,610円（令和2年4月3日）、  
秋田こまちが令和3年2月限13,750円（令和2年4月3日） となっている。

#### 価格の推移(期先限月の終値)



出典: 大阪堂島商品取引所

注1: 商品先物取引とは、将来の一定期日に一定の商品を売買することを約束して、その価格を現時点で決める取引。

注2: 平成30年10月22日から令和2年2月28日までの価格の推移である。

注3: 東京コメは栃木・群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ・ふさこがね、新潟コシは新潟県産コシヒカリ、秋田こまちは秋田県産あきたこまちを標準品とした取引価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注4: 期先限月とは、現物受渡や売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

## 4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年3月分)

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和2年3月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前月比▲8ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲7ポイント。
- 米価水準の現状判断は対前月比 ▲2ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は ▲5ポイント。

### 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

#### ① 主食用米の需給動向

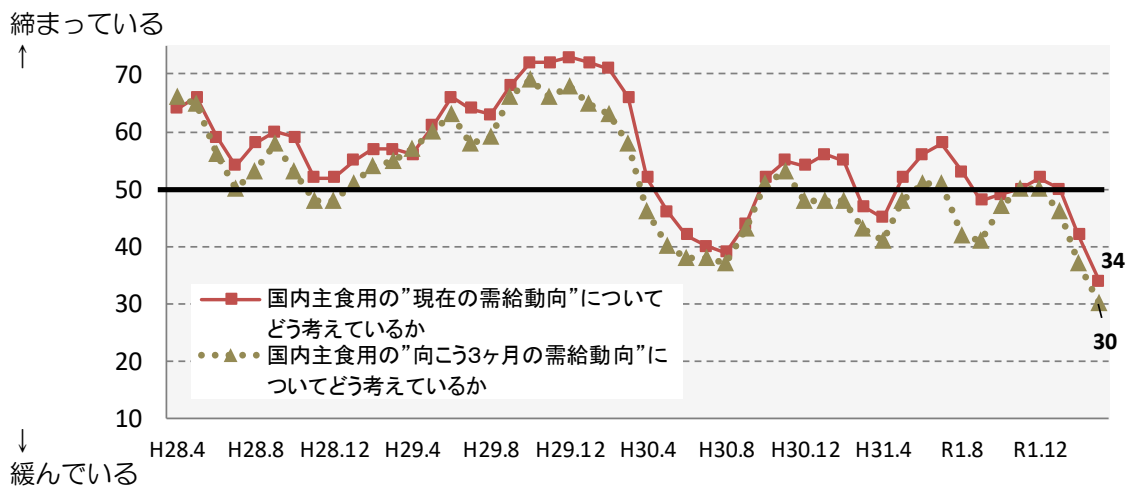
(ア) 現状判断D I

前月からの増減 ▲8 (今月の数値 34)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前月からの増減 ▲7 (今月の数値 30)

#### 主食用米の需給動向



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### ② 主食用米の米価水準

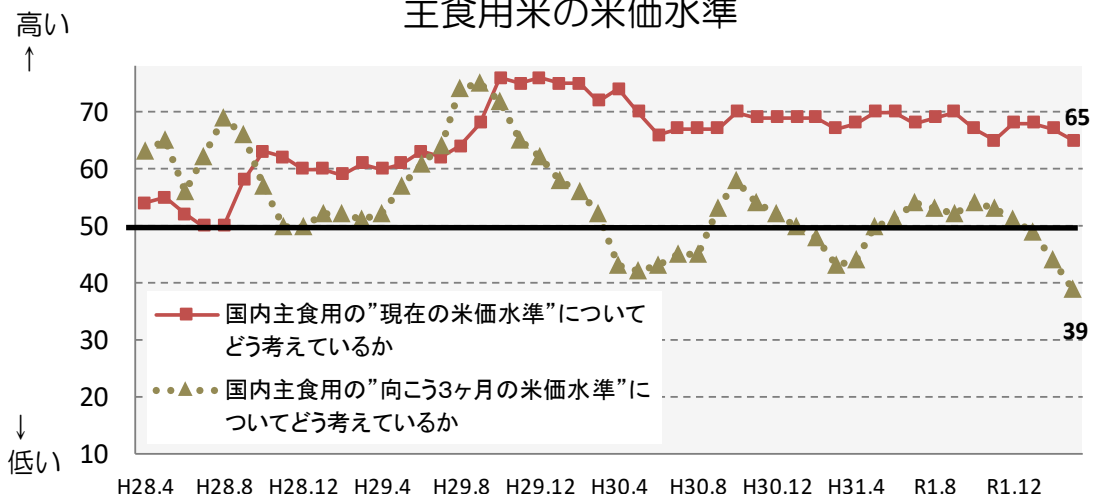
(ア) 現状判断D I

前月からの増減 ▲2 (今月の数値 65)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前月からの増減 ▲5 (今月の数値 39)

#### 主食用米の米価水準



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

## 2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

### ①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

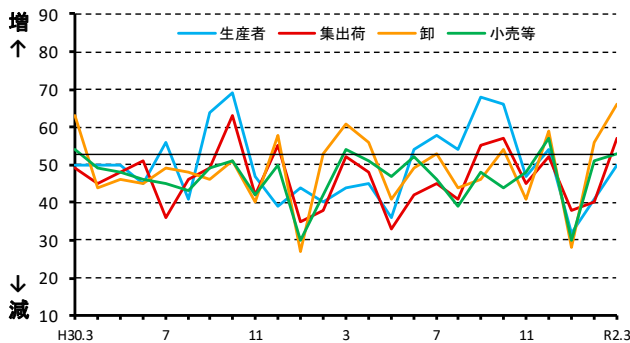
##### a. 先月との比較

生産者	: 前月からの増減	+9	(今月の数値	50)
集出荷	: 前月からの増減	+17	(今月の数値	57)
卸	: 前月からの増減	+10	(今月の数値	66)
小売等	: 前月からの増減	+2	(今月の数値	53)

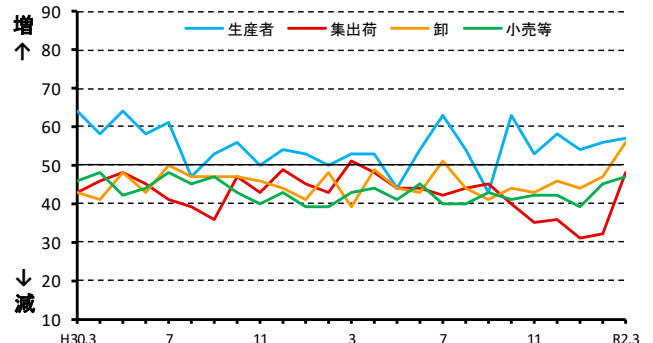
##### b. 前年同月との比較

生産者	: 前月からの増減	+1	(今月の数値	57)
集出荷	: 前月からの増減	+16	(今月の数値	48)
卸	: 前月からの増減	+9	(今月の数値	56)
小売等	: 前月からの増減	+2	(今月の数値	47)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



#### (イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

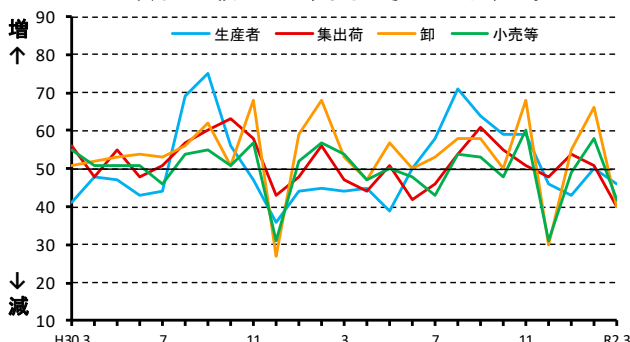
##### a. 今月との比較

生産者	: 前月からの増減	▲4	(今月の数値	46)
集出荷	: 前月からの増減	▲11	(今月の数値	40)
卸	: 前月からの増減	▲26	(今月の数値	40)
小売等	: 前月からの増減	▲16	(今月の数値	42)

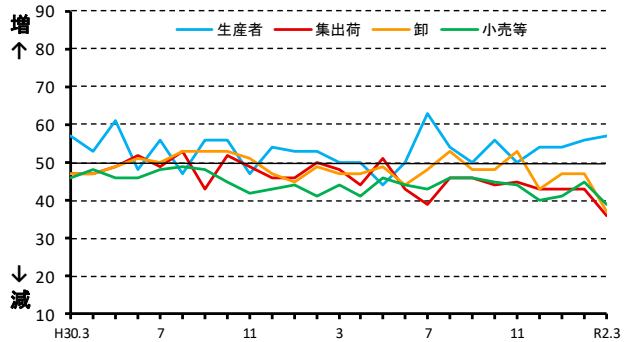
##### b. 前年同月との比較

生産者	: 前月からの増減	+1	(今月の数値	57)
集出荷	: 前月からの増減	▲7	(今月の数値	36)
卸	: 前月からの増減	▲10	(今月の数値	37)
小売等	: 前月からの増減	▲6	(今月の数値	39)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



## ②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

### (ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

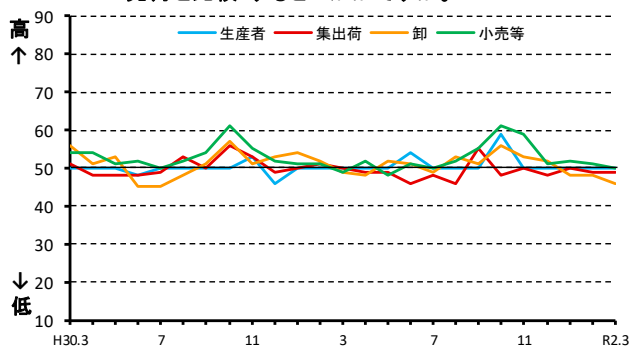
#### a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	± 0	( 今月の数値	5 0 )
集出荷	： 前月からの増減	± 0	( 今月の数値	4 9 )
卸	： 前月からの増減	▲ 2	( 今月の数値	4 6 )
小売等	： 前月からの増減	▲ 1	( 今月の数値	5 0 )

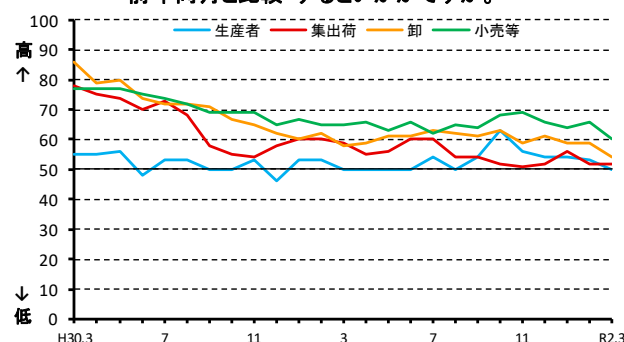
#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	▲ 3	( 今月の数値	5 0 )
集出荷	： 前月からの増減	± 0	( 今月の数値	5 2 )
卸	： 前月からの増減	▲ 5	( 今月の数値	5 4 )
小売等	： 前月からの増減	▲ 6	( 今月の数値	6 0 )

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、  
"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、  
"前年同月と比較"するといかがですか。



### (イ) 来月の価格に関する見通し D I

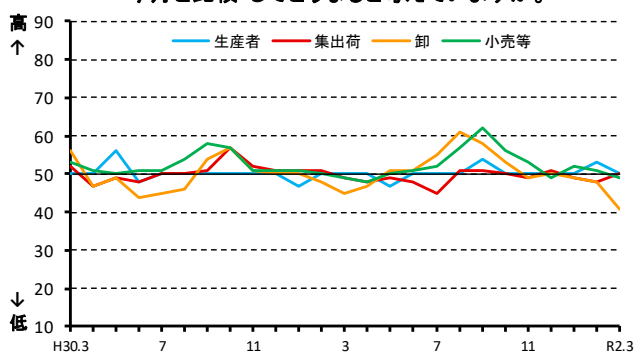
#### a. 今月との比較

生産者	： 前月からの増減	▲ 3	( 今月の数値	5 0 )
集出荷	： 前月からの増減	+ 2	( 今月の数値	5 0 )
卸	： 前月からの増減	▲ 7	( 今月の数値	4 1 )
小売等	： 前月からの増減	▲ 2	( 今月の数値	4 9 )

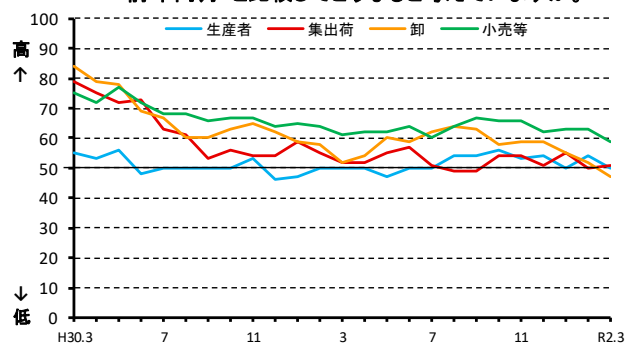
#### b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	▲ 4	( 今月の数値	5 0 )
集出荷	： 前月からの増減	+ 1	( 今月の数値	5 1 )
卸	： 前月からの増減	▲ 5	( 今月の数値	4 7 )
小売等	： 前月からの増減	▲ 4	( 今月の数値	5 9 )

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、  
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、  
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



### ③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

#### (ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

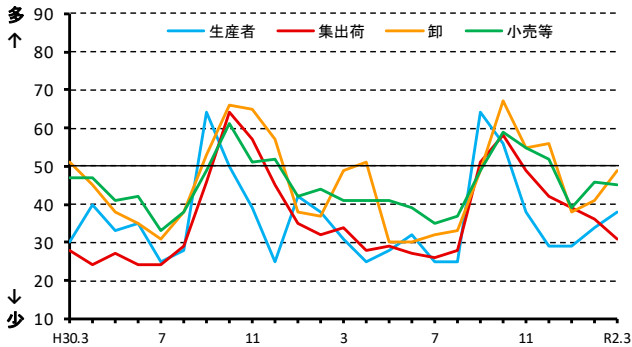
##### a. 先月との比較

生産者：前月からの増減 +4 (今月の数値 38)  
 集出荷：前月からの増減 ▲5 (今月の数値 31)  
 卸：前月からの増減 +8 (今月の数値 49)  
 小売等：前月からの増減 ▲1 (今月の数値 45)

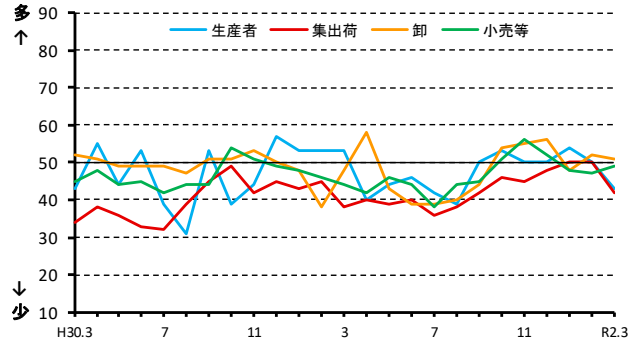
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減 ▲7 (今月の数値 43)  
 集出荷：前月からの増減 ▲8 (今月の数値 42)  
 卸：前月からの増減 ▲1 (今月の数値 51)  
 小売等：前月からの増減 +2 (今月の数値 49)

③-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”について、”先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”は、”前年同月と比較”するといかがですか。



#### (イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

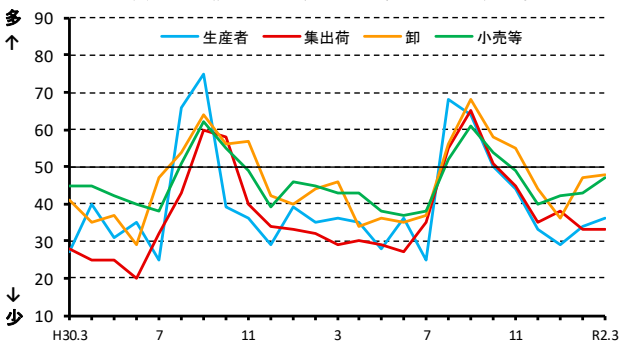
##### a. 今月との比較

生産者：前月からの増減 +2 (今月の数値 36)  
 集出荷：前月からの増減 ±0 (今月の数値 33)  
 卸：前月からの増減 +1 (今月の数値 48)  
 小売等：前月からの増減 +4 (今月の数値 47)

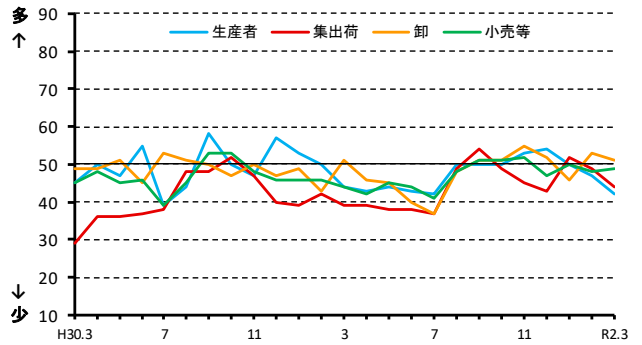
##### b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減 ▲5 (今月の数値 42)  
 集出荷：前月からの増減 ▲5 (今月の数値 44)  
 卸：前月からの増減 ▲2 (今月の数値 51)  
 小売等：前月からの増減 +1 (今月の数値 49)

③-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。





取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他		作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H30.3	3%	18%	8%	53%	11%	6%	0%	H31.3	5%	15%	4%	55%	16%	4%	0%
H30.4	2%	19%	4%	57%	14%	6%	0%	H31.4	5%	15%	4%	57%	18%	4%	0%
H30.5	1%	19%	6%	61%	12%	3%	0%	R1.5	4%	21%	4%	55%	12%	3%	0%
H30.6	2%	17%	4%	61%	13%	5%	0%	R1.6	4%	20%	5%	55%	6%	3%	1%
H30.7	9%	16%	5%	51%	15%	4%	1%	R1.7	14%	11%	4%	50%	6%	5%	1%
H30.8	12%	12%	4%	53%	11%	4%	1%	R1.8	17%	13%	7%	45%	8%	4%	1%
H30.9	11%	15%	4%	52%	10%	5%	0%	R1.9	24%	13%	4%	48%	6%	2%	2%
H30.10	20%	9%	2%	51%	12%	6%	0%	R1.10	23%	13%	3%	51%	8%	3%	3%
H30.11	18%	10%	3%	48%	11%	5%	1%	R1.11	18%	11%	3%	50%	13%	1%	1%
H30.12	10%	12%	3%	52%	10%	4%	1%	R1.12	14%	12%	3%	60%	10%	4%	1%
H31.1	12%	14%	4%	54%	12%	4%	0%	R2.1	7%	11%	2%	58%	18%	5%	0%
H31.2	7%	18%	2%	55%	10%	5%	1%	R2.2	3%	16%	4%	51%	19%	4%	2%
								R2.3	2%	21%	2%	39%	28%	3%	5%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の160客体
- 有効回答数：124客体

生産者	7
集出荷業者／団体	21
卸売業者（主に主食用米）	30
小売業者／中食・外食業者	49
その他※	17

※「その他」は以下の業者です。  
 ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者  
 ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（％）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

# IV 消費の動向

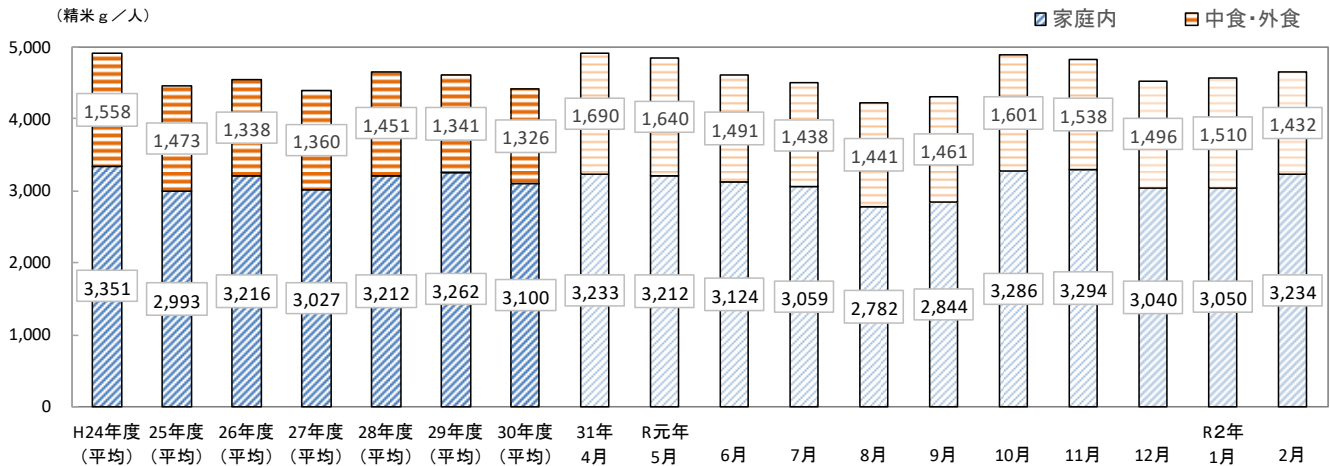
## 1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。  
 【 <http://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和2年2月分）によると、1人1か月当たりの精米消費量は、前年同月比+4.5%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月比+1.6%、中食・外食では+11.6%。

1人1か月当たり精米消費量の推移



	精米消費量 (g)					内訳比率 (%)					前年同月比 (%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食		家庭内	中・外食	中食	外食
平成24年度	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
平成31年 4月	4,923	3,233	1,690	979	710	100.0	65.7	34.3	19.9	14.4	1.9	▲4.4	16.9	13.4	21.8
令和元年 5月	4,851	3,212	1,640	968	672	100.0	66.2	33.8	20.0	13.9	5.6	0.6	17.1	15.0	20.4
6月	4,615	3,124	1,491	866	624	100.0	67.7	32.3	18.8	13.5	1.1	▲2.6	9.6	5.4	16.0
7月	4,497	3,059	1,438	835	603	100.0	68.0	32.0	18.6	13.4	3.9	1.4	9.9	6.0	15.7
8月	4,223	2,782	1,441	822	619	100.0	65.9	34.1	19.5	14.7	0.9	▲4.5	13.1	11.7	15.1
9月	4,305	2,844	1,461	842	620	100.0	66.1	33.9	19.6	14.4	0.3	▲6.4	16.6	15.8	17.9
10月	4,887	3,286	1,601	960	641	100.0	67.2	32.8	19.6	13.1	10.3	5.3	22.1	22.0	22.3
11月	4,832	3,294	1,538	928	610	100.0	68.2	31.8	19.2	12.6	4.9	1.4	13.4	19.9	4.8
12月	4,536	3,040	1,496	856	640	100.0	67.0	33.0	18.9	14.1	3.0	▲0.8	11.6	7.4	17.9
令和2年 1月	4,561	3,050	1,510	887	624	100.0	66.9	33.1	19.4	13.7	8.9	5.3	17.0	17.0	17.1
2月	4,666	3,234	1,432	810	622	100.0	69.3	30.7	17.4	13.3	4.5	1.6	11.6	8.4	16.0

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和2年1月分の有効調査世帯数は1,665世帯。

注2：平成24～30年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

注3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

注4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

注5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

注6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
  - 精米購入経路別の購入単価は、「インターネットショップ」が最も高く、次いで「生協」、「米穀専門店」の順となっている※。
- ※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。

## ② 精米購入時の動向

### (ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6
平成26年度	1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6
平成27年度	1.8	48.1	3.7	2.5	0.2	7.8	1.0	3.7	1.5	5.2	9.7	20.3	2.6
平成28年度	1.5	49.7	3.7	2.8	0.5	8.1	1.5	2.7	1.8	6.2	9.6	17.2	3.2
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3
平成31年 4月	1.2	50.2	6.0	3.6	0.0	6.5	1.8	3.0	1.7	6.2	6.1	15.4	4.8
令和元年 5月	1.5	50.8	6.8	2.5	0.2	6.1	1.5	2.0	1.3	6.8	8.3	16.2	2.7
6月	0.9	50.4	5.9	3.8	0.3	6.5	1.3	2.0	1.1	7.2	7.4	16.6	3.1
7月	0.8	51.2	6.1	3.0	0.2	6.1	1.2	1.9	0.7	5.9	7.3	18.5	2.7
8月	0.6	50.6	6.3	3.1	0.1	4.4	1.1	1.9	0.9	5.8	9.5	21.1	1.7
9月	1.3	51.1	5.3	3.3	0.6	6.2	1.7	1.6	0.9	6.2	7.7	19.0	1.9
10月	1.3	50.0	4.8	3.3	0.2	5.7	1.5	2.3	0.9	5.3	7.6	20.3	3.1
11月	0.7	48.8	6.4	3.2	0.0	5.4	1.2	2.2	1.1	5.7	9.3	18.4	3.2
12月	1.2	48.9	5.3	2.7	0.3	5.8	1.0	3.2	1.1	5.6	6.7	18.8	5.4
令和2年 1月	0.9	47.2	5.9	3.2	0.2	5.8	1.2	3.1	0.8	5.2	8.1	18.9	4.2

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 平成25～30年度は各年4月から翌年3月までの平均値。

2 令和2年1月分の有効調査世帯数は1086世帯。

### (イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	(生協・共同購入含む)	(農協・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
平成31年4月	632	396	355	313	※330	391	445	454	424	360	471	2,087
令和元年5月	639	383	335	387	※802	414	441	495	430	372	466	1,929
6月	※742	407	363	321	※523	386	456	535	434	370	474	1,829
7月	※852	393	347	334	※996	392	475	408	※415	335	529	1,738
8月	※525	388	337	346	※500	458	438	484	※374	423	474	1,650
9月	464	390	368	316	※475	386	495	513	※402	331	455	1,579
10月	757	399	372	318	※531	441	483	442	※388	339	485	2,021
11月	※542	411	367	280	—	422	467	442	474	418	568	1,868
12月	535	416	353	310	※508	454	554	504	523	397	491	1,743
令和2年1月	※662	402	349	327	※528	437	500	441	※421	394	473	1,665
2月	※486	399	354	329	※411	481	※539	460	※537	428	503	1,597

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。

2 購入単価は消費税を除く本体価格である。

3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。

- 令和2年2月の家庭内の月末在庫数量は、6.3kgとなっている。また、令和元年度の平均数量は6.3kg、前年との比較では▲3.1%となっている。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	-
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3		6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32		2.33	-

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：地域ごとの世帯人員構成比が平成26～28年度はH22国勢調査、平成29～令和元年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

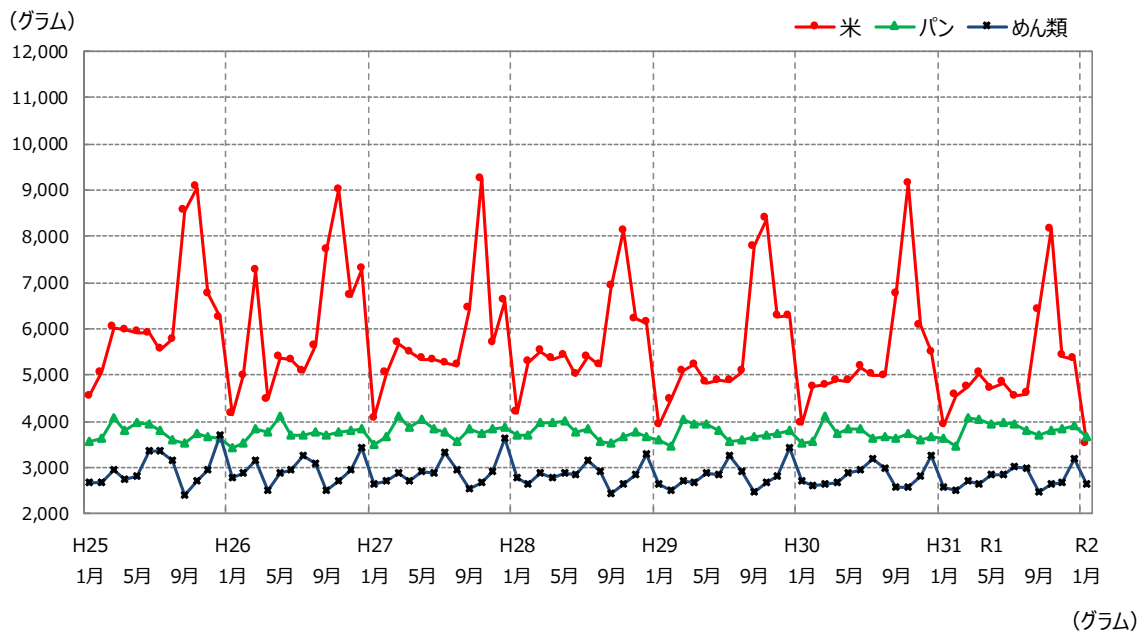
注2：平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

## 2 購入数量の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <http://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和2年1月の米の購入数量は、対前年同月比▲10%の3.5kg、パンは+0.7%の3.7kg、めん類は+2.0%の2.6kg。

### 1世帯当たり1か月間の購入数量の推移



	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
28年	68,740	98.9%	45,099	98.7%	34,192	98.4%
29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
令和2年 1月	3,520	90.0%	3,652	100.7%	2,629	102.0%

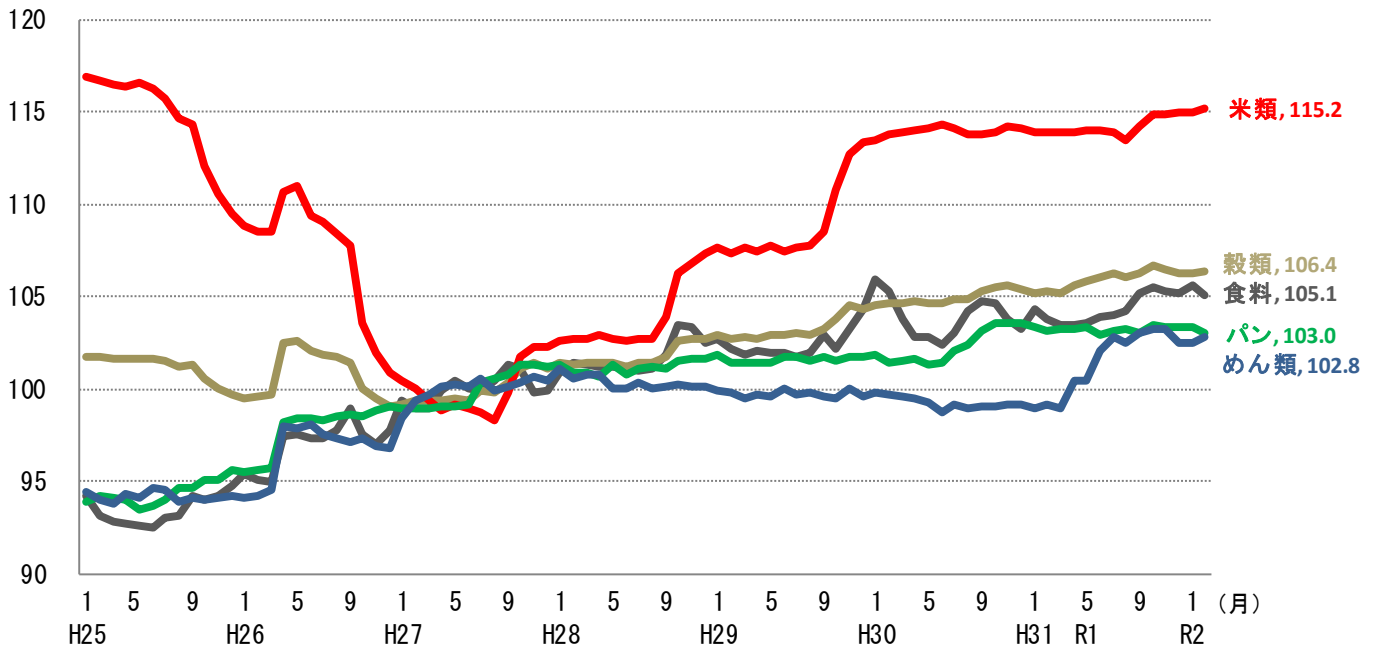
資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：平成25～令和元年は年間の購入数量・対前年比、令和2年1月は月間の購入数量・対前年同月比である。

注2：米は精米ベースである。

### 3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、令和2年2月の米類の指数は対前年同月比 +1.1%の115.2ポイント。



(平成27年=100、指数)

	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成25年(平均)	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
26年(平均)	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
27年(平均)	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
28年(平均)	101.7	1.7%	101.7	1.7%	103.8	3.8%	104.0	4.0%	101.2	1.2%	100.3	0.3%
29年(平均)	102.4	0.7%	103.2	1.5%	108.8	4.8%	109.2	5.1%	101.6	0.4%	99.7	▲0.6%
30年(平均)	103.9	1.4%	104.9	1.7%	114.0	4.7%	114.6	5.0%	102.3	0.7%	99.3	▲0.5%
令和元年(平均)	104.3	0.5%	105.9	0.9%	114.2	0.2%	114.9	0.2%	103.2	0.9%	101.4	2.2%
令和2年 1月	105.6	1.2%	106.2	1.0%	114.9	0.8%	115.6	0.8%	103.3	0.0%	102.5	3.6%
2月	105.1	1.2%	106.4	1.1%	115.2	1.1%	115.8	1.0%	103.0	▲0.1%	102.8	3.6%

資料：総務省「消費者物価指数」平成27年基準、品目別価格指数（全国）

注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

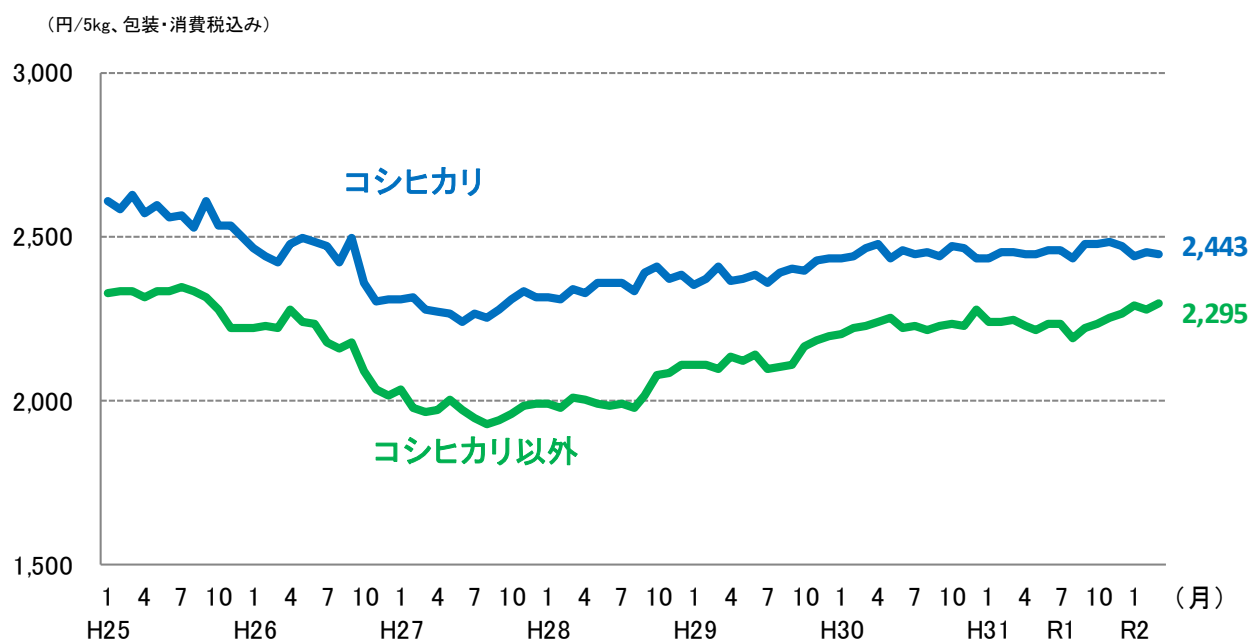
2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

3：平成25年～令和元年のデータは年平均、令和2年2月は月次データである。



## 4 小売物価統計の推移

- ・ 総務省が公表している小売物価統計によると、令和2年3月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比▲0.3%の2,443円。
- ・ コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+2.3%の2,295円。



（円/5kg、包装・消費税込み）

年平均	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
コシヒカリ	2,567	2,428	2,285	2,355	2,388	2,451	2,457
前年比	▲0.4%	▲5.4%	▲5.9%	3.1%	1.4%	2.6%	0.2%
コシヒカリ以外	2,307	2,173	1,973	2,019	2,132	2,232	2,234
前年比	3.8%	▲5.8%	▲9.2%	2.3%	5.6%	4.7%	0.1%

月次(令和2年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,439	2,455	2,443									
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%									
コシヒカリ以外	2,288	2,279	2,295									
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%									

月次(令和元年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,434	2,453	2,451	2,443	2,444	2,460	2,458	2,431	2,475	2,474	2,483	2,472
前年同月比	0.0%	0.6%	▲0.6%	▲1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	▲0.9%	1.6%	0.0%	0.7%	1.6%
コシヒカリ以外	2,241	2,242	2,244	2,229	2,216	2,233	2,233	2,191	2,223	2,233	2,252	2,267
前年同月比	1.7%	0.9%	0.7%	▲0.5%	▲1.7%	0.5%	0.2%	▲1.2%	▲0.3%	▲0.1%	1.0%	▲0.4%

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

## 5 米販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

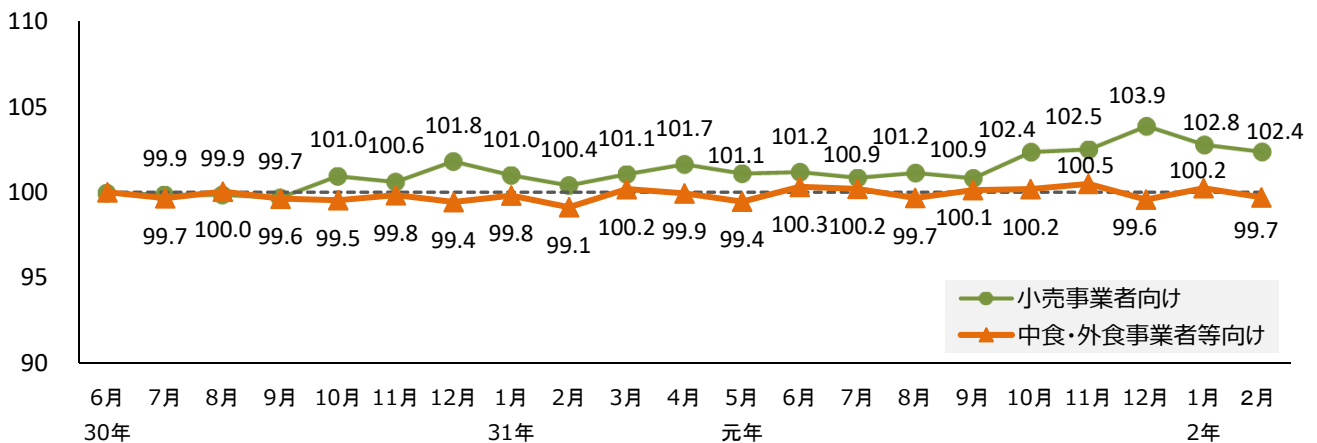
- 令和2年2月の販売数量(前年同月比)は、小売事業者向け110%、中食・外食事業者等向け91%。
- 平成30年6月を基準にした令和2年2月の販売価格の値動きは、小売事業者向け102.4、中食・外食事業者等向け99.7。
- 前年同月を基準にした令和2年2月の販売価格の値動きは、小売事業者向け101.8、中食・外食事業者等向け99.6。

### 1 販売数量の動向（前年同月比）

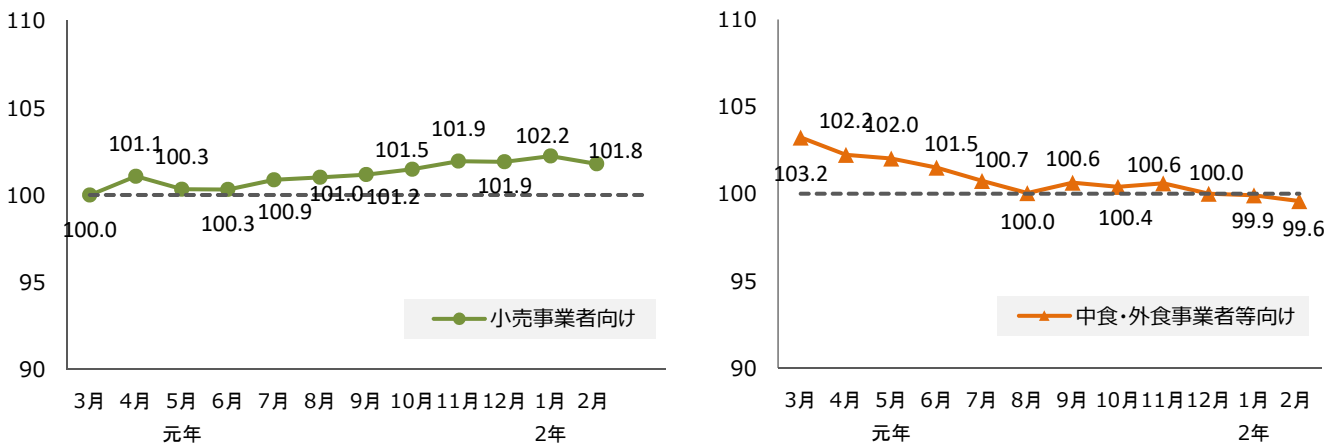
	元年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月
小売事業者向け	94%	99%	96%	101%	96%	99%	99%	101%	110%
中食・外食事業者等向け	104%	92%	100%	97%	98%	95%	97%	98%	91%

注：前月公表分までは、報告者からの対前年比の比率の割合により、整理していたが、今回公表から、販売数量（実数）と対前年の販売数量（実数）との比率としており、実数比較が可能となった元年6月分から数値を精査の上、遡及して整理。

### 2 販売価格の動向（30年6月を基準にした値動き）



### 3 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

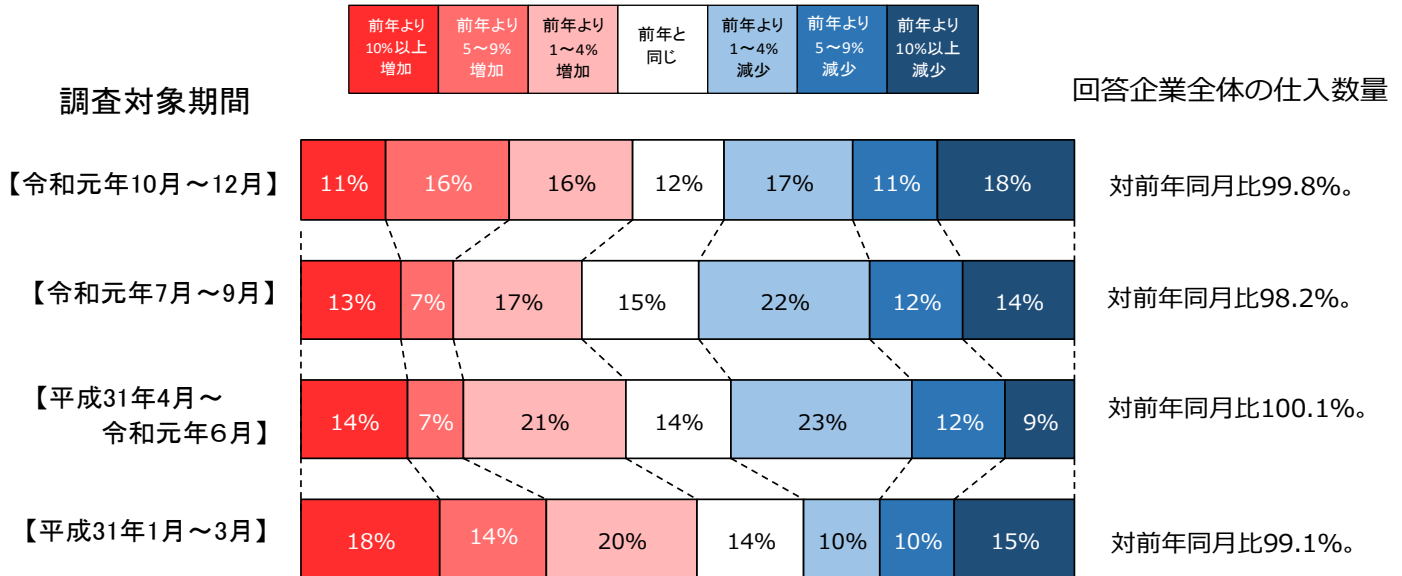
注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

## 6 中食・外食事業者の米の仕入状況

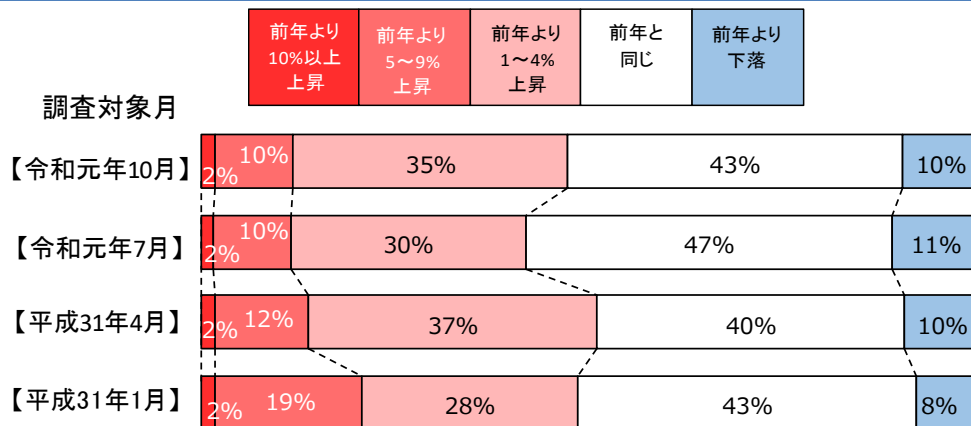
### 仕入数量の動向（令和元年10月～12月）（前年からの変動別企業数割合）

仕入数量の対前年同月の増減については、前年より「仕入数量が増加」「10%以上減少」と回答した企業割合は前回調査より増加。回答企業全体の仕入数量は対前年同月比99.8%となっている。



### 仕入価格の動向（令和元年10月）（前年からの変動別企業数割合）

前回調査（令和元年7月）に比べて、仕入価格の対前年比は「前年同月の仕入価格より上昇」と回答した事業者の割合が増加。



注 本調査項目では仕入れた米の年産については調査していないため、必ずしも30年産米の仕入価格を表したものではありません。

<参考：米の相対取引価格（年産平均）>

●29年産：15,595円（対前年比109%） ●30年産：15,688円（対前年比101%）

#### <当データを利用する上での留意事項>

▶ 日本惣菜協会、日本べんとう振興協会、日本炊飯協会、日本弁当サービス協会、日本フードサービス協会の会員企業（合計387社）にご協力を頂き、令和元年10月から12月までの期間の米の仕入状況に関するアンケート調査を実施いたしました。

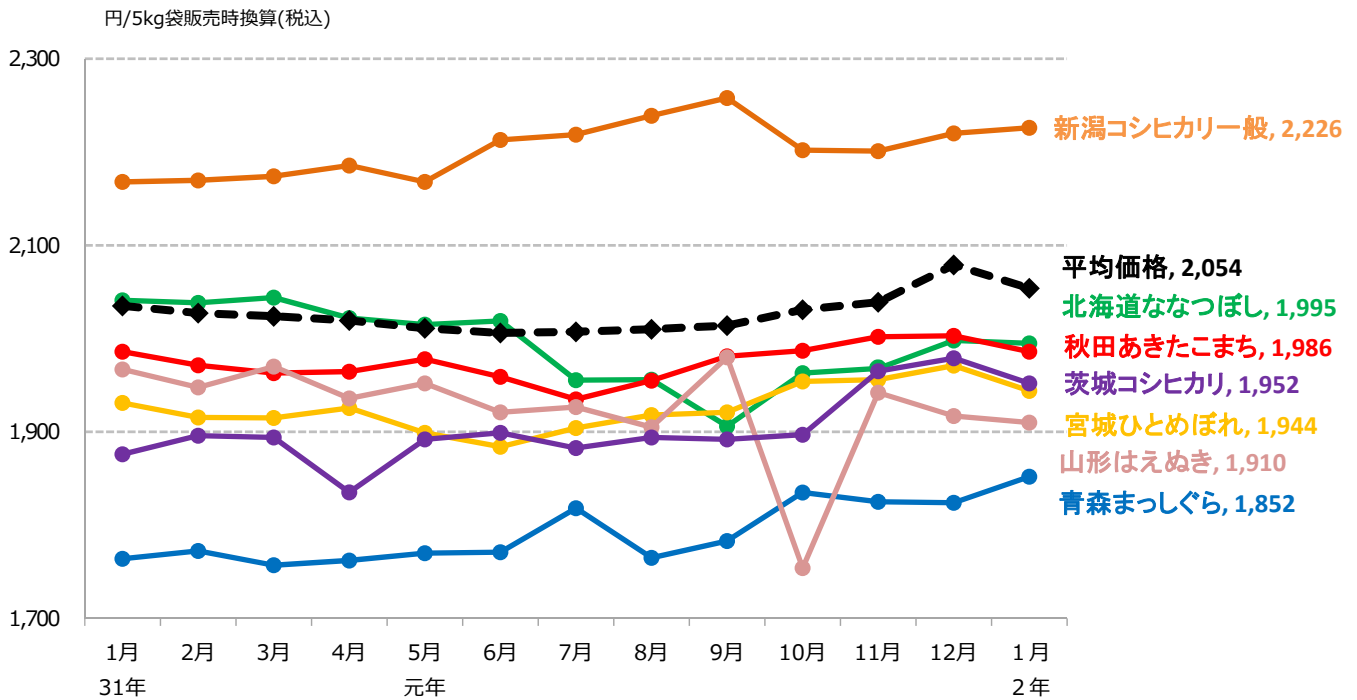
回答がありました119社の企業形態別の内訳は、中食事業者（32社）、外食事業者（7社）、中食・外食事業者に米飯等を提供する事業者（65社）、その他（15社）。

▶ ご協力いただいた企業は東京、大阪圏が多いため、今回取りまとめたデータは必ずしも全国の趨勢を示したものではありません。

本アンケート調査にご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



- 令和2年1月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比▲25円(▲1.2%)、対前年同月比+19円(+0.9%)の2,054円。



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,035店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5：価格に含む消費税は8%である。

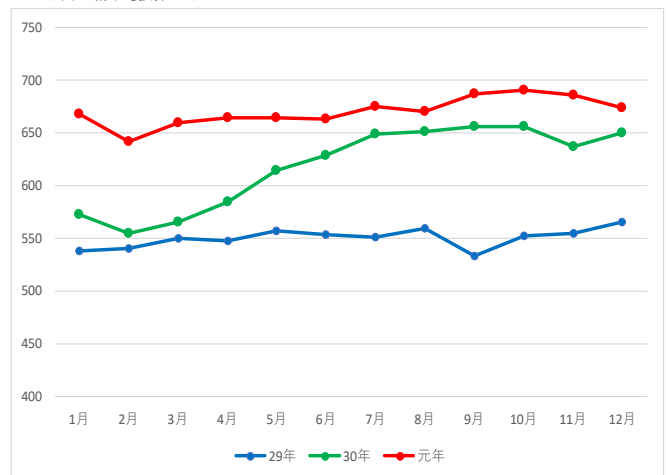
### 【パックご飯の販売数量(精米換算)】

(単位：精米トン、%)

	29年	30年 ①	31年 元年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	241	245	221	90%
2月	218	242	212	88%
3月	244	255	226	89%
4月	244	243	227	94%
5月	232	231	227	98%
6月	224	220	220	100%
7月	244	230	226	99%
8月	259	241	245	102%
9月	263	258	243	94%
10月	254	230	257	112%
11月	240	220	218	99%
12月	264	242	244	101%

### 【精米換算kg当たり単価】

(単位：精米kg換算/円)



資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,035店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：価格は税抜き価格である。

## VI 輸入米(MA米、CPTPP・国別枠)の動向

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

### 1 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)

(単位:千玄米トン)

	米 国	タ イ	中 国	オースト ラリア	その他	合 計	輸入方式別	
							うち一般輸入	うちSBS輸入 ※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度



## 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果 (平成31年度・令和元年度)

(単位：実トン)

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成31年4～6月分 (長期契約)	23,199	平成31年4～令和元年7月分	2,870
4月分 (月別契約)	322	令和元年8～11月分	3,153
令和元年5月分 (月別契約)	326	令和元年12～令和2年3月分	
6月分 (月別契約)	432		
7～9月分 (長期契約)	23,160		
7月分 (月別契約)	220		
8月分 (月別契約)	458		
9月分 (月別契約)	633		
10～12月分 (長期契約)	23,204		
10月分 (月別契約)	534		
11月分 (月別契約)	612		
12月分 (月別契約)	572		
令和2年1～3月分 (長期契約)			
1月分 (月別契約)			
2月分 (月別契約)			
3月分 (月別契約)			
小 計	73,672	小 計	6,023
合計		79,695	

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

### 3 SBS輸入米の見積合わせ結果（令和元年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和元年9月27日)	一般米	5,252	276	40		80		260		501		6,409
	砕精米	2,200		200		100						2,500
	計	7,452	276	240		180		260		501		8,909
第2回 (令和元年10月30日)	一般米	4,944	140	761		280				941		7,066
	砕精米	1,800		700								2,500
	計	6,744	140	1,461		280				941		9,566
第3回 (令和元年11月22日)	一般米	5,023		1,132	126	420				297		6,998
	砕精米	2,200	100	200								2,500
	計	7,223	100	1,332	126	420				297		9,498
第4回 (令和元年12月20日)	一般米	2,442	340	1,344		200				230		4,556
	砕精米	2,000		300		200						2,500
	計	4,442	340	1,644		400				230		7,056
第5回 (令和2年1月22日)	一般米	4,333	360	288		100				1,058		6,139
	砕精米	2,116	100	500								2,716
	計	6,449	460	788		100				1,058		8,855
第6回 (令和2年2月7日)	一般米	3,498	1,120			100				1,831		6,549
	砕精米	2,300	200		500							3,000
	計	5,798	1,320		500	100				1,831		9,549
第7回 (令和2年2月25日)	一般米	4,856	360	392		120				589		6,317
	砕精米	2,334	200	300								2,834
	計	7,190	560	692		120				589		9,151
第8回 (令和2年3月10日)	一般米	2,589		478		240				4,912		8,219
	砕精米	4,260		160	100	220				1,000		5,740
	計	6,849		638	100	460				5,912		13,959
令和元年度計	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
	計	15,191	4,718	5,182	1,094	736	0	1,285	0	1,109	0	29,315
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	559	0	767	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	0	0	100	0	4,316
	計	662	3,142	5,272	324	780	0	559	0	867	0	11,606

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

## 4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和元年度）

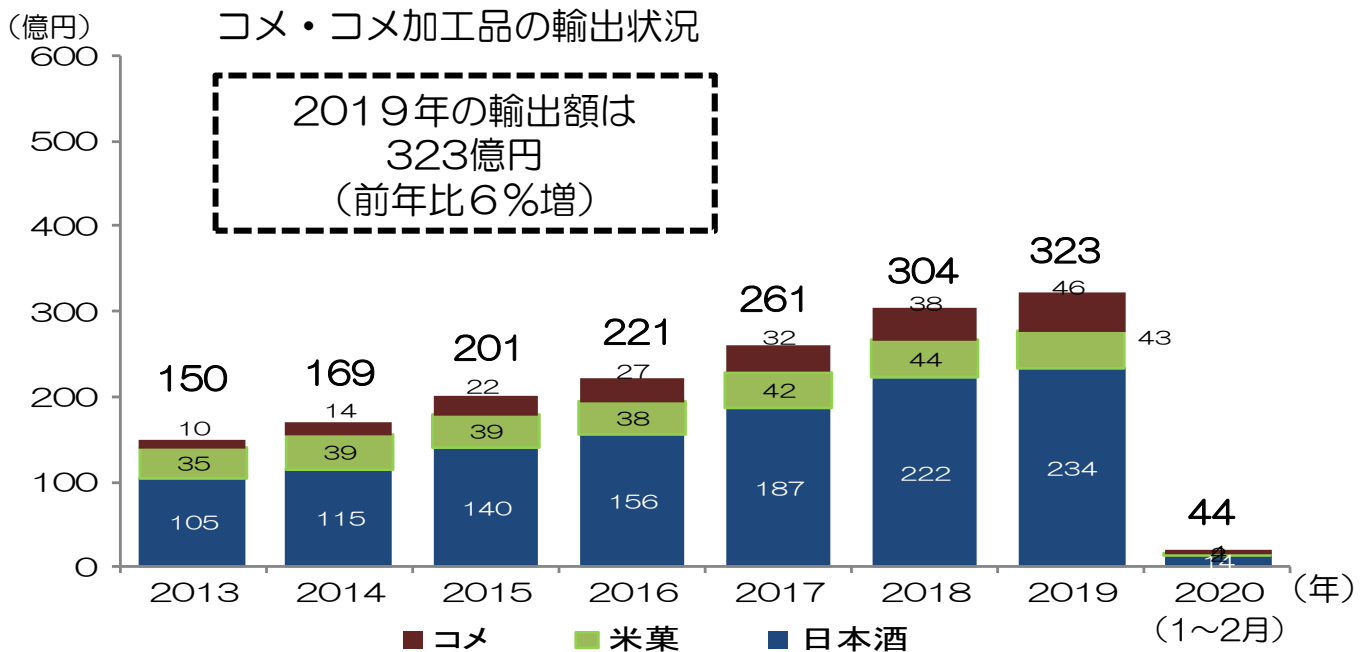
（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和元年5月28・29日）	一般米	856	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	856	
第2回 （令和元年7月23日）	一般米	803	
	加工品・調製品		
	砕精米	60	
	計	863	
第3回 （令和元年9月24・25日）	一般米	800	
	加工品・調製品		
	砕精米	40	
	計	840	
第4回 （令和元年11月26日）	一般米	300	
	加工品・調製品		
	砕精米	40	
	計	340	
第5回 （令和2年1月28日）	一般米	560	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	560	
第6回 （令和2年3月17日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
令和元年度計	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

## 5 コメ・コメ加工品の輸出货量及び輸出金額について

- 「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額目標を2020年（令和2年）までに600億円とすることが決定。更に平成28年8月「未来への投資を実現する経済対策」では、輸出額目標を2019年に1年前倒しすることが決定。
- 2019年の輸出額は、323億円（前年比6%増）。
- 600億円目標は達成できなかったものの、コメ・コメ加工品は数量で10%増、金額で6%増と伸びており、特に香港、米国、中国等を中心に輸出は大幅に増加。



### コメ・コメ加工品の輸出货量及び輸出金額

品目名		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年1~2月		(参考) 主な輸出先国	
						数量	対前年同期比		
コメ・コメ加工品		数量(※)	24,135トン	28,340トン	31,741トン	34,851トン	5,187トン	+1%	米国 香港 中国 台湾 韓国 シンガポール
		金額	221億円	261億円	304億円	323億円	44億円	-11%	
コメ (援助米を除く)	数量	9,986トン	11,841トン	13,794トン	17,381トン	2,995トン	+33%	香港 シンガポール 米国 台湾 中国	
	金額	27億円	32億円	38億円	46億円	8億円	+27%		
米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,567トン	3,849トン	4,053トン	4,033トン	463トン	-22%	米国 台湾 香港 シンガポール サウジアラビア	
	原料米換算	3,032トン	3,272トン	3,445トン	3,428トン	394トン	-22%		
	金額	38億円	42億円	44億円	43億円	5億円	-18%		
日本酒 (清酒)	数量	19,737 キロリットル	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	3,192 キロリットル	-25%	米国 中国 香港 韓国 台湾 シンガポール	
	原料米換算	11,117トン	13,227トン	14,502トン	14,041トン	1,798トン	-25%		
	金額	156億円	187億円	222億円	234億円	31億円	-16%		

資料：財務省「貿易統計」(政府による食料援助を除く。)

注：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない

## (1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2019年の商業用の米の輸出は、輸出数量が17,381トン（対前年比+26%）、輸出金額が約46億円（対前年比+23%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。  
2020年1～2月の商業用の米の輸出は輸出数量が2,995トン（対前年同期比+33%）、輸出金額が約8億円（対前年同期比+27%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～2月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	7,640 (+69%)	2,234 (+56%)	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	2,995 (+33%)	764 (+27%)
香港	2,519	659	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	1,084 (+27%)	264 (+29%)
シンガポール	1,850	463	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	710 (+38%)	150 (+43%)
アメリカ	322	103	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	301 (+36%)	81 (+22%)
台湾	753	268	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	184 (+114%)	53 (+51%)
中国	568	291	375	163	298	97	524	211	1,007	363	147 (-13%)	50 (-22%)
オーストラリア	273	84	357	109	476	145	635	197	770	233	124 (-9%)	38 (-7%)
タイ	208	37	395	71	192	51	320	81	578	145	112 (+32%)	29 (+41%)
イギリス	189	60	326	98	695	191	422	121	450	131	77 (+28%)	21 (+22%)
ベトナム	142	15	74	16	101	33	118	37	213	65	4 (+33%)	1 (+4%)
ロシア	30	10	74	25	78	31	120	43	174	64	4 (-73%)	2 (-68%)
マレーシア	124	41	167	45	259	62	221	51	234	59	25 (+14%)	5 (-14%)
モンゴル	134	24	198	33	203	32	336	56	315	53	72 -	12 -
ドイツ	91	29	90	32	62	26	92	36	140	52	12 (-20%)	6 (+10%)
カナダ	85	23	96	29	92	28	138	43	158	51	31 (+675%)	9 (+206%)
フランス	33	14	39	16	61	27	78	32	93	40	15 (+7%)	7 (+24%)
フィンランド	1	0	1	1	2	1	47	11	183	40	30 -	6 -
オランダ	53	14	96	23	105	24	112	30	102	30	7 (-68%)	3 (-44%)
マカオ	30	12	39	17	38	18	65	27	62	26	9 (+13%)	4 (+15%)
インドネシア	80	17	97	30	72	26	1	2	90	25	— -	— -
アラブ首長国連邦	18	7	22	9	18	9	37	17	55	23	5 (+0%)	3 (+11%)
その他	137	62	126	54	171	70	222	110	200	91	42	20
(参考)EU ※	397	135	574	180	943	283	800	253	1,050	326	110 (-5%)	37 (-0%)

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

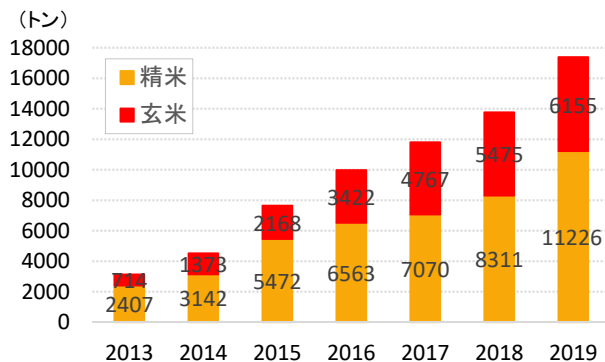
注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

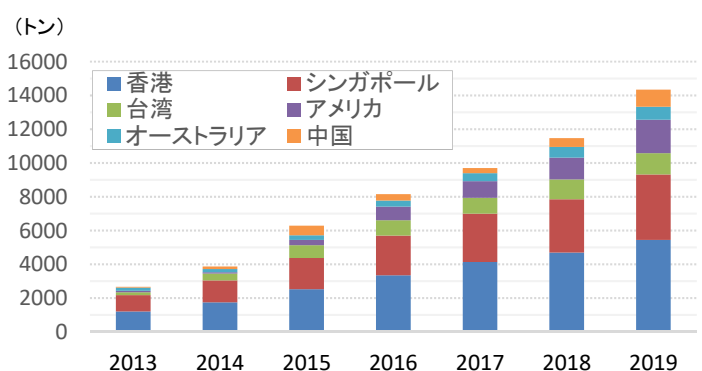
## (2) 2019年の主な増加要因

- 全体として、日本食レストラン、寿司屋、おにぎり屋といった、日本産米を取り扱う  
 外食・中食店向けの需要が好調。
- 香港、シンガポール、米国等においては、日本産米を玄米で輸出し、現地で精米して  
 販売するビジネスが引き続き好調。
- 中国においては、日本食レストラン・現地系小売店の需要及びECサイト、中秋節・  
 春節ギフト用の伸びにより、前年より著しく増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



**香港** 📈 5,436トン（前年比+16%） 1,372百万円（前年比+18%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。また現地系も含めて日本食レストランチェーン向け等に安定的に輸出が増加している。更に、現地系スーパー等での販売や日本産米を用いたおにぎり屋の店舗数拡大等により、ミドルレンジ層の需要が広がっている。

**シンガポール** 📈 3,879トン（前年比+23%） 802百万円（前年比+15%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。高級店だけでなく、チェーン店の日本食レストラン等向け需要が増加している。玄米で輸出し現地で精米して販売するビジネスの伸びが顕著で、2015年に玄米輸出が精米輸出を上回り、2019年は玄米輸出の割合が6割以上を占める。

**アメリカ** 📈 1,980トン（前年比+54%） 543百万円（前年比+34%）

米国産米の価格が上昇、日本産米との価格差が縮まったことにより、日系スーパー及び高級日本食レストランを中心に取り扱い店舗が増加。日本産米の輸出は西海岸が中心であったが、近年は健康志向の高所得者層向けに東海岸への輸出も増加。

**中国** 📈 1,007トン（前年比+92%） 363百万円（前年比+72%）

日本食レストランでの取扱増加に加え、小売では日本産米アンテナショップの出店や現地系小売店での取扱が増加。また、主要販売経路であるECサイトでの販売が好調なことや、高級品として中秋節・春節向けギフト用の伸びが著しいこと等が寄与。展示会にて日本産米をPRしたことや、SNSを使用した情報発信も輸出増加に寄与。

**ロシア** 📈 174トン（前年比+45%） 64百万円（前年比+50%）

大手スーパーだけでなく、モスクワ市内の日本食レストランにも日本産米を導入される動きがある。

**フィンランド** 📈 183トン（前年比+289%） 40百万円（前年比+263%）

大手スーパーの持ち帰り寿司に日本産米が導入。



### (3) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2019年の米菓の輸出は、輸出数量が4,033トン（対前年比±0%）、輸出金額が約46億円（対前年比-3%）と、数量及び金額共に前年から減少。

2020年1～2月の米菓の輸出は、輸出数量が463トン（対前年同期比-22%）、輸出金額が約5億円（対前年同期比-18%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～2月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,679 (-8%)	3,869 (-2%)	3,567 (-3%)	3,808 (-2%)	3,849 (+8%)	4,186 (+10%)	4,053 (+5%)	4,425 (+6%)	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	463 (-22%)	509 (-18%)
アメリカ	797	794	897	878	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	165 (+15%)	168 (+15%)
台湾	895	921	868	909	731	758	830	878	854	894	78 (-25%)	85 (-29%)
香港	664	826	578	725	520	660	629	744	603	724	61 (-27%)	78 (-17%)
シンガポール	239	264	202	250	200	269	208	268	209	243	26 (-27%)	31 (-29%)
サウジアラビア	242	146	122	69	170	98	279	176	258	161	18 (-79%)	9 (-82%)
中国	78	86	52	55	62	84	61	123	87	160	7 (-17%)	18 (+28%)
韓国	98	146	161	230	326	489	229	338	119	156	5 (-80%)	6 (-81%)
ベトナム	25	33	50	51	42	76	55	112	75	155	9 (+50%)	18 (+52%)
オーストラリア	159	143	160	139	173	144	121	106	127	111	20 (-10%)	16 (-13%)
タイ	45	68	37	53	40	57	44	60	62	83	11 (+2%)	15 (+1%)
オランダ	126	111	113	106	127	111	81	87	58	61	1 (-91%)	2 (-88%)
カナダ	27	32	25	28	31	37	31	37	35	42	7 (+51%)	8 (+58%)
マレーシア	14	17	26	29	25	31	25	29	39	41	5 (+75%)	5 (+157%)
ブラジル	40	36	40	35	43	41	37	38	40	41	4 (-25%)	4 (-19%)
ブルガリア	49	14	38	9	98	27	103	31	149	40	15 (+100%)	3 (+102%)
イギリス	24	28	23	29	21	26	18	22	21	32	3 (+21%)	5 (+57%)
フィリピン	9	11	21	24	19	19	23	22	27	27	4 (+39%)	5 (+39%)
北マリアナ諸島	19	27	17	22	22	28	20	25	19	25	2 (-58%)	3 (-57%)
グアム	19	23	22	24	16	21	19	23	19	24	2 (-38%)	3 (-34%)
アラブ首長国連邦	21	33	21	32	20	30	19	28	16	23	3 (-48%)	4 (-44%)
その他	90	110	96	109	95	119	112	144	117	142	16	21

(参考)EU ※	235	200	223	193	277	206	240	189	267	183	23 (-17%)	15 (-40%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--------------	--------------

資料：財務省「貿易統計」

注：( )内は対前年同期増減率である。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

#### (4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

2019年の日本酒の輸出は輸出数量が24,928キロリットル(対前年比-3%)、輸出金額が約23億円(対前年比+5%)と、数量は減少したものの、金額は過去最高を記録。2020年1~2月の日本酒の輸出は輸出数量が3,192キロリットル(対前年同期比-25%)、輸出金額が約31億円(対前年同期比-16%)。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1~2月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	18,180 (+11%)	14,011 (+22%)	19,737 (+9%)	15,581 (+11%)	23,482 (+19%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	3,192 (-25%)	3,112 (-16%)
アメリカ	4,780	4,997	5,108	5,196	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	1,004 (+3%)	1,054 (+1%)
中国	1,576	1,172	1,910	1,449	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	497 (-33%)	430 (-36%)
香港	1,745	2,282	1,877	2,630	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	341 (+14%)	637 (+2%)
韓国	3,367	1,364	3,695	1,562	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	125 (-87%)	95 (-77%)
台湾	2,112	890	2,096	931	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	275 (-21%)	205 (-0%)
シンガポール	437	526	509	601	530	691	610	837	609	857	85 (-4%)	115 (-9%)
カナダ	553	345	576	381	711	486	684	529	715	548	103 (+27%)	80 (+29%)
オーストラリア	358	310	409	362	444	396	502	446	483	439	71 (-0%)	70 (+12%)
ベトナム	339	248	390	287	376	267	462	440	437	376	32 (-45%)	24 (-63%)
イギリス	252	260	317	323	388	348	298	324	352	373	47 (-18%)	57 (-8%)
フランス	151	140	169	196	266	267	274	276	270	285	32 (+43%)	37 (+11%)
タイ	503	230	461	240	472	252	604	300	627	276	116 (+11%)	42 (-16%)
ドイツ	401	162	388	179	368	167	367	203	477	242	91 (+35%)	44 (+5%)
マレーシア	213	181	223	201	289	265	283	244	253	242	32 (+140%)	23 (+45%)
マカオ	21	61	25	79	34	150	52	207	39	156	5 (-11%)	13 (-59%)
オランダ	205	130	183	108	276	144	223	161	247	142	66 (+54%)	32 (+84%)
イタリア	249	111	322	114	386	139	312	130	339	129	92 (+91%)	34 (+77%)
ブラジル	184	88	184	93	219	109	207	93	248	119	39 (-2%)	18 (-6%)
スペイン	70	43	82	57	154	110	153	98	130	75	23 (-28%)	19 (+9%)
メキシコ	35	31	49	52	50	48	67	63	67	74	6 (-59%)	4 (-82%)
その他	629	441	767	540	808	529	864	642	951	661	109	79
(参考)EU ※	1,475	961	1,605	1,085	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	356 (+23%)	216 (-1%)

資料:財務省「貿易統計」

注1:( )内は対前年同期増減率である。

注2:数量1キロリットル未満、金額20万円未満は計上されていない。

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

## 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

### 2020年に向けた輸出額目標

「農林水産物・食品の国別・品目別輸出戦略」（平成25年8月決定）の中で、コメ・コメ加工品の輸出額を600億円とすることとしている。

### 輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

#### 【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

##### ★重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール

〈主な取組（令和元年度）〉

○米国のホテルレストランや飲食店オーナー、ディストリビューター等を招聘し、産地視察や輸出業者とのビジネスマッチングを実施。

#### 【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

##### ★重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国

〈主な取組（令和元年度）〉

○北米で開催される展示会への出展及び現地小売店と連携したプロモーション・テスト販売を実施。

#### 【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

##### ★重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港

〈主な取組（令和元年度）〉

○中国・北京において、一般消費者による日本酒の品評会（Sake-China）を開催。

### 輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

〈日本産米輸出の統一ロゴマーク〉



THIS IS  
JAPAN QUALITY  
日本のおいしい米。



（注）QRコードから、日本産米のPR映像が流れるHPへリンク

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧ください。

－ 別冊「資料編」の目次 －

I 米の在庫情報

- 1 平成29・30年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫 1 Excel

II 米の契約・販売情報

- 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26～29年産)  
2 平成29・30年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報)  
3 備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和2年産)

契約 1 Excel

契約 3 Excel

契約 15

III 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)  
2 米の現物市場の状況

価格 1 Excel

価格 4

IV 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金  
(2) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)  
(3) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)  
(4) 収入保険  
(5) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業  
(6) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト

支援 1

支援 6

支援 9

支援 11

支援 13

支援 15

V 主食用米以外の情報

- 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況  
(1) 加工用米の生産量(平成17～令和元年産)  
(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移(平成20～令和元年産)  
(3) 令和元年産 都道府県別の生産状況  
2 加工用米及び新規需要米の取組状況概要  
(1) 30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計)  
(2) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移  
3 酒造好適米の需給状況  
(1) 日本酒の出荷状況  
(2) 日本酒原料米の使用状況  
(3) 酒造好適米の生産量  
(4) 酒造好適米の需要量  
4 飼料用米の需要量

加工 1

加工 1

加工 1

加工 2

加工 3

加工 4

酒造 1

酒造 1

酒造 2

酒造 2

飼料 1

VI その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果  
(2) 麦・大豆の需要情報  
① 令和2年産麦の産地別銘柄別入札結果  
② 令和元年産大豆の産地別銘柄別入札結果  
(3) 野菜等の需給情報  
(4) 令和元年産水稻の収穫量  
(5) 水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国)  
(6) 水稻玄米のふりい目幅別重量分布状況、  
10a 当たり収量及び収穫量(子実用)の年次別推移(全国)  
(7) 年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移

検査 1

麦 1

大豆 1

野菜 1

統計 1

統計 6

統計 6

統計 8